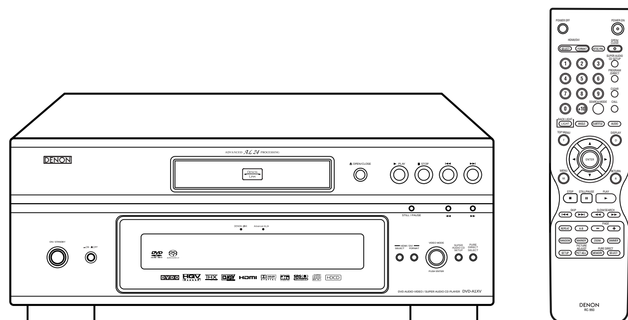
DENON
取扱説明書

DVD-A1XV

DVD AUDIO-VIDEO / SUPER AUDIO CD PLAYER

DVD オーディオ・ビデオ/
スーパーオーディオCDプレーヤー



安全にお使いいただくために―必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目 次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

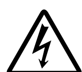


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

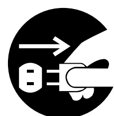


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

■安全上お守りいただきたいこと

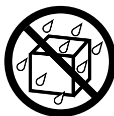
万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く



電源プラグをコンセントから抜け

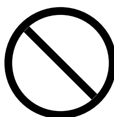
煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

水が入ったり、濡らしたりしないように



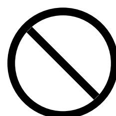
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

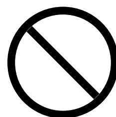
内部に異物を入れない



通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

電源コードは大切に





電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない



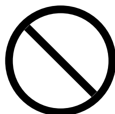
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら



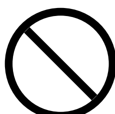
アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない



電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない



水場での使用禁止

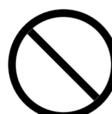
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない



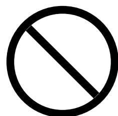
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない



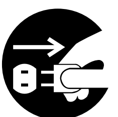
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

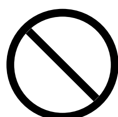
濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは





電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない



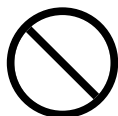
手を挟まれないよう注意



指のケガに注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

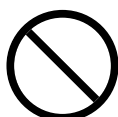
レーザー光源をのぞき込まない



レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は





極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

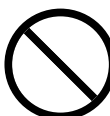
電源を入れる前には音量を最小にする



突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■置き場所について

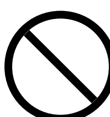
次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

壁や他の機器から少し離して設置する

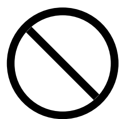


壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

■取り扱いについて

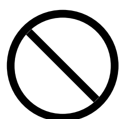
通風孔をふさがない



内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

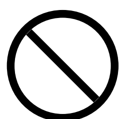
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



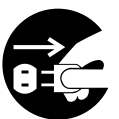
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

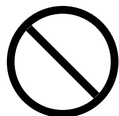
重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

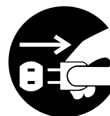




まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

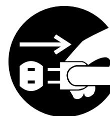
長期間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき正常に動作しなくなることがあります。
結露は夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は

◎ 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。
◎ ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

著作権について

■ ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

設置の際のご注意

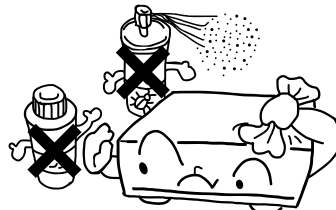
■ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他のAV機器などとは十分離して設置してください。（右図参照。）
■ AVアンプ等の上に、本機を置いてご使用にならないでください。

FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

お手入れについて

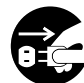
■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使用し、軽く拭き取ってください。
◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

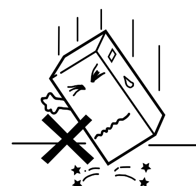
■ ふだん使わないとき

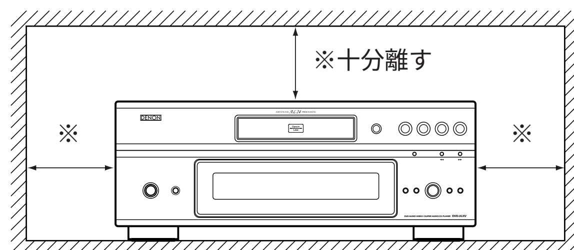
◎ 必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

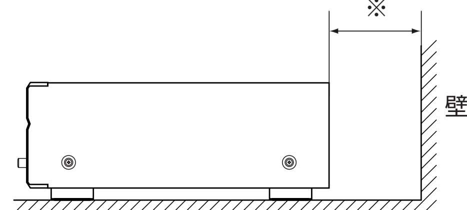


■ 移動させるとき

◎ 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。
◎ 衝撃を与えないでください。
◎ 必ずディスクを取り出し、接続コードを外したことを確認してからおこなってください。







3 ディスクについて

★本機で再生できるディスクは下記の種類です。
ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVDオーディオ <注1>	DVD AUDIO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG2方式）	12cm / 8cm
DVDビデオ <注1>	DVD VIDEO		
DVD-R <注2>	DVD R		
DVD-RW <注2>	DVD RW		
DVD+R <注2・3>	RW DVD+R		
DVD+RW <注2>	RW DVD+ReWritable		
SUPER AUDIO CD	SUPER AUDIO CD Stereo Multi-ch	デジタル音声	12cm
ビデオCD <注1>	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG1方式）	12cm 8cm
CD <注4>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3 デジタル画像 （JPEG方式）	12cm / 8cm
CD-R <注5>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		
CD-RW <注5>	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		
ピクチャーCD	Kodak Picture CD COMPATIBLE	デジタル画像 （JPEG方式）	12cm
フジカラーCD		デジタル画像 （JPEG方式）	12cm
WMA (Windows Media Audio)	Plays Windows Media™	デジタル音声	12cm

■ **下記のディスクは再生できません。**

- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVD-ROM/RAM
- CD-ROM（MP3、JPEG、WMAファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（オーディオパートのみ再生できます。）
- CD-G（音声は出力されますが、画像は出力されません。）
- フォトCD

など

ご注意

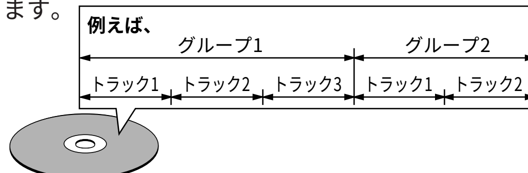
- 本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDディスクに表示されている場合には、DVDディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。



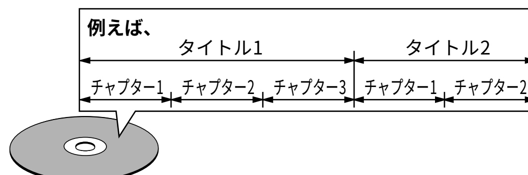
本機のリージョン番号は2です。

■ ディスクに関する用語について

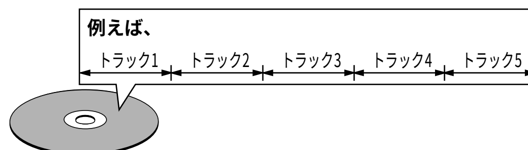
●グループ、トラック（DVDオーディオ）
DVDオーディオは、いくつかの大きな区切り（グループ）と小さな区切り（トラック）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をグループ番号、トラック番号と呼びます。



●タイトル、チャプター（DVDビデオ）
DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。



●トラック
（ビデオCD/音楽CD/スーパーオーディオCD）
ビデオCD、音楽CDおよびスーパーオーディオCDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。



<注1> DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。

<注2> 本機は「VRモード」および「CPRM」により記録されたDVD-R/-RW/+R/+RWの再生には対応していません。DVDレコーダで記録した映像を本機で再生したい場合は、DVDレコーダの設定を「ビデオモード」（DVDビデオフォーマット記録）に設定しDVD-R/-RW/+R/+RWに記録してください。
また、ディスクの記録状態によっては、ディスクを受け付けない、映像が途切れるなど、正常に再生できないことがあります。
なお、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。

<注3> DVD+Rの2層ディスク(DL)には対応していません。

<注4> 現在発売されているコピーコントロールCD（CDS、レーベルゲートCD等）は、正式なCD規格（レッドブック）に準拠していない特殊ディスクであり、 本機での再生の保証は致しかねます。従いまして、通常CDの再生時には支障がなく、コピーコントロールCDのみに支障がある場合には、本機の不具合ではないことをご理解、ご了承ください。
なお、コピーコントロールCDの詳細については、CDの発売元にお問い合わせください。(CD規格に準拠したCDには、コンパクトディスクロゴマークが印刷されています。)

<注5> 記録状態によっては再生できない場合があります。

4 本機の特長

1. すべての処理を10bit精度で行う新開発高性能10bit I/Pコンバータを搭載

高精度なフィルムソース/ビデオソース検出機能によって、30フレームフィルムソースの対応はもちろん、編集時の問題がある映像を再生する場合でも、ジャギーノイズの少ない、なめらかでより自然な高画質映像再生を実現します。また、ノイズ除去やデジタルガンマ補正などの豊富な画質調整機能は、プログレッシブ出力だけでなく、HDMI/DVI出力でも可能であるため、使用するディスプレイに合わせた細かな調整を行うことができます。

2. 高精細画素変換を実現する新開発10bitスケーラを搭載

I/Pコンバータで最適なプログレッシブ処理された映像信号出力を、オリジナルアルゴリズムを用いて、より高精細な720Pや1080iへ10bit精度で画素変換する新開発のスケーラを搭載しました。高性能10bit I/Pコンバータと組合せて効果的に高画質再生を行うとともに、アナログ変換による画質劣化することなくHDMI/DVI端子からデジタル映像を出力します。

また、HDMIとDVIの独立したトランスミッタへ最適化して出力することにより、2つのデジタル映像出力を同時に出力することが可能です。

3. より自然な輪郭補正を実現するDPI（DENON Pixel Image）コレクション機能搭載

着目する画素に対し、隣接する画素の映像データをサンプルし処理する新アルゴリズムを採用した輪郭補正回路を開発。垂直方向、水平方向、さらには斜め方向の画像を画素単位で検出・処理するため、より自然な輪郭を生成します。また、輝度信号と色信号を独立したアルゴリズムで処理し、さらにエンハンス時に発生しやすいリンギングを抑えるなどの映像に最適で効果的な処理を行うことにより、より自然で画質劣化のない映像を再現します。

4. 14bit / 216MHzビデオD/Aコンバータ搭載＜注1＞

すべての映像信号のD/A変換処理を14bitでおこなうとともに、プログレッシブでは8倍オーバーサンプリング処理をおこなうことのできるビデオD/Aコンバータを使用しており、DVD本来の美しい映像を満喫できます。さらに、NSV技術によりD/A変換時のノイズを低減しています。

5. 高画質な映像をデジタルで伝送できる、HDMI/DVI出力端子を搭載＜注2＞

映像信号とマルチチャンネル音声信号を同時にデジタル伝送が可能なHDMI端子と、デジタル映像信号を伝送するDVI端子を装備。さらにHDMIとDVIによる接続で、2つのデジタル映像機器に高品位映像の同時出力が可能です。また、HDMI規格Ver1.1に準拠することにより、DVDオーディオマルチチャンネル音声の伝送にも対応しています。

6. 時間軸領域の情報量拡張 Advanced AL24 Processing 搭載

PCM信号(CD/DVD)の再生系に独自の高速信号検出・処理技術で時間軸領域での情報量を大幅に向上させた“ Advanced AL24 Processing ”を2チャンネル出力に搭載しました。24bitへのデータ拡張に加え、アップコンバート・サンプリングによる、オリジナルデータを損なうことのない自然な補間処理を行います。

さらに5.1チャンネル音声出力には、DENON独自のアナログ波形再現技術“ AL24 Processing PLUS ”を搭載。全てのPCM信号ソースにおいて、高音質を実現しています。

7. 高精度24bit D/A コンバータ搭載

オーディオの再生系には、D/A コンバータで定評のあるバーブラウン社製のアドバンスト・セグメント方式の業界最高水準スペックを誇るD/A コンバータを全チャンネルに搭載。

DVD-Audioの24bit/192kHzのデータ入力はもちろん、スーパーオーディオCDのDSD再生に於いては、その理念通りのアナログ・ピュア・FIRフィルターを搭載した高性能D/A コンバータです。更に、MIX L/Rチャンネルには、贅沢にもこのD/A コンバータをL/Rそれぞれに独立したモノラルモードで使用し、より品質の高い信号再生を可能にしています。

8. 高音質メディアもデジタルで伝送。DENON LINK/IEEE1394端子搭載

DENON独自で全ての音声信号を、高速・高品位デジタル伝送可能な『DENON LINK』と、全ての音声信号が伝送可能なIEEE1394端子を装備。接続するAVアンプに合わせた伝送方式の選択が可能です。
（※ 全ての音声を伝送できるときは、DENON LINKの形式が3rdの場合のみです。）

9. 優れた高品質の証“ THX® Ultra ”準拠＜注3＞

THX社によって提唱されたDVDプレーヤーに対する画質、音質、接続機器との操作性といった厳しい品質基準であるTHX® Ultra規格を満たしています。

本機の特長（つづき）

10. スーパーオーディオCDマルチチャンネル再生対応

100kHzをカバーする再生周波数範囲と可聴帯域内120dB以上のダイナミックレンジがあるスーパーオーディオCDのマルチチャンネルディスク再生に対応し最大5.1chの出力が可能です。

11. HDCD®（High Definition Compatible Digital®）デコーダ搭載＜注4＞

HDCDは従来のCDフォーマットとの互換性を保ちながら、デジタルレコーディング時に起こる歪みを大幅に低減するエンコーディング・デコーディング技術で、ダイナミックレンジの拡大とハイレゾリューションを実現できます。

12. ドルビーデジタル/DTSデコーダ搭載＜注5＞＜注6＞

ドルビーデジタル/DTSデコーダを内蔵していますので、AVアンプやスピーカーと組み合わせて、映画館やホールにいるような臨場感がお楽しみいただけます。

13. 徹底した防振設計

（1）ハイブリッドローダー採用のメカニズムを搭載。
（2）重量級シャーシと低重心化による低振動4-BOX分割構造。
（3）メカ＆制御部、オーディオ部、ビデオ部、デジタルインターフェース部、アナログ電源部、デジタル電源部の6ブロックをそれぞれ構造的に分離し、相互干渉を排除する設計となっています。

14. 多彩な機能をお楽しみいただけます。

（1）静止画像再生機能＜注7＞＜注8＞

コダック（株）のピクチャーCDおよび富士写真フィルム（株）のフジカラーCDを再生できます。
また、CD-R/RWに記録したJPEG静止画像を再生できます。

（2）Windows Media™（ウインドウズメディア）対応＜注9＞

CD-R/RWに記録したウインドウズメディアオーディオ（WMA）の楽曲を再生できます。

（3）マルチ音声機能

DVDソフトに記録されている音声言語の中から、お好みの音声言語を選ぶことができます。

（4）マルチ字幕機能

DVDソフトに記録されている字幕言語の中から、お好みの字幕言語を選ぶことができます。

（5）マルチアングル機能

複数のアングルが記憶されているDVDソフトでは、映像のアングル（角度）を変えて再生できます。

（6）GUI（Graphical User Interface）機能

リモコンのDISPLAYボタンを押すことで、本機に関する情報やディスクの情報を、わかりやすくテレビ画面上に表示します。

（7）マーカー機能

見たい場面を最大5ヵ所まで記憶できるので、好きなときに見たい場面を再生できます。

（8）視聴制限機能

お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。

＜注1＞“NSV”はアナログデバイセズ社の登録商標です。
＜注2＞HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
＜注3＞“THX”、“THX® Ultra”はTHX社の登録商標です。
＜注4＞HDCD®,HDCD®, High Definition Compatible Digital®およびMicrosoft®は、米国内や他の国におけるマイクロソフト社の登録商標または商標です。HDCDシステムはマイクロソフト社からのライセンスに基づき製造されています。この製品は下記の1つ以上の特許によって保護されています。米国内：5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531。
オーストラリア国内：669114。その他の特許は出願中。
＜注5＞ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
“Dolby”およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
＜注6＞“DTS”および“DTS Digital Surround”はデジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。
＜注7＞“KODAK”はイーストマン・コダック社の登録商標です。
＜注8＞“FUJICOLOR CD”は、富士写真フィルム（株）の商標です。
＜注9＞“Windows Media™、Windows®”はマイクロソフト社の登録商標です。

5 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

電源コード…………………………1本	オーディオコード…………………………1本	ビデオコード……………………………1本	DENON LINK用コード………………1本
リモコン（RC-993）………1個	単3乾電池……………………3本	IEEE1394用コード …………1本	
取扱説明書（本書）…………1冊	製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表…1枚	保証書（梱包箱に貼り付けられています）	

ご注意

● 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

6 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より2年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット

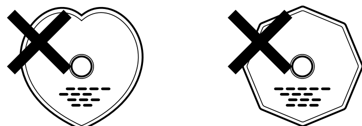


◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎ 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎ 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎ お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

7 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

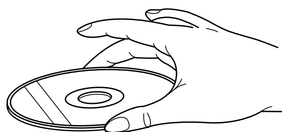
本機で再生できるディスクは、7ページにあるマークがついているものです。
但し、ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。
また、ディスクにラベルなどが貼り付けられているものは、振動が発生したり、再生できないことがありますので、ご使用にならないでください。



ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

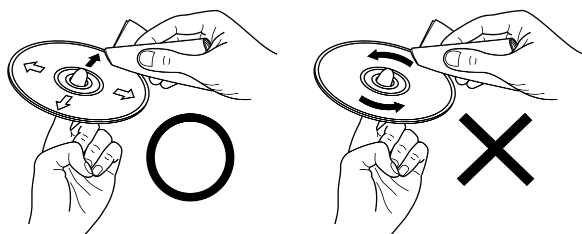
信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。



ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭きとってからご使用ください。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。　円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。



取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落しディスクトレイが開かなくなることがあります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままDVDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

8 接続のしかた

ご注意

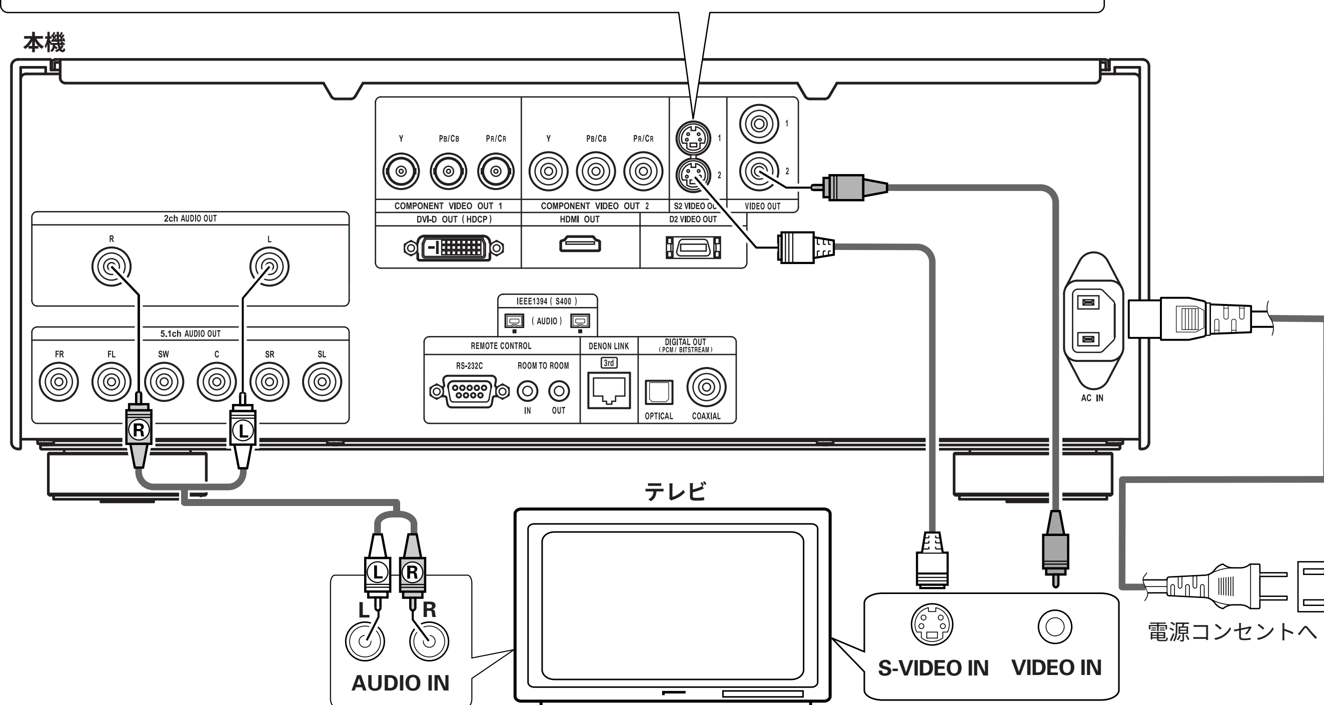
- 接続の際は各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れたまま接続をおこなうと雑音が発生し、スピーカーを破損することがあります。
- 左右のチャンネルを確かめてから正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
- 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因となることがあります。

(1) ワイドテレビ / AVテレビと接続する（映像出力端子、S2映像出力端子）

- 付属のオーディオ/ビデオコードを使用して、音声はテレビの音声入力端子と本機の2ch AUDIO OUT端子を接続し、映像はテレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子を接続します。

S映像出力端子について

映像信号をカラー信号と輝度信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像が得られます。
接続には、市販のS端子用接続コードをご使用してください。
なお、本機は自動的にワイドテレビの画面モードを切り替えるS2規格に対応しています。



ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。
  VTR（ビデオテープレコーダ）DVDレコーダ等を経由して接続しないでください。
  (ディスクによっては、VTRやDVDレコーダ等を通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。)
- テレビに接続する場合は、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。5.1ch AUDIO OUTのFL、FR端子をご使用の場合は、『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2CH (SRS OFF)』または『2CH (SRS ON)』に設定してください。（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『マルチ』に設定されています。）
- 従来サイズ（TVアスペクト4：3）のテレビと接続する場合は、『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『4：3 PS』、または『4：3 LB』に設定してください。（40ページ参照。）
- 映像出力端子・S映像出力端子とテレビを接続する場合は、『初期設定』で『映像設定』の『TVシステム』を『INTERLACED』に設定してください。（40、41ページ参照。なお、工場出荷時は『PROGRESSIVE』に設定されています。）

(2) 色差入力端子付きテレビ / モニターと接続する

★ **接続するテレビ/モニターにもよりますが、映像出力端子→S2映像出力端子→D2端子/色差映像出力端子→HDMI/DVI端子の順に、より高品質な映像を伝送することができます。ご使用になるテレビ/モニターの入力を確認し接続することをお勧めいたします。**

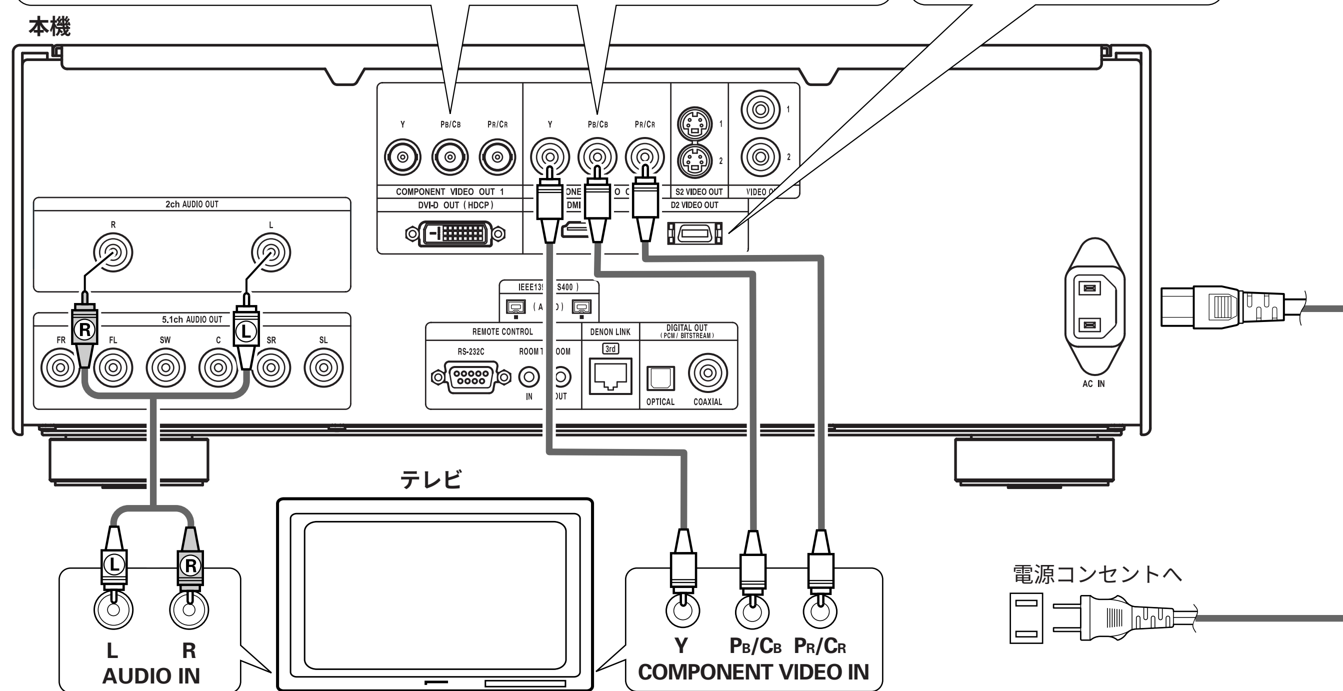
色差映像出力端子（Y、PB/CB、PR/CR）について

DVDに記録されたY信号、PB/CB信号、PR/CR信号がそのまま出力されるため、色をより忠実に再現します。

- テレビやモニターによって色差映像入力端子の表示が異なります。（PR、PB、Y/R-Y、B-Y、Y/CR、CB、Yなど）詳しくはテレビに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- **お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、色差映像出力端子またはD2端子に接続してください。**

D2端子について

テレビのD端子へ接続してください。
ただし、D1入力テレビの場合は、インターレース設定のみ有効です。

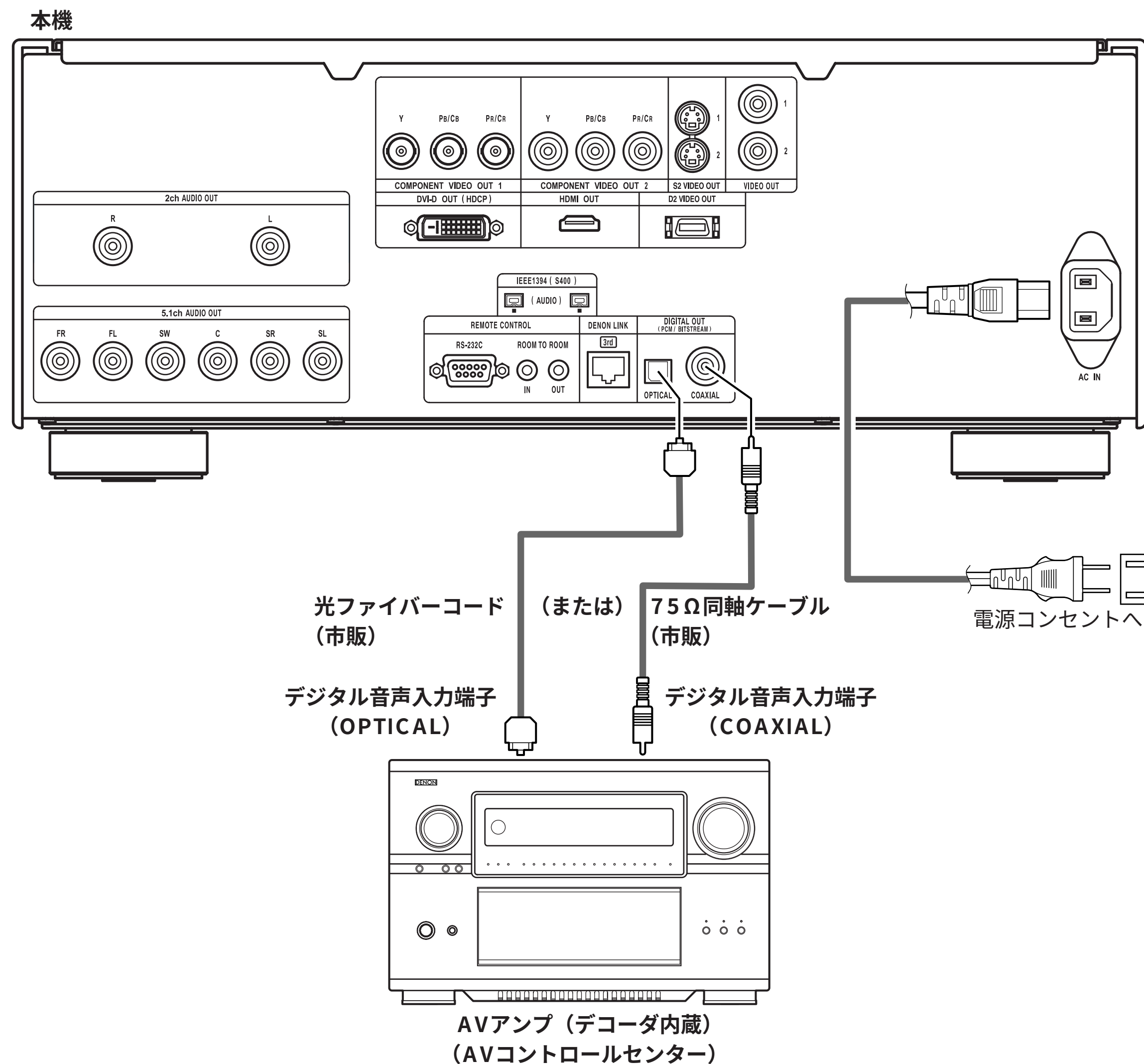


ご注意

- 色差映像出力端子およびD2端子をテレビ/モニターに接続する場合は、市販のコードを使用してください。
- テレビに接続する場合は、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。5.1ch AUDIO OUTのFL、FR端子をご使用の場合は、『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2CH (SRS OFF)』または『2CH (SRS ON)』に設定してください。（43ページ参照。なお、工場出荷時は『マルチ』に設定されています。）
- 従来サイズ（TVアスペクト4：3）のテレビと接続する場合は、『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『4：3 PS』、または『4：3 LB』に設定してください。（40ページ参照。なお、工場出荷時は『ワイド』に設定されています。）
- プログレッシブ入力に対応していないテレビと接続する場合には、初めに映像出力端子または、S2映像出力端子を接続し、『初期設定』で『映像設定』の『COMPONENT/D2出力』を『INTERLACED』に設定してから（40、41ページ参照。）、色差映像出力端子をテレビと接続してください。また、『初期設定』で『映像設定』の『TVシステム』を『INTERLACED』に設定してください。（40、41ページ参照。なお、工場出荷時は『PROGRESSIVE』）に設定されています。）
- 本機のプログレッシブ出力（525P/625P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては、本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、『初期設定』で『映像設定』の『COMPONENT/D2出力』を『INTERLACED』に切り替えてご使用ください。（40、41ページ参照。）

(3) デコーダ内蔵のAVアンプとデジタル接続する

★ ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダまたはDTSデコーダ内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声を楽しむことができます。
また、音楽CDなどに記録されているPCM音声をAVアンプにデジタル伝送できます。



ご注意

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）を使用する場合は、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ デジタル音声出力端子（OPTICAL）に光ファイバーコード（市販）を接続するときは



防塵キャップを外し、形状を合わせて
奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意

- 防塵キャップは紛失しないように保管し、端子を使わないときは、ほこりがつかないようにキャップを付けてください。

接続のしかた（つづき）

■ 本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

本機のデジタル音声出力端子（OPTICAL/COAXIAL）から出力される音声信号は、再生するディスクおよび本機の初期設定によって、次のようになります。（初期設定については、40～45ページを参照してください。）

【ビットストリーム出力の場合】

		初期設定『デジタル出力』	
	音声記録方式	NORMAL	PCM変換
DVDビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）
	DTS	DTS ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）

【PCM出力の場合】

	音声記録方式		初期設定『LPCM変換モード』 変換しない 著作権保護あり	著作権保護なし	変換する
DVDビデオ	リニアPCM	48kHz / 16～24bit	出力しない　＊1	48kHz / 16～24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16～24bit	出力しない	96kHz / 16～24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
DVDオーディオ	リニアPCMまたはパックドPCM	44.1kHz / 16～24bit	出力しない　＊2	44.1kHz / 16～24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		48kHz / 16～24bit	出力しない　＊1	48kHz / 16～24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		88.2kHz / 16～24bit	出力しない	88.2kHz / 16～24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16～24bit	出力しない	96kHz / 16～24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		176.4kHz / 16～24bit	出力しない	88.2kHz / 16～24bit PCM	44.1kHz / 16bit PCM
		192kHz / 16～24bit	出力しない	96kHz / 16～24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
MP3 CD	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）		44.1、48kHz / 16bit PCM		44.1、48kHz / 16bit PCM
WMA CD	WMA（Windows Media Audio）		44.1、48kHz / 16bit PCM		44.1、48kHz / 16bit PCM
スーパーオーディオCD	DSD（Direct Stream Digital）		出力しない　＊3		出力しない　＊3

＊1：48kHz/16bitのソースは出力されます。
＊2：44.1kHz/16bitのソースは出力されます。
＊3：CDレイヤー再生時は44.1kHz/16bitリニアPCMが出力されます。

- マルチチャンネルのPCMソースについては2チャンネルにダウンミックスされます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
- 著作権保護処理（CPPM）がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換モード』を『変換する』に設定（42、45ページ参照。）するか、またはアナログ音声接続をおこなってください。（17ページ参照。）
- 96kHz/88.2kHz非対応のAVアンプなどに接続する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換モード』を『変換する』に設定してください。（42、45ページ参照。）
- スーパーオーディオCDのマルチチャンネル/ステレオエリアの音声はデジタル音声出力端子（OPTICAL/COAXIAL）からデジタル出力できません。アナログ接続またはIEEE1394接続をおこなってください。（17、19ページ参照。）
- ピュアダイレクトでデジタル出力を " しない " に選択しているとき、デジタル音声データは出力されません。（51ページ参照。）

ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは44.1kHz/16bit～192kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

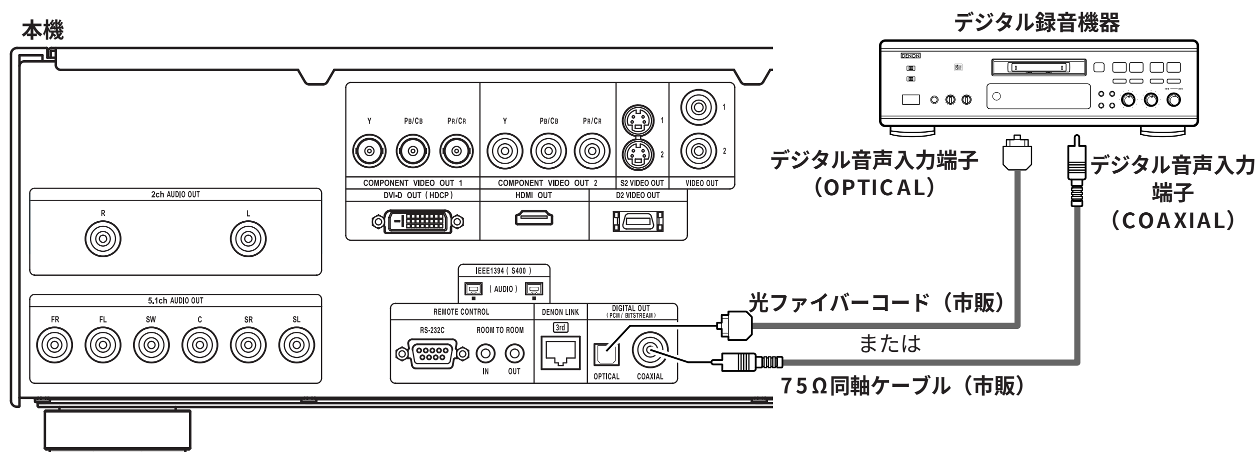
パックドPCM（PPCM）とは

PCM信号を圧縮したもので、元の信号に戻したときにデータ劣化がほとんどないという高音質圧縮信号です。

（4）MDレコーダやDATデッキなどのデジタル録音機器と接続する

※**『初期設定』で『音声設定』の『デジタル出力』を『PCM変換』に、『LPCM変換モード』を『変換する』に設定してください。**（42、45ページ参照。）

正しく設定せずにDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

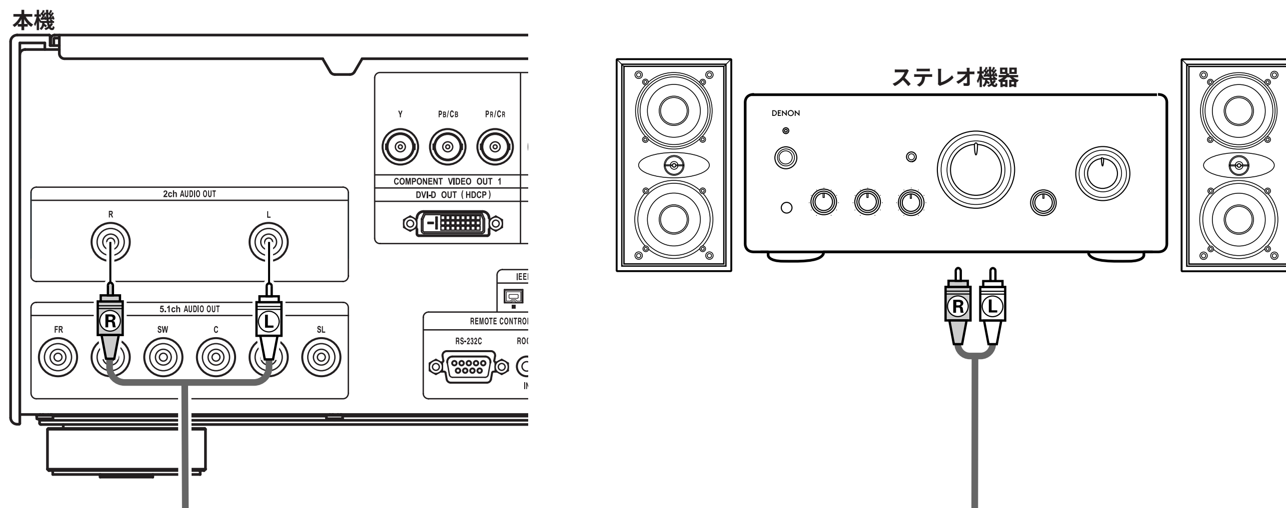


ご注意

- スーパーオーディオCDでは、CDレイヤー以外はデジタル音声を出力できません。

（5）ステレオ機器と接続する

★ 2ch AUDIO OUT音声回路には “ Advanced AL24 Processing ” を搭載しています。お手持ちのステレオ機器と接続して、“ Advanced AL24 Processing ” のサウンドを体感してください。

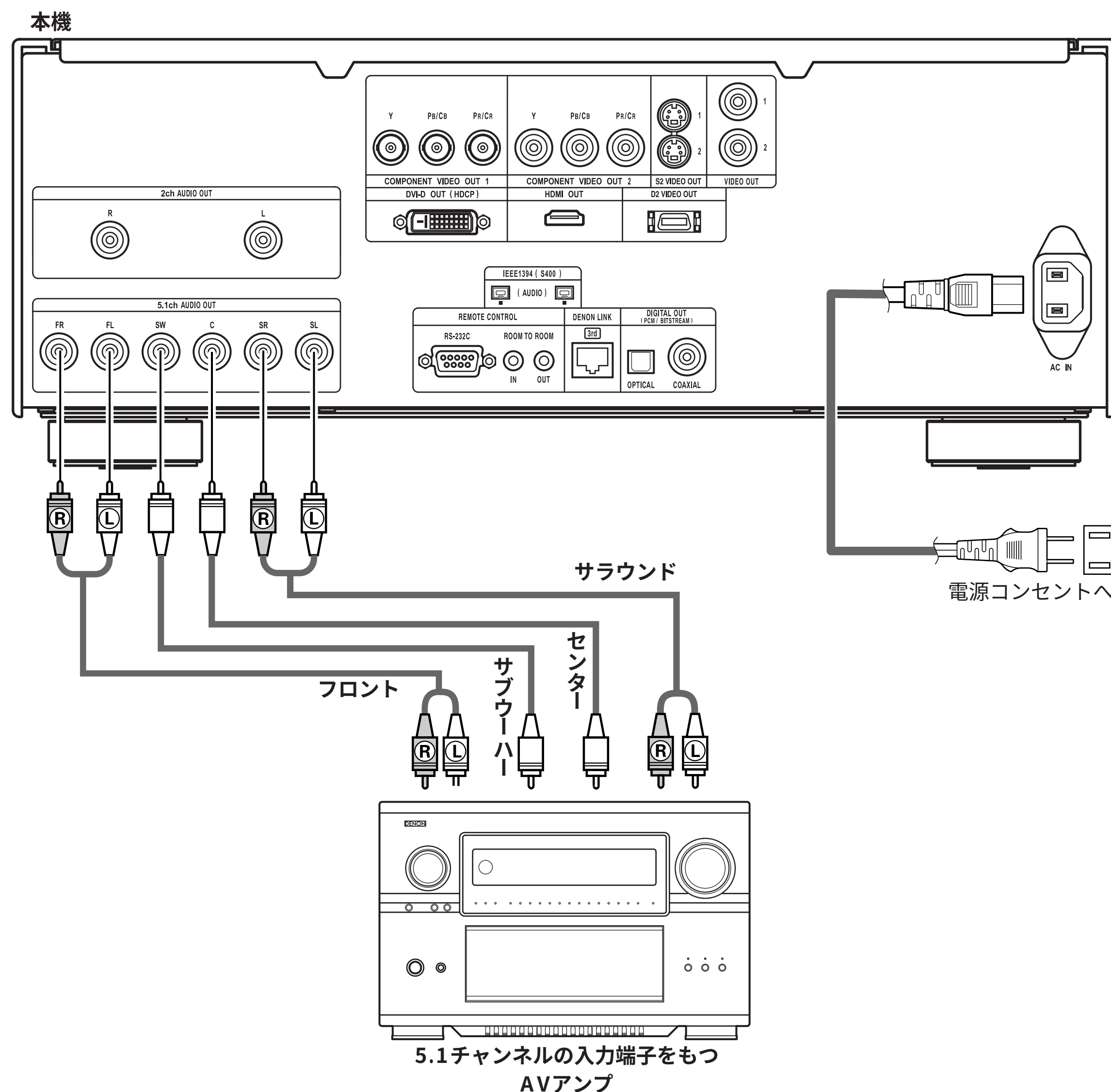


ご注意

- 2チャンネル音声のステレオ機器と接続する場合は、2ch AUDIO OUT端子をご使用ください。5.1ch AUDIO OUTのFL、FR端子をご使用の場合は、『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『2CH (SRS OFF)』または『2CH (SRS ON)』に設定してください。（42、43ページ参照。）マルチチャンネルで記録されているソフトでは、2チャンネルにダウンミックスされたアナログ音声が出力されます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）

(6) 5.1チャンネルサラウンドシステムの基本的な接続

★ 本機はアナログの5.1チャンネル音声出力をおこなうことができます。アナログの5.1チャンネル音声入力を装備したＡＶアンプに接続すると、スーパーオーディオCDのマルチチャンネルやパックドPCMで記録されているマルチチャンネルの音声がお楽しみいただけます。



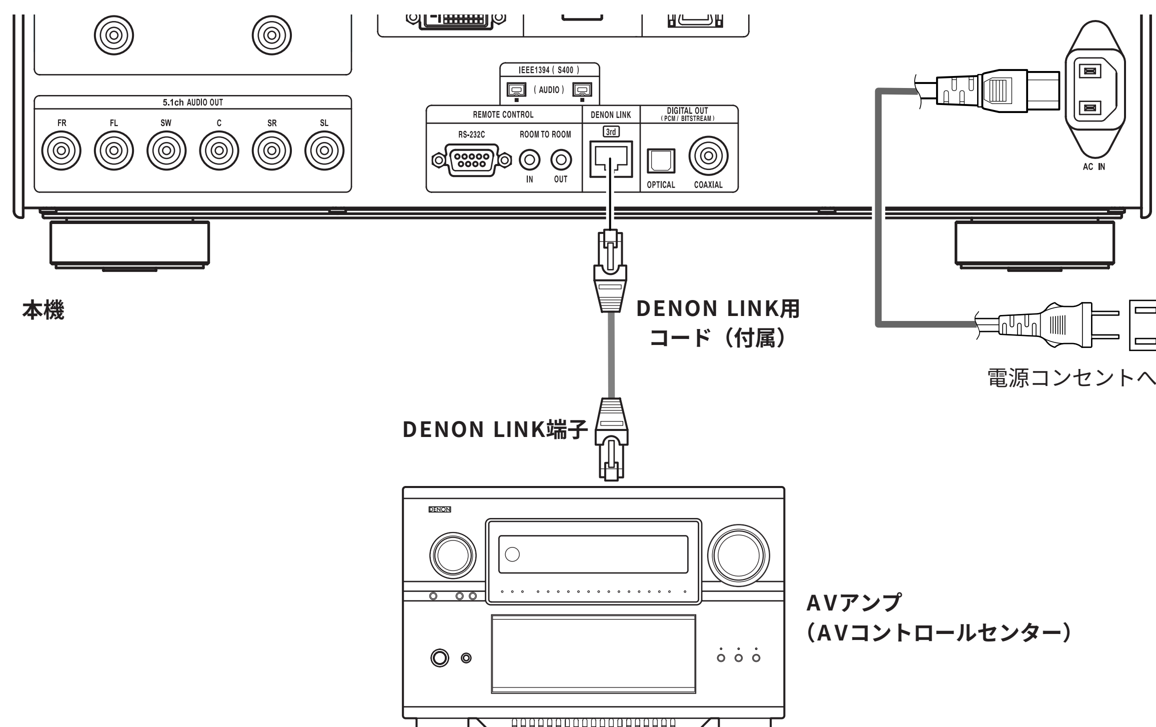
ご注意

- マルチチャンネルの接続をする場合は、『初期設定』で『音声設定』の『オーディオチャンネル』を『マルチ』に設定し、『スピーカー設定』、『チャンネルレベル』、『ディレー時間』の各設定をおこなってください。（42～44ページ参照。）
- 本機では、デジタル出力系からの干渉を最小限にし、ハイビット、ハイサンプリング、ハイクオリティーのアナログ音声をお楽しみいただくために、ピュアダイレクトでデジタル出力を“ しない ”に設定したアナログ出力のみの設定をおすすめします。（51、52ページ参照。）

（7）DENON LINK接続

★ DENON LINKに対応した別売のＡＶアンプと接続することにより、デジタル伝送ロスを少なくしたより高品質なデジタルサウンドがお楽しみいただけます。

• DENON LINK接続では、192kHz/176.4kHzでは24bit/2chまで、96kHz以下では24bit/6chまでデジタル伝送できます。



■ 従来機との互換性について

• 3rd Editionでは取り扱う信号形式が従来のDENON LINK Second (2nd) Editionとは異なります。
従ってDVDプレーヤーから出力するDENON LINK 3rd対応のデジタル音声信号は、DENON LINK 3rd対応のAVアンプでのみ再生することが可能です。
（DENON LINK 3rdに対応したDVDプレーヤーと、DENON LINK 3rd対応していないAVアンプの組合せでは、DENON LINK 3rd Editionでの再生はできません。）

ご注意

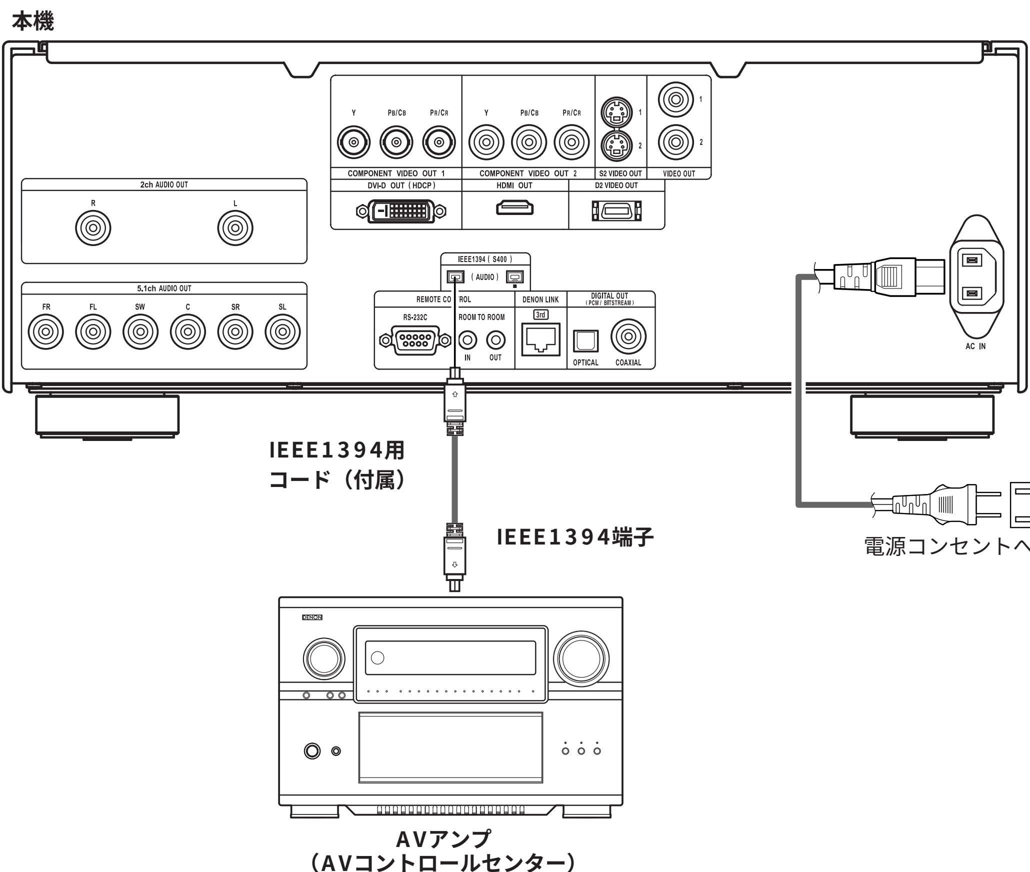
• DENON LINKのバージョンが異なる同士での接続では、音声が出なかったり、ノイズが再生されることがありますので、設定の際は、下記に注意してください。
• DENON LINK端子をご使用になる場合は、必ずお手持ちのAVアンプのDENON LINKのバージョンをご確認頂いてから、本機のDENON LINK出力を設定してください。
  ① お手持ちのAVアンプのバージョンが、DENON LINK 2nd Editionの場合（端子近傍に、“ S.E. ” 表示有）には、本機のDENON LINK出力設定は “ 2nd ” でしかご使用になれません。
  ② お手持ちのAVアンプのバージョンが、DENON LINK 3rd Editionの場合（端子近傍に、“ 3rd ” 表示有）には、本機のDENON LINK出力設定は、“ 2nd ” または “ 3rd ” でご使用になれます。
    DENON LINK “ 2nd（AUTO）”、“ 2nd（1394）”、“ 2nd（ANALOG）” 設定：
      DVD Video、DVD Audio、CDDA、Video CDの音声信号の伝送が可能です。
    DENON LINK “ 3rd ” 設定：
      Super Audio CD、DVD Video、DVD Audio、CDDA、Video CDの音声信号の伝送が可能です。

ご注意

• DENON LINKを設定時には、本機のアナログ音声出力端子（L/RおよびFL/FR）からダウンミックスされた音声信号が出力されます。5.1chアナログ音声端子をご使用の際には、初期設定でDENON LINK設定を『切』に設定してください。
• DENON LINK接続した場合、本機のスピーカー設定は無効になります。（スピーカー設定は、接続先のAVアンプで設定してください。）
• DENON LINK 2nd は、スーパーオーディオCDのマルチャンネル/ステレオエリアの音声を伝送できません。

（8）IEEE 1394接続

★ IEEE1394端子を持つ機器間を、IEEE1394用コード1本接続するだけで、DVDビデオ、DVDオーディオまたはスーパーオーディオCDの2ch/マルチチャンネル音声と、CDなどの2ch音声を伝送することができます。
IEEE1394接続では、サンプリング周波数が192kHz/176.4kHzでは24bit/2chまで、96kHz以下では24bit/6chまでデジタル伝送できます。
（※IEEE1394とは、米国電子電気技術協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。）



■ IEEE1394の設定

- IEEE1394接続をおこなう際には、『初期設定』の『デジタルインターフェース設定』で『IEEE1394』を『入』に設定します。（36〜39ページ参照。なお、工場出荷時は『切』に設定されています。）

※ 本機のIEEE1394は、IEEE Std. 1394a-2000、Standard for High Performance Serial Busに基づき設計されています。

※ IEEE1394ネットワーク
IEEE1394　AUDIO信号（A & Mプロトコル）同士の機器は、下記の様な接続ができます。
① ディジー・チェーン接続
各セット間を1本のIEEE1394コードで直列に接続します。最大で15台の接続が可能です。
② ツリー（タワー）接続
各セット間を1本のIEEE1394コードで直列および並列に接続します。最大で63台の接続が可能です。

※ 著作権保護システム
IEEE1394 接続を通してスーパーオーディオCD、またはDVD（コピー自由なディスクは除く）の音声を再生するには、プレーヤーとアンプの双方がDTCP（Digital Transmission Content Protection）とよばれる著作権保護システムに対応している必要があります。DTCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。本機はDTCPに対応しています。お手持ちのアンプについてはアンプの取扱説明書をご覧ください。

※ IEEE1394対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がIEEE1394端子の周辺に表記されています。IEEE1394の最大転送速度は、約100/200/400Mbps*が定義されており、200MbpsのものはS200、400MbpsのものはS400と表記されます。本機のIEEE1394最大データ転送速度は、400Mbpsです。S100やS200の機器をつないだ場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が400Mbpsより遅くなる場合があります。できるだけ、最大データ転送速度が同じ機器同士を並べて接続してください。

*Mbps（メガビーピーエス）とは、『Mega bits per second』の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。400Mbpsでは、1秒間に400メガビットのデータが転送可能です。

接続のしかた（つづき）

ご注意

- IEEE1394を設定時には、本機のアナログ音声端子、デジタル音声端子、DENON LINK端子またはHDMI端子から音声信号は出力されません。アナログ音声端子、デジタル音声端子、DENON LINK端子またはHDMI端子をご使用の際には、IEEE1394設定を『切』に設定してください。
- 付属のIEEE1394ケーブルを使用してください。付属のIEEE1394ケーブル以外を使用するときは、S400以上で長さが3.5m以下の4ピンIEEE1394ケーブルを使用してください。
- 本機のIEEE1394端子から出力される『IEEE1394 AUDIO信号（A & Mプロトコル）』は、IEEE1394端子を装備したAV機器でのみ受信できます。デジタルビデオの『DV』やパーソナルコンピューター、i・Link（ソニー株式会社の商標）等の音声信号は、送受信できません。誤動作する事もありますので、接続される機器の取扱説明書をご覧になって接続ください。またIEEE1394対応機器間であっても接続動作を保証するものではありません。IEEE1394対応機器間で、データやコントロール信号が送受信できるかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- IEEE1394のAUDIO信号（A & Mプロトコル）では映像信号が伝送されないため、映像信号の接続も必要になります。
- IEEE1394接続では、機器間は必ず1本のコードで接続ください。同一機器間を2本のコード（ループ）で接続すると自分で出力した信号が戻り誤動作しますので、絶対にしないでください。
- IEEE1394接続した場合、本機のスピーカー設定は無効になります。（スピーカー設定は接続先のAVアンプで設定してください。）
- IEEE1394対応機器の再生中は、他の機器のIEEE1394ケーブルを外したり、新しい機器を接続したり、電源のオン/オフはおこなわないでください。音声が途切れることがあります。
- IEEE1394対応機器の中には電源がスタンバイ状態やオフになっていると、データを中継できない機器があります。接続するIEEE1394対応機器の取扱説明書もご覧ください。本機はスタンバイ状態のときIEEE1394のデータを中継できません。

■ AVアンプとのデジタル音声接続について

- IEEE1394端子を除き、デジタル音声出力端子から出力できる信号には制限があり、再生するディスクによってはデジタル音声を出力できないことがあります。接続するAVアンプによってはデジタル接続以外に複数の接続が必要になりますので、下の表を参考に接続してください。

※ 本機で再生できる全てのディスクの音声をAVアンプから出力するには、『○』印の接続が必要です。

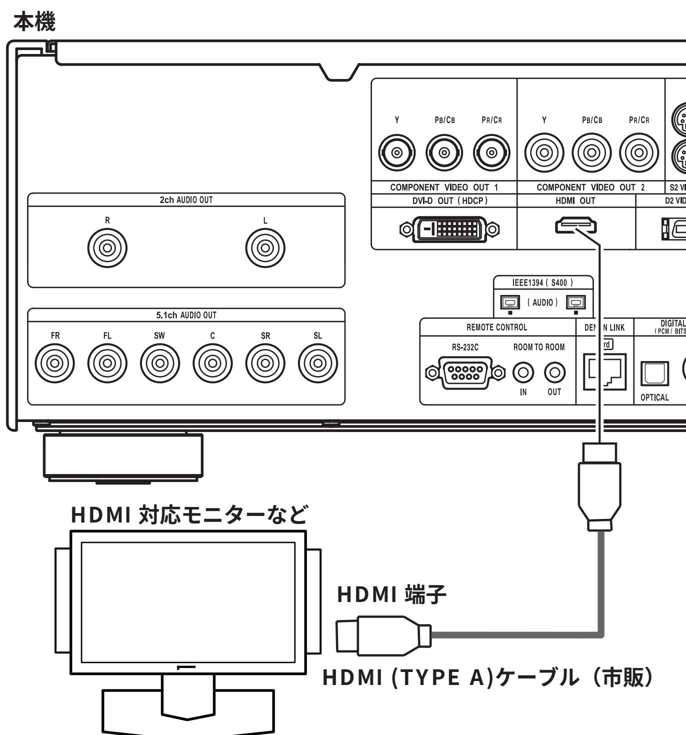
接続する機器	デジタル音声出力			アナログ音声出力	
	OPTICAL または COAXIAL	IEEE1394	DENON LINK	L/R または FL/FR/SW/C/SL/SR	
ドルビーデジタル/DTS対応AVアンプ	○			○ <注2>	デジタル音声出力端子(OPTICAL/COAXIAL)から出力されないデジタル音声については、15ページを参照してください。
IEEE1394 対応AVアンプ	不要	○		不要 <注2>	IEEE1394端子からは全てのデジタル音声が出力されます。
DENON LINK 対応AVアンプ	不要		○ <注1>	○ <注2>	DENON LINK端子からは、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル/ステレオエリアのデジタル音声以外が出力されます。<注1>
DENON LINK/IEEE1394 対応AVアンプ	不要	○	○	不要 <注2>	38ページ（『DENON LINK』を選択したとき）を参照してください。

<注1> DENON LINK端子から、スーパーオーディオCDのマルチチャンネル/ステレオエリアのデジタル音声を出力させるには、DENON LINKを3rdに設定してください。2nd形式でマルチチャンネル/ステレオエリアを再生する場合は、アナログ音声端子もAVアンプと接続してください。

<注2> Advanced AL24 Processing（L/R）およびAL24 Processing PLUS（FL/FR/SW/C/SL/SR）はアナログ音声出力について機能します。お好みの音質でアナログ音声かデジタル音声を選択することをお勧めします。アナログ音声出力を使用する場合、DENON LINKおよびIEEE1394の設定を『切』にしてください。

（9）HDMI（High-Definition Multimedia Interface）接続

★ HDMI端子のある機器と1本のケーブル（市販）で接続するだけで、DVDビデオなどのデジタル映像とDVDビデオやDVDオーディオのマルチチャンネル音声のデジタル伝送がおこなえます。
本機はDVDオーディオマルチチャンネル音声が伝送可能なHigh-Definition Multimedia Interface Specification Version 1.1に対応しています。
本機と接続するケーブルは、HDMIの認証を受けたTYPE-Aのケーブルをご使用ください。
また、安定した伝送のために5m以下のケーブルを推奨いたします。



■ HDMI端子から出力させるには

- 工場出荷時は『HDMI/DVI OFF』に設定されています。HDMI接続をおこなう際には、本体またはリモコンのHDMI/DVI SELECTボタンで『HDMI Y Cb Cr』または『HDMI R G B』に設定してください。(57ページ参照。)

■ 映像の設定について

- 工場出荷時は『480P/576P』に設定されています。解像度を変更する場合は手動で設定することが可能です。本体または、リモコンのHDMI/DVI FORMATボタンで、480P/576P、720P、1080iの中から接続先のモニターに合わせて解像度を設定してください。
また本機では『AUTO』設定することにより接続したHDMI機器の解像度を検出し、自動で解像度を設定することができます。

■ 音声の設定について

HDMI端子と他の機器を接続する場合、接続する機器/モニターの仕様に合わせて、『初期設定』の『HDMI音声』を設定してください。(36ページ参照。)

接続する機器	初期設定『HDMI音声』	HDMI音声について
HDMI対応モニター/プロジェクターなど(2チャンネル音声対応または音声非対応)	2CH	HDMI端子から、映像信号と2チャンネルPCM音声を出力します。DENON LINK/IEEE1394またはマルチチャンネルアナログ音声出力をAVアンプに接続する場合は『2CH』に設定してください。
HDMI対応AVアンプ/モニターなど(ドルビーデジタル/DTSデコーダ搭載)	マルチ(NORMAL)	HDMI端子から、映像信号とドルビーデジタル/DTSビットストリームを出力します。スピーカー設定は接続するAVアンプ等で設定してください。
HDMI対応モニターなど(ドルビーデジタル/DTSデコーダ非搭載マルチチャンネル音声対応)	マルチ(LPCM)	HDMI端子から、映像信号とドルビーデジタル/DTSビットストリームをマルチチャンネルPCM信号に変換して出力します。スピーカー設定は『初期設定』の『HDMI音声』で設定してください。

- DENON LINKおよびIEEE1394に設定すると、HDMI音声設定は『2CH』に切り替わります。
- IEEE1394から音声信号を出力する設定のときは、HDMI端子から音声は出力されません。
- 『マルチ(NORMAL)』『マルチ(LPCM)』に設定しているときは、アナログ音声はL/RおよびFL/FRからのみ出力されます。(FL/FRはダウンミックス音声になります。)
- スーパーオーディオCDではCDレイヤー以外のデジタル音声はHDMI端子から出力されません。マルチチャンネル/ステレオエリアを再生する場合は、HDMI音声を『2CH』に設定し、アナログ音声またはIEEE1394を使用してください。

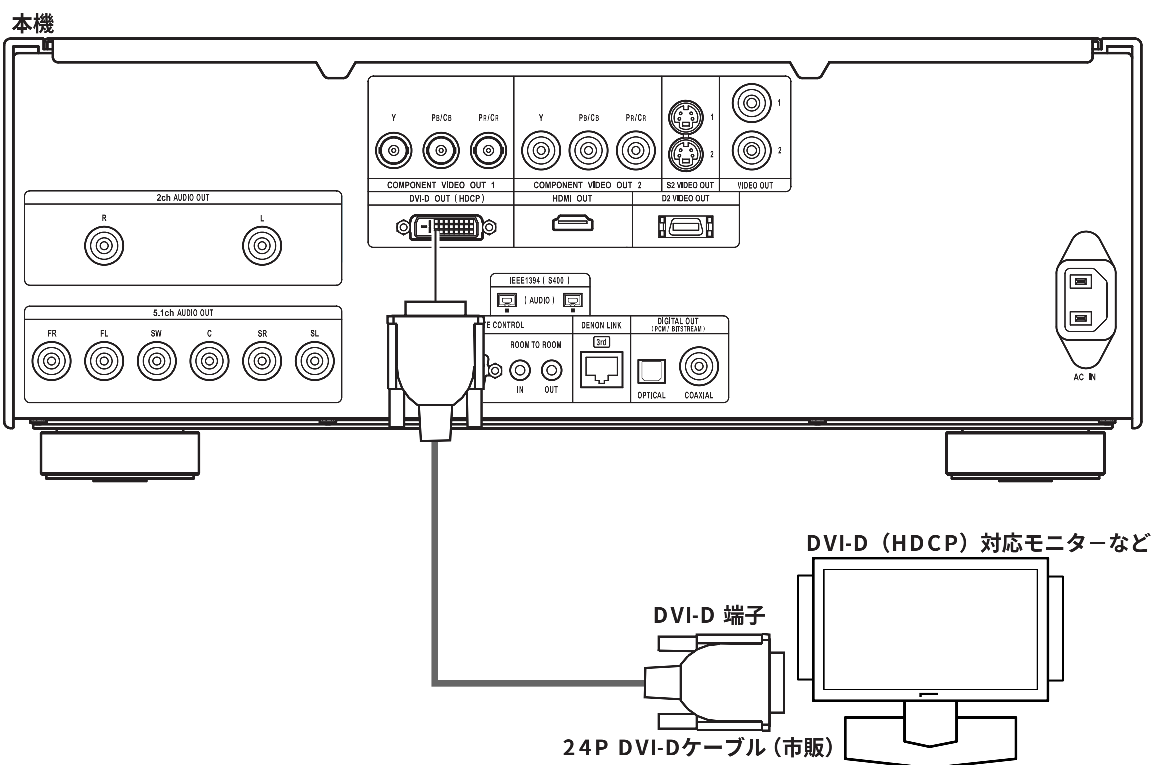
接続のしかた（つづき）

ご注意

- HDMI接続では『PURE DIRECT』でビデオ出力を『しない』に設定したり『ALL OFF』に設定するとHDMI映像のみならずHDMIの音声出力も出なくなります。（51、52ページ参照。）
- HDMI対応機器の中には、HDMI端子経由で他の機器を制御できるものがありますが、本機をHDMI端子経由で他の機器からコントロールすることはできません。
- HDMI規格Ver1.1に対応していない機器をご使用の場合、CPPMで著作権保護処理されたDVDオーディオの音声信号は、HDMI端子から出力されません。
- HDCP（コンテンツ保護機能）に対応していない機器をご使用の場合、映像が正常に出力されません。
- HDMI端子からの音声信号（サンプリング周波数、ビット長など）は、接続される機器により制限されることがあります。

（10）DVI（Digital Visual Interface）接続

★ DVI-D端子のある機器と接続し、デジタル映像の伝送がおこなえます。
※ HDCP（コンテンツ保護機能）に対応していない機器をご使用の場合、映像が正常に出力されません。
※ DVI-D端子からは、音声信号は出力されませんので、音声接続もおこなってください。
※ 市販DVIケーブルには24Pのものと29Pのものがあります。本機では24P DVI-Dケーブルに対応しており、29P DVIケーブルは接続できません。



接続のしかた（つづき）

■ DVI-D端子の設定

- 工場出荷時は『HDMI/DVI OFF』に設定されており、DVI-D端子から映像が出力されません。本体またはリモコンのHDMI/DVI SELECTボタンで『HDMI Y Cb Cr』または『HDMI R G B』に設定してください。(57ページ『HDMI/DVI SELECT』参照。）

※ なお、『HDMI Y Cb Cr』、『HDMI R G B』のどちらに設定しても、DVI-D端子からはRGB形式で出力されます。

■ HDMI/DVI-D端子のそれぞれにモニターを接続する場合

- HDMI端子とDVI-D端子には同じ解像度の映像信号が出力されます。
- 『HDMI/DVI FORMAT』が『AUTO』に設定されていて、本機のHDMI/DVI-D端子のそれぞれにモニターを接続した場合、両方の機器に映像が表示されるように、自動で解像度が設定されます。
(57ページ参照。）
  ① **HDMI機器を2台接続した場合(HDMI-DVI変換ケーブルが必要です。）**
  自動で2台のHDMI機器の解像度を検出し、それぞれの機器に映像が表示できる解像度で出力します。
  ② **HDMI機器とDVI機器を1台ずつ接続した場合**
  解像度は『480P/576P』に設定されます。
  ③ **DVI機器を2台接続した場合(HDMI-DVI変換ケーブルが必要です。）**
  解像度が『480P/576P』に設定されます。
  また、解像度を手動で設定することも可能です。本体またはリモコンのHDMI/DVI FORMATボタンで、480P/576P、720P、1080iから、接続する機器に合わせて解像度を設定してください。
- HDMI出力は色差形式(Y/Cb/Cr)、RGB形式から選択できます。本体またはリモコンのHDMI/DVI SELECTボタンで設定してください。DVI-D出力はHDMIの設定に係わらずRGB形式で出力されます。
(57ページ参照。）

■ HDMI-DVI変換ケーブルでの接続について

- 市販のHDMI-DVI変換ケーブルを使用してモニターに接続する場合は、音声信号は出力されません。
- DVI-D対応モニターに接続した場合は、自動でRGB出力に切り替わります。
- 安定した伝送のために5m以下の変換ケーブルを推奨いたします。

	映像	音声	
HDMI端子→DVI-D対応モニター	○	×	自動でRGBに切り替わります。
DVI-D端子→HDMI対応モニター	○	×	DVI-D端子からはRGB形式で出力されます。

※ 著作権保護システム

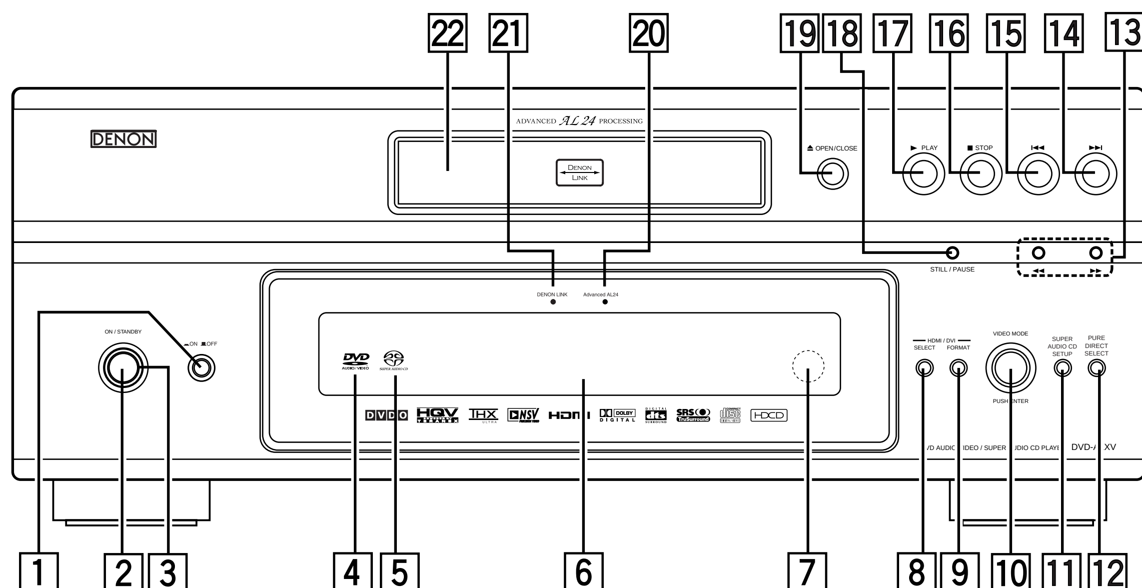
HDMI/DVI-D接続を通してDVDビデオやDVDオーディオのデジタル映像と音声を再生するにはプレーヤーとモニター（またはAVアンプ）の双方がHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCPはデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。
本機はHDCPに対応しています。お手持ちのモニター（またはAVアンプ）については取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 『HDMI/DVI FORMAT』を『AUTO』に設定してHDMI/DVI-D端子に、DVI機器を接続した場合には、『480P/576P』の解像度で出力されます。
『720P』や『1080i』へ解像度を変えたい場合は、手動で設定してください。

9 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル



1 主電源スイッチ

- 押して『ON』(▁)にすると電源が入ります。もう一度押して『OFF』(▇)にすると電源が切れます。(電源ON/スタンバイ状態は、電源を切っても記憶されます。)

2 電源ボタン

- 押すと電源表示LEDが赤色に点灯し、スタンバイ状態となります。もう一度押すと電源表示LEDが緑色に点灯して電源が入ります。

3 電源表示LED

- 電源が『ON』または『スタンバイ』状態の時に点灯します。
  電源『ON』：緑色点灯
  スタンバイ ：赤色点灯

4 DVDオーディオ／ビデオインジケータ

- DVDオーディオやDVDビデオのディスクを装着すると点灯します。

5 SUPER AUDIO CDインジケータ

- スーパーオーディオCDを装着すると点灯します。(ハイブリッドディスクを装着し、CDレイヤーを選択した場合は消灯します。)

6 ディスプレイ

- 27ページを参照してください。

7 リモコン受光部

- 付属のリモコン(RC-993)をこの受光部に向けて操作してください。

8 HDMI/DVI SELECTボタン

- HDMI端子およびDVI端子から映像信号を出力させたいときに押します。

→ HDMI Y Cb Cr → HDMI RGB → HDMI/DVI OFF →(最初に戻る)

9 HDMI/DVI FORMATボタン

- HDMI端子およびDVI端子から出力される映像信号の解像度を選択します。

→ 480P/576P → 720P → 1080i → AUTO →(最初に戻る)

10 VIDEO MODEボタン

- 映像出力に関わる各種モードを変更するときに使用します。

※ PICTURE MODEとSQUEEZE MODEは電源を切ると記憶させている設定に戻ります。(このモードでの設定値は記憶されません。)

- PICTURE MODE

STD ↔ M1 ↔ M2 ↔ M3 ↔ M4 ↔ M5 (M5 → STD)

- TV SYSTEM

PROGRESSIVE ↔ INTERLACED ↔ HDMI/DVI (HDMI/DVI → OTHERS → PROGRESSIVE)

- SQUEEZE MODE

OFF ↔ ON ↔ AUTO (AUTO → OFF)

- AUDIO ADJUST

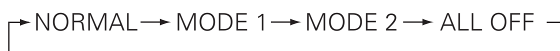
TIME: -30msec ↔ TIME: 0msec ↔ TIME: +200msec

各部の名前とはたらき（つづき）

⑪SUPER AUDIO CD SETUPボタン
- スーパーオーディオCDの再生するエリア/レイヤーの優先順位の設定をします。
（52ページ参照。）



⑫PURE DIRECT SELECTボタン
- 映像信号やデジタルオーディオ信号の出力状態を記憶したモードを選択するときに使用します。（51、52ページ参照。）



⑬スロー/サーチボタン（◀◀, ▶▶）
- 早送り/早戻しするときに押します。
（62ページ参照。）
- 一時停止しているときに押すとスロー再生します。（63ページ参照。）

⑭スキップボタン（▶▶I）
- 次のトラック(チャプター)の頭出しをします。

⑮スキップボタン（I◀◀）
- 再生中のトラック（チャプター）の頭出しをします。
- さらに押すとひとつ前のトラック（チャプター）の頭出しをします。

⑯停止ボタン（■STOP）
- ディスク再生を停止させるときに押します。

⑰再生ボタン（▶PLAY）
- ディスクを再生させるときに押します。

⑱一時停止ボタン（STILL／PAUSE）
- 映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生をするときに押します。（63ページ参照。）

⑲OPEN／CLOSEボタン（⏏OPEN／CLOSE）
- ディスクトレイを開閉させるときに押します。

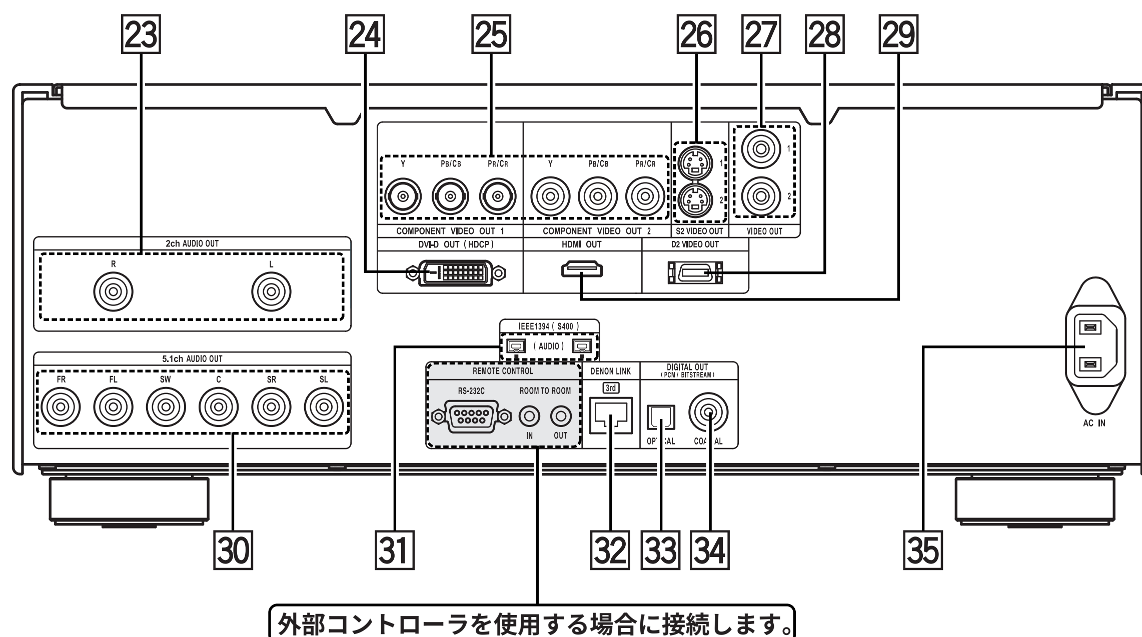
⑳Advanced AL24 Processing表示LED
- アナログ波形再現技術のAdvanced AL24 Processingで、DVDなどの音声信号をデジタル処理すると点灯します。

㉑DENON LINK表示LED
- DENON LINKによるデジタル転送処理をすると点灯します。

㉒ディスクトレイ
- ディスクを装着するところです。
- 開閉するときは、⑲ OPEN／CLOSEボタンを押してください。
- ⑰ 再生ボタンを押しても閉じます。

各部の名前とはたらき（つづき）

(2) リアパネル



㉓ アナログ2チャンネル音声出力端子（2ch AUDIO OUT）

- アンプの音声入力端子に接続すると、本機の音声をアンプを通してスピーカーで聞くことができます。マルチチャンネルソースの場合、ダウンミックスして出力します。（ダウンミックスが禁止される場合もあります。）

㉔ DVI-D映像出力端子（DVI-D VIDEO OUT）

- 24PのDVI-D端子用接続ケーブル（市販）を接続します。

㉕ 色差映像出力端子（COMPONENT VIDEO OUT）

- ビデオコード（市販）を接続します。
  1:BNCコード（市販）を接続します。
  2:75Ωのピンコード（市販）を接続します。

㉖ S2映像出力端子（S2-VIDEO OUT）

- S端子用接続コード（市販）を接続します。

㉗ 映像出力端子（VIDEO OUT）

- 付属のビデオコードを接続します。

㉘ D2映像出力端子（D2 VIDEO OUT）

- D端子用接続コード（市販）を接続します。

㉙ HDMI出力端子（HDMI OUT）

- HDMI端子用接続ケーブル（TYPE A）（市販）を接続します。

㉚ アナログ5.1チャンネル音声出力端子（5.1ch AUDIO OUT）

- アンプの音声入力端子に接続すると、本機のマルチチャンネル音声をアンプを通してスピーカーで聞くことができます。

㉛ IEEE1394端子（IEEE1394）

- IEEE1394端子を装備しているAVアンプと接続します。付属のIEEE1394用コードを接続します。

㉜ DENON LINK端子（DENON LINK）

- DENON LINK端子を装備しているAVアンプと接続します。付属のDENON LINK用コードを接続します。

㉝ デジタル音声出力端子（OPTICAL）

- 光ファイバーコード（市販）を接続します。
- デジタル音声データを出力します。
- 接続できるコードは、市販の※EIAJ規格の光ファイバーコードです。

㉞ デジタル音声出力端子（COAXIAL）

- 75Ωのピンコード（市販）を接続します。
- デジタル音声データを出力します。
- 接続できるコードは、市販の※EIAJ規格の75Ωのピンコードです。

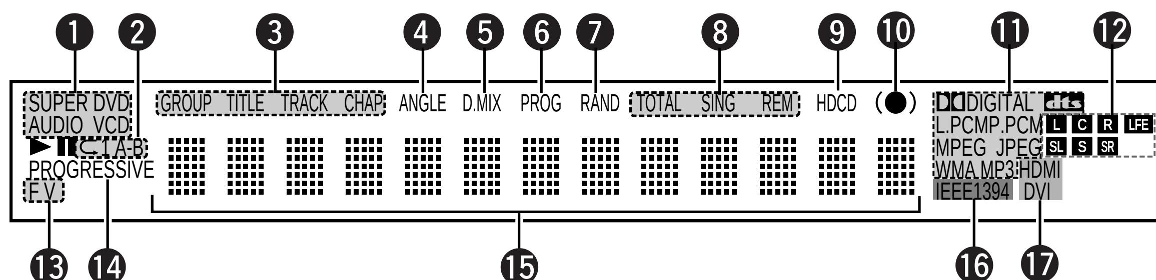
㉟ 電源入力端子（AC IN）

- 付属の電源コードを接続します。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

※EIAJ規格：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

各部の名前とはたらき（つづき）

(3) ディスプレイ



❶ 再生しているディスクの種類が点灯します。

❷ リピート再生中に点灯します。

❸ 再生するディスクの種類に合わせ、曲の区切りの名称が点灯します。

❹ 複数のアングルが記録されているディスクを再生しているときに点灯します。

❺ 音声信号がダウンミックス可能なときに点灯します。

❻ プログラム再生中に点灯します。

❼ ランダム再生中に点灯します。

❽ 時間表示モードが点灯します。

❾ HDCDを再生したとき点灯します。

❿ SRS TruSurroundで再生したとき点灯します。

⓫ 再生しているフォーマットが点灯します。

⓬ 再生しているチャンネルが点灯します。
- L ：フロント左
- C ：センター
- R ：フロント右
- SL ：サラウンド左
- S ：サラウンドモノラル
- SR ：サラウンド右
- LFE：サブウーハー

⓭ 再生している映像の種類が点灯します。
- F ：Filmソース
- V ：Videoソース

⓮ 色差映像出力端子、D2端子からプログレッシブ映像信号が出力されているときに点灯します。

⓯ 再生中、タイトル／トラック番号や経過時間などを表示します。

⓰ IEEE1394端子から音声信号を出力しているとき点灯します。

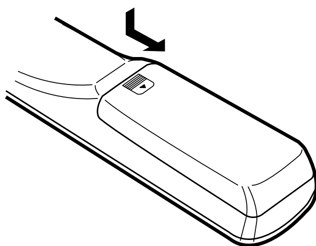
⓱ DVI-D端子やHDMI端子から映像（または音声）出力しているときに点灯します。
(DVI-D端子やHDMI端子の接続確認中は点滅します。)

10 リモコンについて

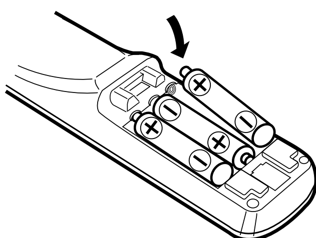
★ 付属のリモコン（RC-993）を使うと離れたところから本機をコントロールすることができます。

（1）乾電池の入れかた

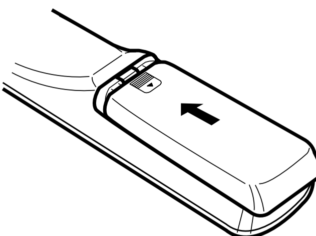
① リモコンの裏ぶたを外してください。



② 単3乾電池（3本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。



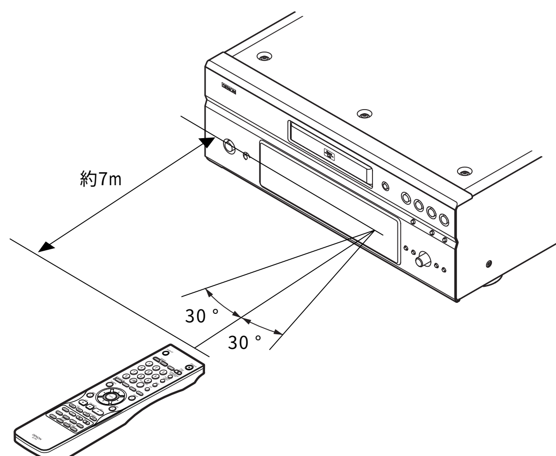
③ 裏ぶたを元通りにしてください。



乾電池についてのご注意

- リモコンには単3形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 新しい乾電池と交換するときはリモコンに使用している乾電池を取り出し、約2分間経過してから新しい乾電池を入れてください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた



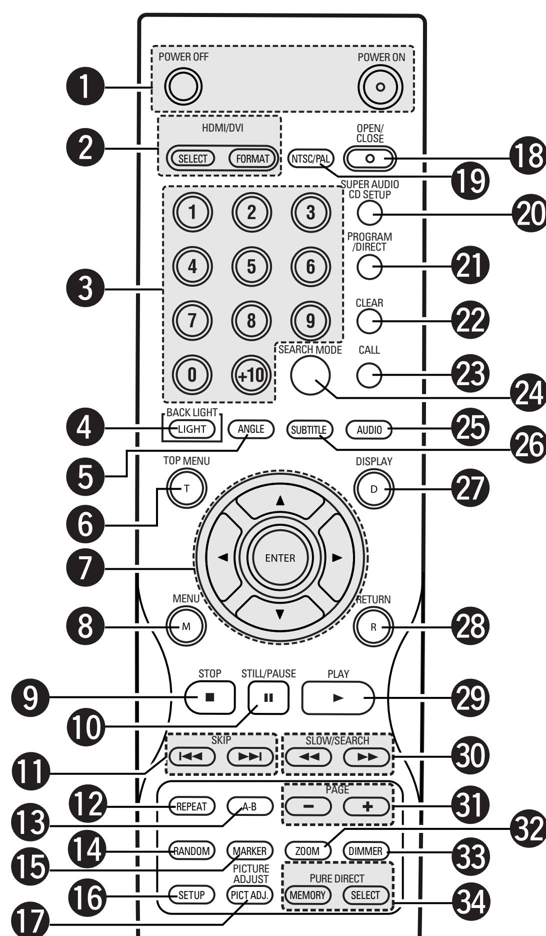
- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコン受光部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。
- 本体とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

（3）リモコンボタンの名前とはたらき

★ 特に説明のないボタンは、本体のボタンと同じはたらきをします。



❶ POWER ON/OFFボタン
- 電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

❷ HDMI/DVI SELECT/FORMATボタン
- HDMI端子およびDVI端子からの映像/音声の出力を設定します。

❸ 番号ボタン
- 数字を入力します。
  10以上の数字を入力するときは、**+10ボタン**を使用します。
  【例】25を入力するとき

  (+10) → (+10) → (5)

❹ LIGHTボタン
- 約7秒間、全てのボタンが点灯します。
- もう一度押すと消灯します。

❺ ANGLEボタン
- アングル（角度）を切り替えます。

❻ TOP MENUボタン
- ディスクに収録されているトップメニューを表示します。

❼ カーソルボタン/ENTERボタン
- 上下方向の選択をする時には▲▼を押します。
  左右方向の選択をする時には◄►を押します。
  ▲ ▼ ◄ ►で選択した項目を決定する場合、**ENTERボタン**を押します。

❽ MENUボタン
- ディスクに収録されているDVDメニューを表示します。

❾ STOPボタン

❿ STILL/PAUSEボタン

⓫ SKIPボタン

⓬ REPEATボタン
- くり返し再生をします。

⓭ A-Bボタン
- 指定した2点間をくり返し再生します。

⓮ RANDOMボタン
- ランダム再生をおこなうときに押します。

⓯ MARKERボタン
- 再び見たいところを記憶します。

⓰ SETUPボタン
- 初期設定画面を表示します。

⓱ PICTURE ADJUSTボタン
- お好みの画質に調整するときに押します。

⓲ OPEN/CLOSEボタン

⓳ NTSC/PALボタン
- 本機のビデオ出力フォーマット（NTSC/PAL）を切り替えるときに使用します。

⓴ SUPER AUDIO CD SETUPボタン

㉑ PROGRAM/DIRECTボタン
- プログラム再生をおこなうときに押します。

㉒ CLEARボタン
- 入力された数字を取り消します。

㉓ CALLボタン
- プログラム内容を確認するときに押します。

㉔ SEARCH MODEボタン
- **番号ボタン**を使用してダイレクト選曲する際、サーチモードをグループまたはタイトル、およびトラックまたはチャプターに切り替えます。

㉕ AUDIOボタン
- DVDの場合は音声言語を切り替えます。ビデオCDの場合は『ステレオ』、『L』、『R』を切り替えます。

㉖ SUBTITLEボタン
- DVDの字幕言語を切り替えます。

㉗ DISPLAYボタン
- ON-SCREEN画面を表示します。

㉘ RETURNボタン
- メニューを1つ手前に戻します。

㉙ PLAYボタン

㉚ SLOW/SEARCHボタン

㉛ PAGE －/＋ボタン
- ブラウザブルの静止画が記録されているDVDオーディオで、好みの静止画像を選ぶときに押します。

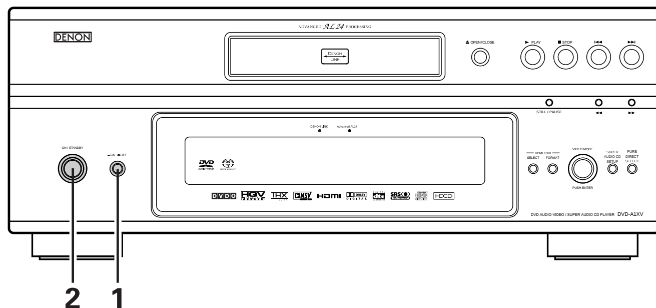
㉜ ZOOMボタン
- 映像を拡大するときに押します。

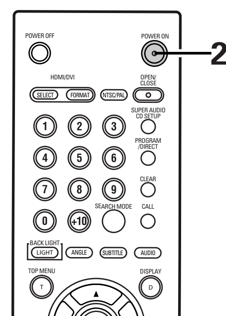
㉝ DIMMERボタン
- 本体のディスプレイの明るさを調整します。全消灯から通常点灯まで4段階に切り替えられます。

㉞ PURE DIRECT MEMORY/SELECTボタン
- より高品質な音声を楽しむために、各種設定と選択ができます。 （51、52ページ参照。）

11 電源を入れる

★ 音声出力と映像出力の接続が済みましたら、電源を入れてください。
本機には、すべての通電をON/OFFする主電源スイッチと、一部回路に通電しておき、リモコンでもON/スタンバイできる電源ボタンの2つの電源スイッチがあります。

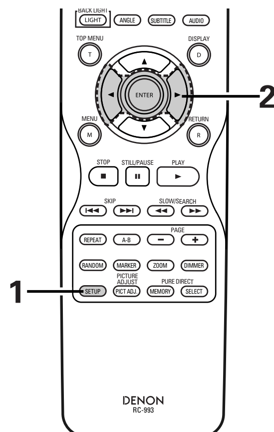




1	**主電源スイッチをONにします。** **ON** ：電源表示LEDが緑色に点灯します。 （スタンバイ状態では赤色に点灯します。） **OFF** ：電源表示LEDは消灯します。	ON / STANDBY　点灯　ON　OFF （本体）
2	**スタンバイ状態の時は電源を入れます。** 本体の電源ボタンまたは、リモコンのPOWER ONボタンを押します。 ● 電源ボタンを押すと電源表示LEDが緑色に点灯して電源が入り、ディスプレイが点灯します。 ● 電源ボタンを押してスタンバイ状態にしても一部の回路は通電していますので、外出やご旅行の場合は必ず主電源スイッチをOFFするか、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 電源ON/スタンバイ状態は、主電源スイッチを切っても記憶されています。（電源がスタンバイの状態で、主電源スイッチをOFF、さらにONにすると電源はスタンバイ状態（電源表示LED：赤色点灯）になります。本体の電源ボタンまたはリモコンの『POWER ON』ボタンで、電源をON（電源表示LED：緑色点灯）にしてください。）	ON / STANDBY　点灯（赤→緑）　POWER ON （本体）　（リモコン）

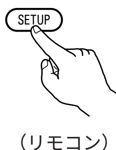
12 初期設定の変更のしかた

★ 再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。
初期設定およびスタンバイ状態は、電源を切っても次に変更するまで保持されます。



1

停止中にSETUPボタンを押します。



（リモコン）

※ 再生中でも、一部の項目については初期設定を変更することができます。

● 初期設定画面が表示されます。

言語設定： Aa
ディスクに準備されている各種言語や初期設定画面の言語やTV画面に表示される“プレイ”などの言語を設定できます。
設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選択されます。

デジタルインターフェース設定：
DVI、HDMI、DENON LINK、IEEE1394の出力モードを設定します。

映像設定：
ご使用されるテレビの画面モードおよび映像出力モードを設定します。

音声設定：
本機の音声出力モードを設定します。

視聴制限設定：
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。
ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。

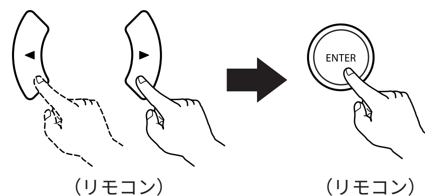
特殊設定： etc.
DVDオーディオの再生モード、クローズド・キャプション（字幕）などの設定ができます。



2

カーソルボタン（◀,▶）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。

- **「言語設定」**を選択（34、35ページ参照。）
- **「デジタルインターフェース設定」**を選択（36〜39ページ参照。）
- **「映像設定」**を選択（40、41ページ参照。）
- **「音声設定」**を選択（42〜46ページ参照。）
- **「視聴制限設定」**を選択（47、48ページ参照。）
- **「特殊設定」**を選択（49、50ページ参照。）



（リモコン）　（リモコン）

※ 初期設定を終了するときは
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

【初期設定項目一覧表】 ※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。
※ 接続機器により表示内容が変わります。

言語設定（ディスク/OSD）

- 音声言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- 字幕言語
  - 切
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- メニュー言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- OSD言語
  - ENGLISH
  - **日本語**

映像設定

- TVアスペクト
  - 4：3 PS
  - 4：3 LB
  - **ワイド**
- TVタイプ
  - **NTSC**
  - PAL
  - マルチ
- TVシステム
  - **PROGRESSIVE**
  - INTERLACED
  - HDMI/DVI
  - OTHERS
- COMPONENT/D2出力
  - **PROGRESSIVE**
  - INTERLACED
- スクイーズモード
  - **切**
  - 入
  - オート
- プログレッシブモード
  - **オート**
  - ビデオ1
  - ビデオ2

デジタルインターフェース設定

- HDMI/DVI 画質設定 (HDMI Y Cb Crを除く)
  - **NORMAL**
  - ENHANCED
- HDMI音声
  - **2CH**
  - マルチ (NORMAL)
  - マルチ (LPCM) → HDMIスピーカー設定
- HDMI AUTO FORMAT
  - **PANEL RES.**
  - MAX RES.
- DENON LINK
  - **切**
  - 2nd (AUTO)
  - 2nd (1394)
  - 2nd (ANALOG)
  - 3rd
- IEEE1394
  - **切**
  - 入 → IEEE1394設定

IEEE1394設定

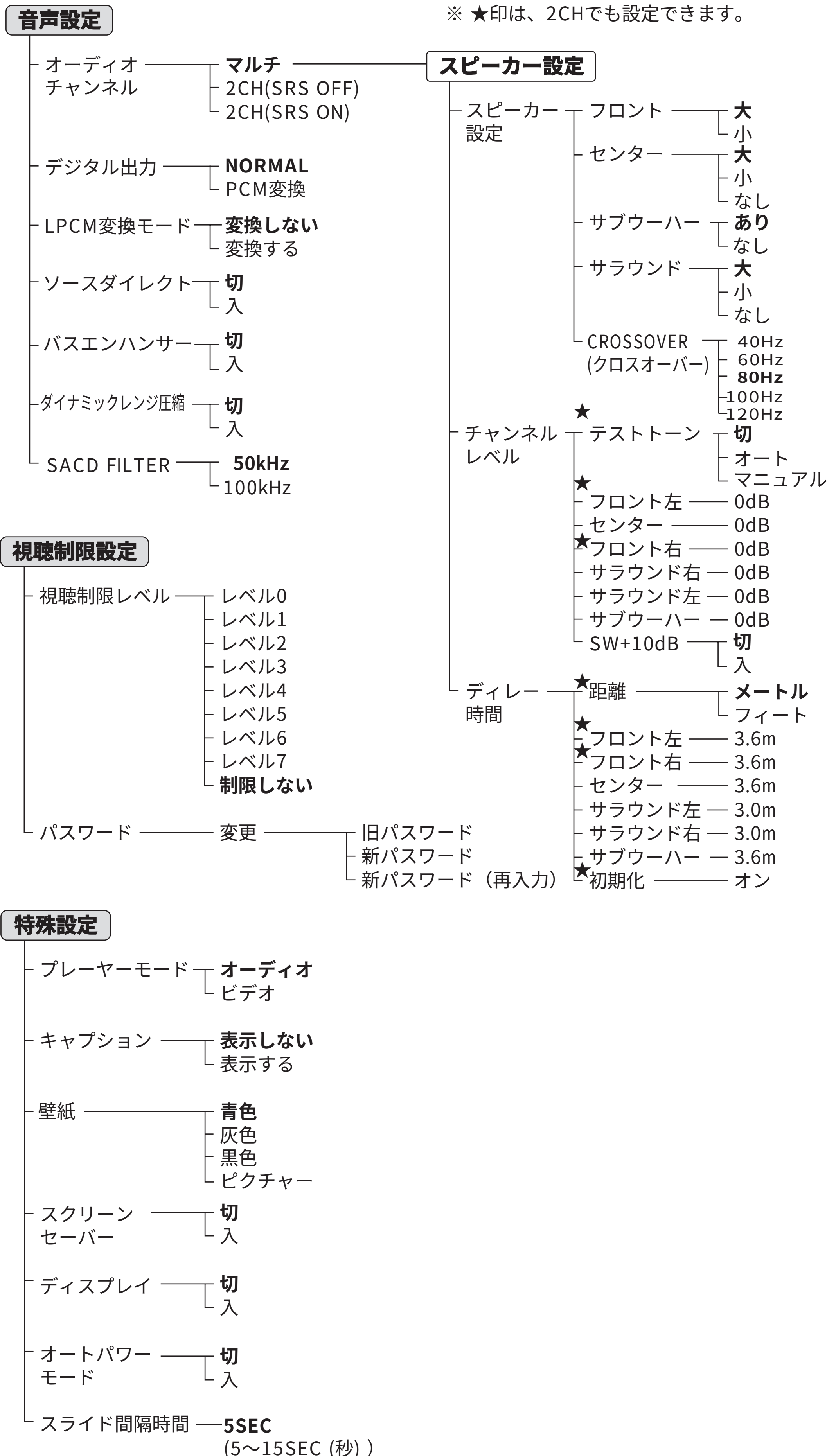
- オートプレイ
  - **切**
  - 入
- オーディオフォーマット
  - **フォーマット1**
  - フォーマット2

HDMI スピーカー設定

- スピーカー設定
  - フロント
    - **大**
    - 小
  - センター
    - **大**
    - 小
    - なし
  - サブウーハー
    - **あり**
    - なし
  - サラウンド
    - **大**
    - 小
    - なし
  - CROSSOVER (クロスオーバー)
    - 40Hz
    - 60Hz
    - **80Hz**
    - 100Hz
    - 120Hz
- チャンネルレベル
  - テストトーン
    - **切**
    - オート
    - マニュアル
  - フロント左 — 0dB
  - センター — 0dB
  - フロント右 — 0dB
  - サラウンド右 — 0dB
  - サラウンド左 — 0dB
  - サブウーハー — 0dB
- ディレー時間
  - 距離
    - **メートル**
    - フィート
  - フロント左 — 3.6m
  - フロント右 — 3.6m
  - センター — 3.6m
  - サラウンド左 — 3.0m
  - サラウンド右 — 3.0m
  - サブウーハー — 3.6m
  - 初期化 — オン

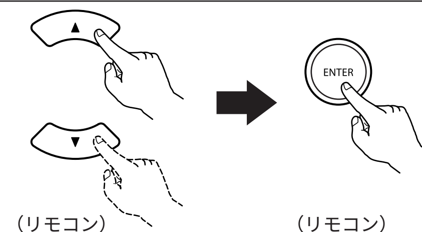
【初期設定項目一覧表】

※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。
※ ★印は、2CHでも設定できます。



『言語設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1〜2*をおこないます。**



2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

音声言語
　スピーカーから出力される音声言語の設定ができます。

字幕言語
　ＴＶに表示される字幕言語の設定ができます。

メニュー言語
　トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語の設定ができます。

OSD言語
　初期設定画面の言語やTV画面に表示される “ プレイ ” などの言語の設定ができます。



3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

■『音声言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語の音声が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の音声が再生されます。
（35ページの言語番号一覧表を参照。）



■『字幕言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語の字幕が再生されます。

◎**切**：字幕を表示させないときに選択します。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。
◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の字幕が再生されます。
（35ページの言語番号一覧表を参照。）



初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

■『メニュー言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語のメニュー画面が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語のメニュー画面が再生されます。（下記の言語番号一覧表を参照。）

■『OSD言語』を選択したとき

◎**ENGLISH**……………………**OSDが英語で表示されます。**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**…**OSDが日本語で表示されます。**

※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。



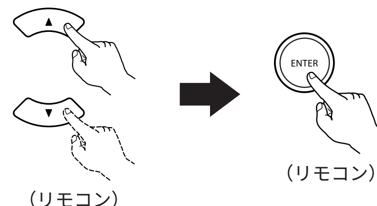


【言語番号一覧表】

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7074	フィジー	7665	ラテン	8375	スロバキア
6566	アプハジア	7079	フェロー	7678	リンガラ	8376	スロベニア
6570	アフリカーンス	7082	フランス	7679	ラオ	8377	サモア
6577	アムハラ	7089	フリジア	7684	リトアニア	8378	ショナ
6582	アラビア	7165	アイルランド	7686	ラトビア（レット）	8379	ソマリ
6583	アッサム		（スコットランド）	7771	マダガスカル	8381	アルバニア
6588	アイマラ	7168	ゲール	7773	マオリ	8382	セルビア
6590	アゼルバイジャン	7176	ガリチア	7775	マケドニア	8385	スンダ
6665	バシキール	7178	グアラニー	7776	マラヤーラム	8386	スウェーデン
6669	ベロルシア	7185	グジャラト	7778	モンゴル	8387	スワヒリ
	（白ロシア）	7265	ハウサ	7779	モルダビア	8465	タミル
6671	ブルガリア	7273	ヒンディー	7782	マラッタ	8469	テルグ
6672	ビハール	7282	クロアチア	7783	マライ（マレー）	8471	タジク
6678	ベンガル	7285	ハンガリー	7784	マルタ	8472	タイ
	（バングラ）	7289	アルメニア	7789	ビルマ	8473	ティグリニア
6679	チベット	7365	インターリングア	7865	ナウル	8475	トルクメン
6682	ブルターニュ	7378	インドネシア	7869	ネパール	8476	タガログ
6765	カタロニア	7383	アイスランド	7876	オランダ	8479	トンガ
6779	コルシカ	7384	イタリア	7879	ノルウェー	8482	トルコ
6783	チェコ	7387	ヘブライ	7982	オーリヤ	8484	タタール
6789	ウェールズ	7465	日本語	8065	パンジャブ	8487	トウイ
6865	デンマーク	7473	イディッシュ	8076	ポーランド	8575	ウクライナ
6869	ドイツ	7487	ジャワ	8083	パシュト	8582	ウルドゥー
6890	ブータン	7565	グルジア	8084	ポルトガル	8590	ウズベク
6976	ギリシャ	7575	カザフ	8185	ケチュア	8673	ベトナム
6978	英語	7576	グリーンランド	8277	レトロマンス	8679	ヴォラピュック
6979	エスペラント	7577	カンボジア	8279	ルーマニア	8779	ウォロフ
6983	スペイン	7578	カンナダ	8285	ロシア	8872	コーサ
6984	エストニア	7579	韓国（朝鮮）語	8365	サンスクリット	8979	ヨルバ
6985	バスク	7583	カシミール	8368	シンド	9072	中国語
7065	ペルシャ	7585	クルド	8372	セルボクロアチア	9085	ズールー
7073	フィンランド	7589	キルギス	8373	シンハラ		

『デジタルインターフェース設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1*〜*2*をおこないます。**



2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

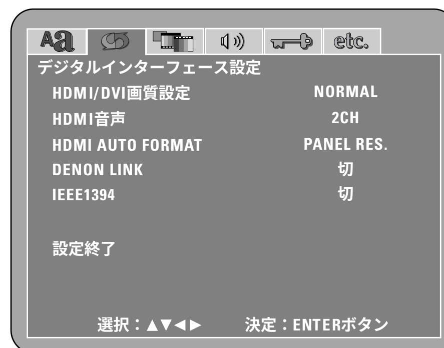
HDMI/DVI画質設定
HDMI／DVI端子から出力するデジタルＲＧＢ映像レンジ（データ範囲）の設定ができます。

HDMI音声
HDMI端子から出力する音声を2ch、マルチ(NORMAL)またはマルチ（LPCM）に設定ができます。

HDMI AUTO FORMAT
本体またはリモコンの「HDMI/DVI FORMAT」ボタンで選択する「AUTO」機能の設定をします。

DENON LINK
DENON LINK端子の出力設定ができます。

IEEE1394
IEEE1394端子の出力設定ができます。



3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

■『HDMI／DVI画質設定』を選択したとき

◎**NORMAL＜工場出荷時＞**
HDMI／DVI端子のデジタルＲＧＢ映像レンジ(デ-タ範囲)を16(黒)〜235(白)で出力します。

◎**ENHANCED**
HDMI／DVI端子のデジタルＲＧＢ映像レンジ(デ-タ範囲)を0(黒)〜255(白)で出力します。

※HDMI／DVI接続時にご使用のＴＶやモニターによっては、黒色が浮くような場合があります。その際には“ ENHANCED ”に設定してください。『HDMI/DVI SELECT』が『HDMI Y Cb Cr』設定のときは効果がありません。（57ページ参照。）



■『HDMI音声』を選択したとき

◎**2CH＜工場出荷時＞**
HDMI端子から2chのリニアPCM音声信号を出力します。

◎**マルチ (NORMAL)**
HDMI端子からマルチ(6ch)の音声信号を出力します。
ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

◎**マルチ(LPCM)**
HDMI端子からマルチ(6ch)の音声信号を出力します。
ドルビーデジタル/DTSで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCMに変換して出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。



3
つづき

■『マルチ（LPCM)』を選択したときは、『HDMIスピーカー設定』画面になります。

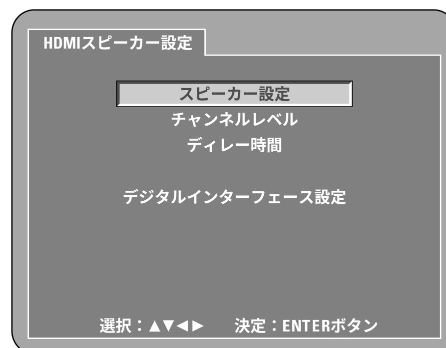
カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。

◎**スピーカー設定**
使用するスピーカーの種類およびサブウーハーのクロスオーバー周波数を選択することができます。

◎**チャンネルレベル**
スピーカー、サブウーハーから出力される音量レベルを調整できます。

◎**ディレー時間**
リスニングポジションから各スピーカーの距離を設定します。

※**『デジタルインターフェース設定』に戻るとき**は、**カーソルボタン（▼）**で『デジタルインターフェース設定』を選択し**ENTERボタン**を押します。



①『スピーカー設定』のしかた

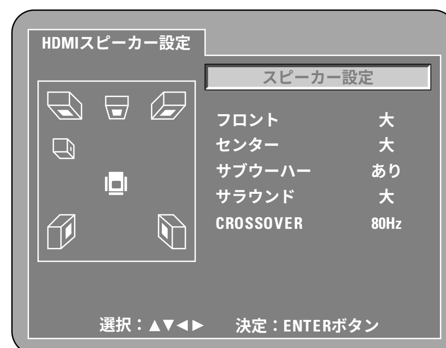
カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択してENTERボタンを押し、カーソルボタン（▲,▼）でスピーカーの種類を選択してENTERボタンを押します。

◎**大**
大きいスピーカーに接続しているときに選択します。

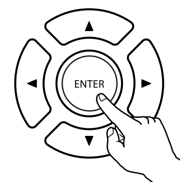
◎**小**
小さいスピーカーに接続しているときに選択します。

◎**CROSSOVER（クロスオーバー）**
クロスオーバー周波数を40Hz～120Hzから選択します。
40Hz
60Hz
80Hz ＜工場出荷時＞
100Hz
120Hz

※**『HDMIスピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。



※**接続される機器により表示内容が異なります。（接続した機器のスピーカーの有無を表示します。）**



（リモコン）

②『チャンネルレベル』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で調整するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◄,►）で出力レベルを設定します。

◎テストトーンは**カーソルボタン（◄,►）**で『オート』か『マニュアル』を選びテストトーンを出力します。各スピーカーのテストトーンが同じ音量で聞こえるように調整します。（初期設定は『切』）

◎音量レベルは0dB～－10dBまでの範囲で、1dB単位で調整できます。

※**『HDMIスピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。



（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

③『ディレー時間』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◀,▶）で距離を設定します。

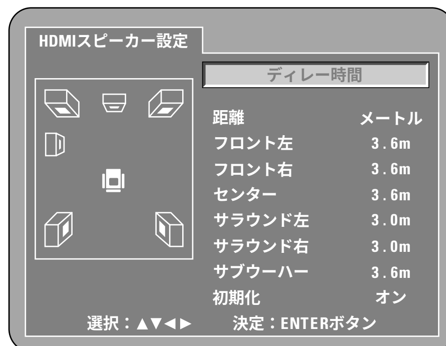
◎距離の単位は**カーソルボタン（◀,▶）**で『メートル』『フィート』を選択します。

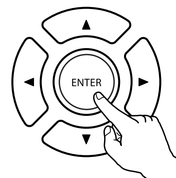
◎距離は0m～18m（0ft～60ft）までの範囲で、0.1m単位（フィートの場合は1ft単位）で設定できます。
各スピーカーの遠近の差は、4.5m（15ft）までの範囲で調整できます。

◎**初期化**
『初期化』を選択してENTERボタンを押すとディレー時間の設定が工場出荷時に戻ります。

※ **HDMI接続ケーブルを抜いても『HDMIスピーカー設定』の『スピーカー設定』や『チャンネルレベル』設定、『ディレイ時間』の設定値は保持されます。**

※**『HDMIスピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。





（リモコン）

■『HDMI AUTO FORMAT』を選択したとき

◎**PANEL RES.<工場出荷時>**
接続したHDMI機器のパネル画素数を検出し、HDMI出力解像度を自動で選択します。

◎**MAX RES.**
接続したHDMI機器に入力できる最大の解像度を検出し、HDMI出力解像度を自動で選択します。



■『DENON LINK』を選択したとき

◎**切<工場出荷時>**
DENON LINK端子からデジタル音声信号を出力しません。
DENON LINK接続しないときは『切』に設定してください。

◎**2nd (AUTO)**
DENON LINK 端子から2nd形式で信号を出力します。
スーパーオーディオCDのマルチ/ステレオエリアを再生する時は、IEEE1394端子の接続を自動検出し、接続されているとIEEE1394 端子から出力します。
IEEE1394端子に接続されていないときは、アナログ音声端子から出力します。

◎**2nd (1394)**
DENON LINK 端子から2nd形式で信号を出力します。
スーパーオーディオCDのマルチ/ステレオエリアを再生する時は、IEEE1394端子から出力します。アナログ音声端子からは出力しません。

◎**2nd (ANALOG)**
DENON LINK 端子から2nd形式で信号を出力します。
スーパーオーディオCDを再生する時は、アナログ音声端子から出力します。(IEEE1394端子が接続されていても出力しません。)使用するAVアンプにIEEE1394端子がない場合に選択してください。

※ DENON LINK 2ndでは、スーパーオーディオＣＤのデジタル伝送はできません。

◎**3rd**
DENON LINK 端子から3rd形式で信号を出力します。
スーパーオーディオCDを再生しても、DENON LINK端子から出力されます。

※ 接続されるアンプのDENON LINK形式に合わせて設定してください。（18ページ参照。）

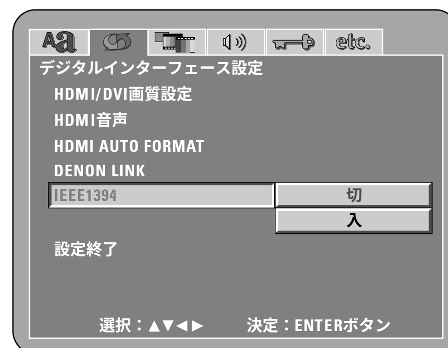


3 つづき

■『IEEE1394』を選択したとき

◎**切＜工場出荷時＞**
IEEE1394端子からデジタル音声信号を出力しません。IEEE1394接続しないときは「切」に設定してください。

◎**入**
全てのデジタル音声信号がIEEE1394端子から出力されます。なお、IEEE1394を『入』に設定したとき、IEEE1394以外の音声端子(アナログ音声、OPTICAL/COAXIAL、DENON LINK）からは出力しません。また、HDMI端子からは映像信号のみ出力されます。

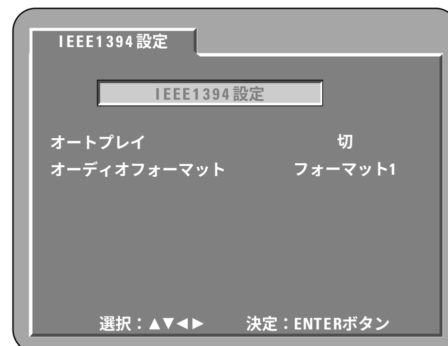


■『入』を選択したとき

『オートプレイ』、『オーディオフォーマット』、の設定画面になります。カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択してENTERボタンを押します。

◎**オートプレイ**
当社のIEEE1394対応機器と組み合わせてご使用される場合、本機以外の機器から本機を自動的に再生させる設定ができます。

◎**オーディオフォーマット**
IEEE1394端子から出力されるオーディオ信号の形式を設定します。



①『オートプレイ』の設定のしかた

◎**切 ＜工場出荷時＞**
本機以外の機器から本機の再生動作を制御させたくないとき設定します。

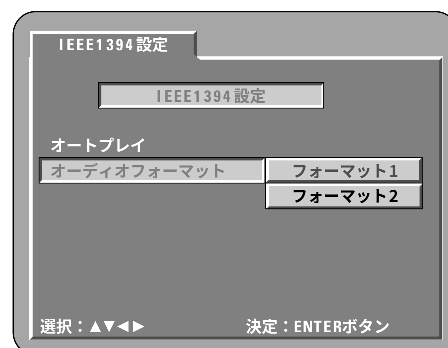
◎**入**
本機以外の機器から本機の再生動作を制御させたいときに設定します。



②『オーディオフォーマット』の設定のしかた

◎**フォーマット1＜工場出荷時＞**
当社のIEEE1394対応機と組み合わせてご使用される場合に設定します。

◎**フォーマット2**
将来的な拡張用の設定です。



■ IEEE1394表示の点灯モード

『IEEE1394』を『入』に設定するとディスプレイの IEEE1394 の文字は下記のように点灯します。

文字部　　状態



- 点滅　　～接続状態を確認中です。
- 点灯　　～接続状態がOKです。
- 遅い点滅～ループ接続になっています、接続を確認してください。
- 早い点滅～接続エラーです､接続を確認してください。

※初期設定を終了するときは
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『映像設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1～2*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

TVアスペクト
ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定します。

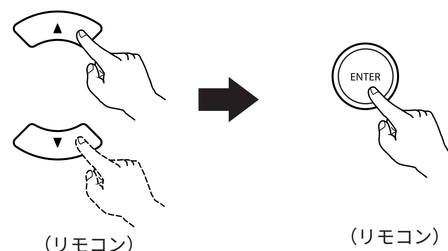
TVタイプ
ご使用されるテレビの映像方式（NTSC、PAL、マルチ）に応じて設定します。
- **日本国内の映像方式はNTSCです。**

TVシステム (TV SYSTEM)
視聴されるTVモニターに接続している映像出力を選択します。本機では、インターレース出力、プログレッシブ出力、HDMI/DVI出力は、それぞれ独立した映像回路で処理されます。音声信号は、選択した映像出力に最適化して出力しますので、視聴される映像出力を選択してください。

COMPONENT/D2出力
本機の色差映像出力およびD2出力をインターレースにするか、プログレッシブスキャンにするかの設定をします。

スクイーズモード
出力する画面のサイズを切り替えることができます。

プログレッシブモード
DVDビデオディスクを再生するとき、その素材に最適な設定を選択できます。





3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

■『TVアスペクト』を選択したとき

◎**4：3 PS**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎**4：3 LB**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

◎**ワイド ＜工場出荷時＞**
ワイドテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトはフル画面で再生します。



■『TVタイプ』を選択したとき

◎**NTSC ＜工場出荷時＞**
通常は『NTSC』を選択してください。
（日本国内で使われているテレビはNTSC方式です。）

◎**PAL**
ご使用のテレビがPAL方式のときに選択します。

◎**マルチ**
ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選択します。

※**記録されたTV方式と違う方式に変換した場合、映像のスムーズさが失われたり、画面の上下が欠けます。**



初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

■『TVシステム』を選択したとき

◎**PROGRESSIVE ＜工場出荷時＞**
音声信号がプログレッシブ出力と同期します。
（初期設定の『COMPONENT/D2出力』を『PROGRESSIVE』に設定した場合の色差映像出力およびD2出力）

◎**INTERLACED**
音声信号がインターレース出力と同期します。
（映像出力、S2映像出力、および初期設定の『COMPONENT/D2出力』を『INTERLACED』に設定した場合の色差映像出力およびD2出力）

◎**HDMI/DVI**
音声信号がHDMI/DVI端子から出力される映像と同期します。

◎**OTHERS**
インターレース出力とプログレッシブ映像およびHDMI/DVI出力の両方の映像を同時に見たいときに選びます。
音声信号をインターレース出力とプログレッシブ映像およびHDMI/DVI出力の最良のタイミングに設定します。
（ただし、音声信号がインターレース出力およびプログレッシブ映像、HDMI/DVI出力に同期するわけではありません。同期させたい場合は、OTHERS以外の設定にしてください。



■『COMPONENT/D2出力』を選択したとき

◎**PROGRESSIVE ＜工場出荷時＞**
色差映像出力およびD2出力をプログレッシブ方式にします。

◎**INTERLACED**
色差映像出力およびD2出力をインターレース方式にします。



■『スクイーズモード』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞** TV
映像のサイズに係わらず、16：9のTV画面全体に表示します。

◎**入** TV
映像のサイズに係わらず、16：9のTVの中央部に4：3の映像比率で表示します。

◎**オート**
4：3の映像を再生したとき、16：9のTVの中央部に4：3の映像比率で表示します。

※ **『TVアスペクト』で『ワイド』を選択した場合のみ切り替えが可能です。（40ページ参照。）映像が切り替わる時、数秒程度映像が途切れる場合があります。**

※ **インターレース映像出力では効果がありません。**



■『プログレッシブモード』を選択したとき

◎**オート ＜工場出荷時＞**
ディスクから素材のタイプ(フィルムまたはビデオ)を判定して、モードを切り替えます。

◎**ビデオ1**
ビデオ素材のディスク再生に適しています。

◎**ビデオ2**
ビデオ素材のディスクまたは30フレームフィルム素材のディスク再生に適しています。



※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『音声設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1*～*2*をおこないます。**

31ページの操作1～2

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

オーディオチャンネル
接続したスピーカーシステムの設定ができます。

デジタル出力
デジタル出力の信号形式の設定ができます。

LPCM変換モード
リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。

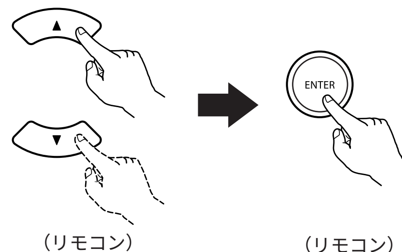
ソースダイレクト
DVDオーディオやスーパーオーディオCD等のすべてのディスクの音声信号に対して、スピーカー設定をおこなわずに、音声を出力する設定ができます。

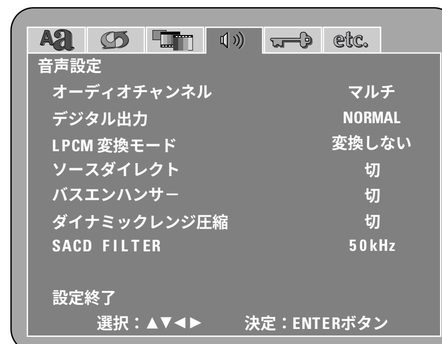
バスエンハンサー
2チャンネルソースを再生するとき、サブウーハーから音声出力をするかしないかの設定ができます。

ダイナミックレンジ圧縮
DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。

SACD FILTER
スーパーオーディオCD再生時のローパスフィルターの値を設定できます。
100kHzを選ぶ際には接続されているアンプ、スピーカーの帯域をご確認ください。接続されている機器が破損する場合があります。

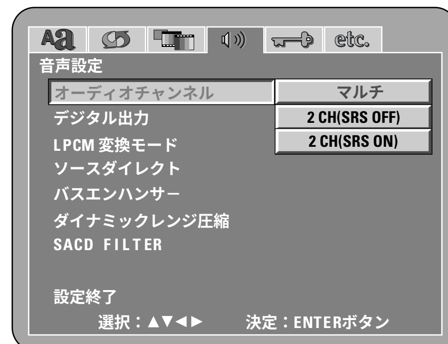
オーディオチャンネル、デジタル出力、LPCM変換モード、ソースダイレクト、バスエンハンサーは、DENON LINK、IEEE1394および、HDMI音声のマルチ(NORMAL)またはマルチ（LPCM）に設定されているときは、選択できません。





3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。

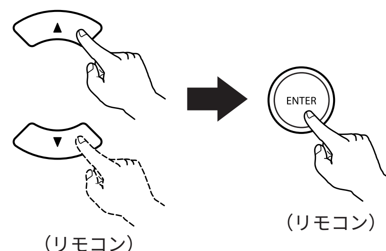


■『オーディオチャンネル』を選択したとき

◎**マルチ <工場出荷時>**
スピーカーを3本以上接続したシステムでご使用のときに選択します。マルチチャンネルに設定すると、スピーカー設定・チャンネルレベル・ディレー時間が設定できます。

◎**2CH (SRS OFF)**
2本のスピーカーを接続したシステムでTruSurround機能をご使用にならない時に選択します。
ドルビープロロジックデコーダ（ドルビープロロジック対応アンプなど）と接続する場合に選択します。

◎**2CH (SRS ON)**
2本のスピーカーを接続したシステムでTruSurround機能をご使用になる時に選択します。
『2CH(SRS ON)』を選択するとディスプレイの（●）マークが点灯します。



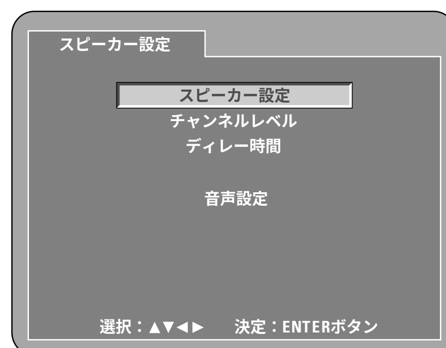
TruSurround 機能（DVDビデオ、ビデオCDのみ）

本来、5つのスピーカーで再生するマルチチャンネル音場を、前方2つのステレオスピーカーのみで再現します。マルチスピーカー特有の強い指向性がなく、頭を包み込むような音の自然な移動感に近い音場を創り出します。

- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- 他のサラウンド機能（テレビのサラウンドなど）は『切』にしてお使いください。
- 2ch AUDIO OUTPUT（L、R）端子と5.1ch AUDIO OUTのFL、FR端子に有効です。

■『マルチ』を選択したときは、『スピーカー設定』画面になります。『2CH(SRS OFF)』や『2CH(SRS ON)』でも一部設定できる項目があります。

カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。



◎**スピーカー設定**
使用するスピーカーの種類およびサブウーハーのクロスオーバー周波数を選択できます。

◎**チャンネルレベル**
スピーカー（左/右）、サブウーハーから出力される音量レベルを調整できます。

◎**ディレー時間**
リスニングポジションから各スピーカーの距離を設定するときに使用します。

※**『音声設定』に戻るとき**は、**カーソルボタン（▼）**で『音声設定』を選択し**ENTERボタン**を押します。

※ **スピーカー設定は、アナログ音声出力にのみ有効です。**

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

①『スピーカー設定』のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択してENTERボタンを押し、カーソルボタン（▲,▼）でスピーカーの種類を選択してENTERボタンを押します。

◎**大**
大きいスピーカーに接続しているときに選択します。

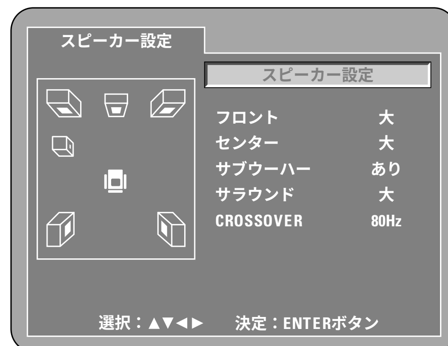
◎**小**
小さいスピーカーに接続しているときに選択します。

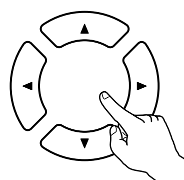
◎**なし**
接続していないときに選択します。

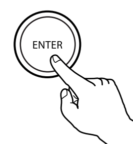
◎**あり**
サブウーハーを接続しているときに選択します。

◎**CROSSOVER（クロスオーバー）**
クロスオーバー周波数を40Hz、60Hz、80Hz、100Hz、120Hzから選択します。<工場出荷時：80Hz>

※**『スピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。




（リモコン）



（リモコン）

②『チャンネルレベル』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で調整するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◄,►）で出力レベルを設定します。

◎テストトーンは**カーソルボタン（◄,►）**で『オート』か『マニュアル』を選びテストトーンを出力します。各スピーカーのテストトーンが同じ音量で聞こえるように調整します。（初期設定は『切』）

◎音量レベルは0dB～－10dBまでの範囲で、1dB単位で調整できます。

◎SW ＋10dBを『入』にすると、サブウーハーから出力する音量レベルが10dB高くなります。



③『ディレー時間』の設定のしかた

カーソルボタン（▲,▼）で設定するスピーカーを選択し、カーソルボタン（◄,►）で距離を設定します。

◎距離の単位は**カーソルボタン（◄,►）**で『メートル』『フィート』を選択します。

◎距離は0m～18m（0ft～60ft）までの範囲で、0.1m単位（フィートの場合は1フィート単位）で設定できます。
各スピーカーの遠近の差は、4.5m（15ft）までの範囲で調整できます。

◎**初期化**
『初期化』を選択してENTERボタンを押すとディレー時間の設定が工場出荷時に戻ります。

※**『スピーカー設定』に戻るとき**は、**RETURNボタン**を押します。



3
つづき

■『デジタル出力』を選択したとき

◎**NORMAL ＜工場出荷時＞**
本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダ内蔵AVアンプを接続するときに選択します。
ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

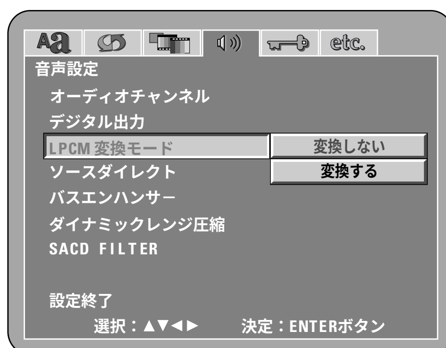
◎**PCM変換**
ドルビーデジタル/DTSで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。
また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。



■『LPCM変換モード』を選択したとき

◎**変換しない ＜工場出荷時＞**
著作権保護のないリニアPCM、パックドPCMのDVDの場合、96kHzまでの2ch音声については変換せずにそのままのリニアPCM信号をデジタル出力することができます。
（176.4kHz/192kHzの信号についてはそれぞれ88.2kHz/96kHzに変換されます。）
マルチチャンネルのPCM信号が記録されたDVDでは、FL/FRの2チャンネルにダウンミックスされたデジタル信号が出力されます。（ダウンミックスが禁止されているソースでは、FL/FRのみ出力されます。）
著作権保護処理がされたリニアPCM、パックドPCMのDVDを再生する場合、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は『変換する』に設定するか、アナログ接続をおこなってください。（17ページ参照。）

◎**変換する**
リニアPCM、パックドPCM信号を48kHz以下に変換して出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz以下になります。）
96kHz/88.2kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合、『変換する』にしてください。



■『ソースダイレクト』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
スピーカー設定やバスエンハンサーの設定をおこなって再生するときは、『切』に設定してください。

◎**入**
スピーカー設定の処理をおこなわずに再生するときは、『入』に設定してください。この設定をおこなうと、DTS推奨の全チャンネルフル帯域再生の設定になります。（ただし、サブウーハーの音量が5dB、スーパーオーディオCDで15dB大きくなりますので注意してください。『チャンネルレベル』、『ディレイ時間』設定は有効です。）また、全チャンネルフル帯域周波数で記録されたDVD AUDIOの6チャンネルソースを再生するときに設定します。『切』に設定するとスピーカーのサイズはすべて『大』に、またサブウーハーは『あり』に設定されます。このようなソフトを再生する場合は、ソフトの説明書に従ってアナログ接続をおこなってください。



（次のページに続きます）

3 つづき

■『バスエンハンサー』を選択したとき

◎**切 <工場出荷時>**
2チャンネルソースを再生したとき、サブウーハーから音声が出力されません。

◎**入**
2チャンネルソースを再生したとき、サブウーハーから音声が出力されます。このとき、『スピーカー設定』でサブウーハーを『あり』に設定してください。

※ **バスエンハンサーの設定は、デジタル出力には無効です。**

※ **ソースダイレクトが『入』の場合は無効です。**



■『ダイナミックレンジ圧縮』を選択したとき

◎**切<工場出荷時>**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎**入**
小さい音量でも迫力ある音にしたいときに選択します。
深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。
（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）

ダイナミックレンジとは

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。



■『SACD FILTER』を選択したとき

◎**50kHz<工場出荷時>**
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、50kHzより高域の周波数をカットします。

◎**100kHz**
スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、100kHzより高域の周波数をカットします。

※ **高帯域対応のＡＶアンプと接続される場合に、100kHzに設定してください。**



※ **初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

『視聴制限設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1*～*2*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**

視聴制限レベル
お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。

パスワード
パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。

（リモコン）　（リモコン）

視聴制限設定	
視聴制限レベル	制限しない
パスワード	
設定終了	

選択：▲▼◀▶　決定：ENTER ボタン

3 **■『視聴制限レベル』を選択したとき**

① カーソルボタン（▲,▼）で設定するレベルを選択し、ENTERボタンを押します。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したい時に選択します。例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

◎ **レベル2～レベル7**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。（成人向けDVDの再生を禁止します。）

◎ **制限しない ＜工場出荷時＞**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選択します。

（リモコン）　（リモコン）

視聴制限設定	
視聴制限レベル	レベル0
パスワード	レベル1
	レベル2
設定終了	レベル3
	レベル4
	レベル5
	レベル6
	レベル7
	制限しない

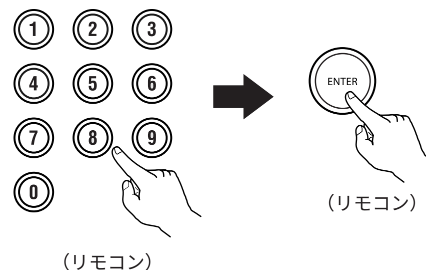
選択：▲▼◀▶　決定：ENTER ボタン

（次のページに続きます）

3
つづき

② 番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。

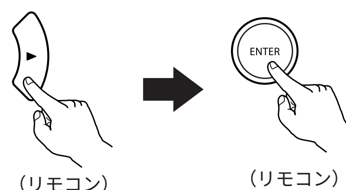
- パスワードの初期設定は " 0000 " です。
- パスワードを変更する場合は、『パスワード』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照。）

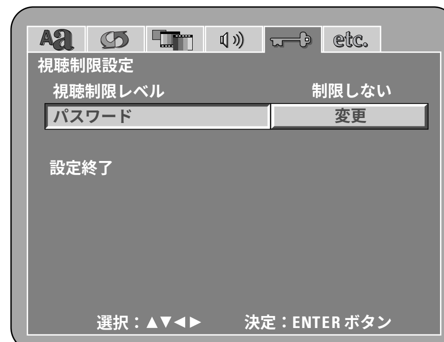




■『パスワード』を選択したとき

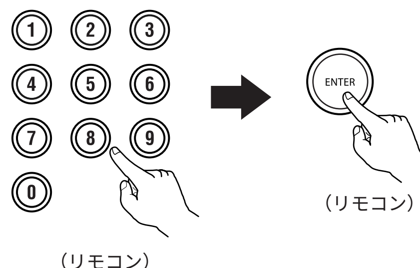
① カーソルボタン（►）で『変更』を選択し、ENTERボタンを押します。

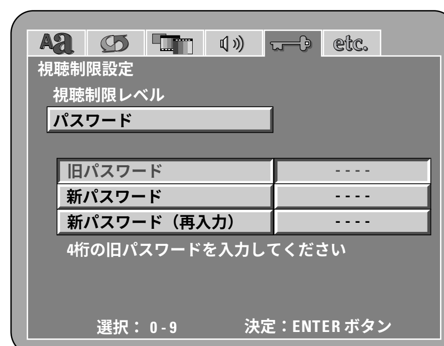




② 番号ボタンで前に設定したパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後ENTERボタンを押します。

- 本機のパスワードの初期設定は " 0000 " です。
- **パスワードは忘れないようにしてください。**
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。





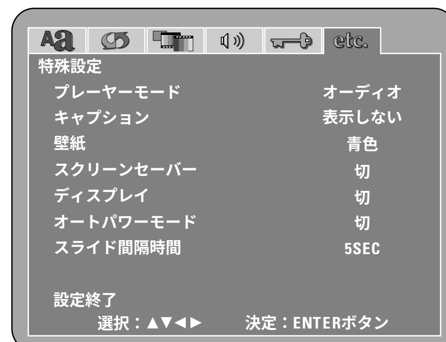
※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『特殊設定』を変更するには

1 **31ページの操作*1*～*2*をおこないます。**

2 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**



プレーヤーモード
DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生したいときに、DVDビデオ再生モードに設定します。

キャプション
キャプションデコーダ（市販）による字幕表示をするときに、本機でクローズド・キャプション信号の出力を設定します。

壁紙
停止中やCD再生中、TV画面に表示する画面の設定ができます。

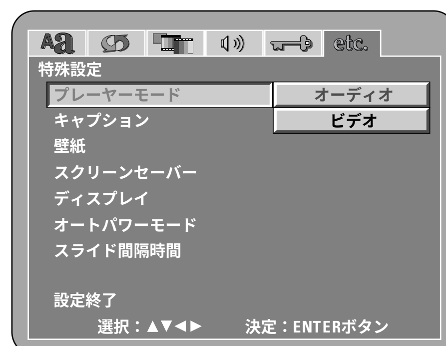
スクリーンセーバー
スクリーンセーバー機能によってテレビ画面の焼き付きを防止します。

ディスプレイ
ディスプレイを消灯中でも、操作直後の2秒のみ本体のディスプレイ表示をするか、しないかを設定することができます。

オートパワーモード
節電のため長時間使わないときに、本体の電源を自動的にスタンバイ状態にすることができます。

スライド間隔時間
静止画（JPEG方式）再生において、次の静止画に切り替わる間隔時間が設定できます。

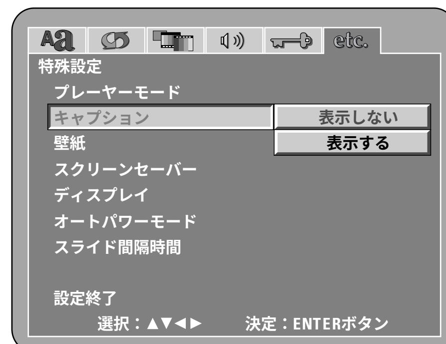
3 **カーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、ENTERボタンを押します。**



■『プレーヤーモード』を選択したとき

◎**オーディオ ＜工場出荷時＞**
DVDオーディオをそのまま再生するときに選択します。

◎**ビデオ**
DVDオーディオに含まれるDVDビデオコンテンツを再生するときに選択します。



■『キャプション』を選択したとき

◎**表示しない ＜工場出荷時＞**
キャプション（字幕）を画面に表示しないときに選択します。

◎**表示する**
キャプション（字幕）入りDVDを再生し、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選択します。

『キャプション』を選択したときのご注意
- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには 、 、 CC のマークが表示されています。

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

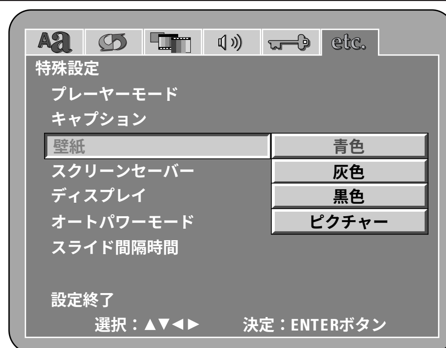
■『壁紙』を選択したとき

◎**青色 ＜工場出荷時＞**
壁紙を青色にします。

◎**灰色**
壁紙を灰色にします。

◎**黒色**
壁紙を黒色にします。

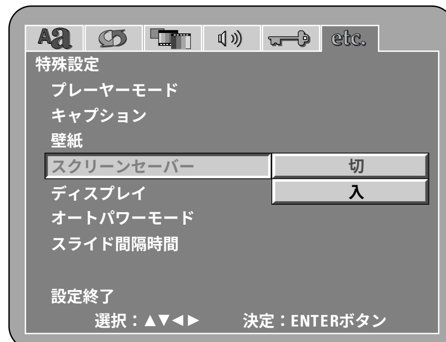
◎**ピクチャー**
壁紙をピクチャーにします。



■『スクリーンセーバー』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
スクリーンセーバー機能は働きません。

◎**入**
停止や一時停止などの状態が約5分続くとテレビ画面の焼き付きを防止するために、スクリーンセーバー機能が働きます。



■『ディスプレイ』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
ピュアダイレクト機能またはリモコンの『DIMMER』ボタンでディスプレイを消灯した場合に有効です。スキップボタンなどを押して、本機を操作したときでも本体ディスプレイには表示をしません。

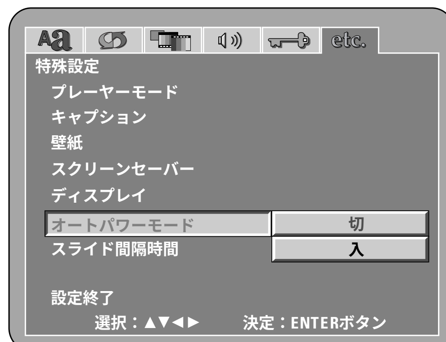
◎**入**
ピュアダイレクト機能またはリモコンの『DIMMER』ボタンでディスプレイを消灯した場合に有効です。スキップボタンなどを押して、本機を操作したときに約2秒間、本体ディスプレイに表示します。



■『オートパワーモード』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
電源を自動的にスタンバイ状態にしないときに選択します。

◎**入**
停止状態で約30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態にしたいときに選択します。



■『スライド間隔時間』を選択したとき

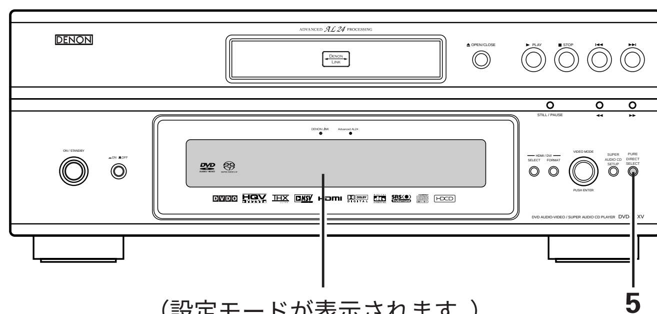
◎**5〜15秒**までの範囲で、1秒単位で設定できます。
＜工場出荷時：5SEC (秒)＞



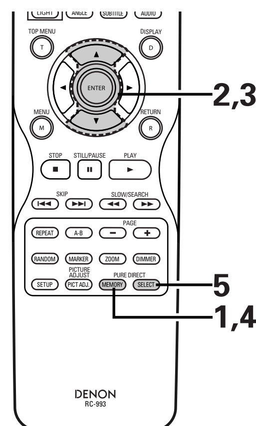
※**初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SETUPボタン**を押します。

13 ピュアダイレクトの使いかた

★ 映像信号などの出力を止め、アナログ音声信号のみを出力することで高音質な音声が楽しめます。



（設定モードが表示されます。）



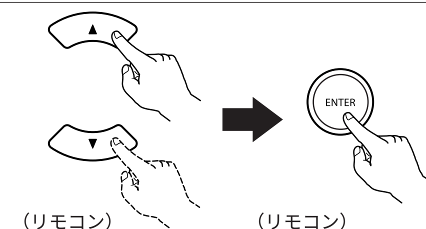
1 **停止中にリモコンのPURE DIRECT MEMORYボタンを押します。**

● ピュアダイレクトメモリー画面が表示されます。



2 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼）でモードを選択し、ENTERボタンを押します。**

● お好みに応じて、映像信号などの出力状態をモード1、モード2に記憶します。



3 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で設定する項目を選択し、カーソルボタン（▶）を押してカーソルボタン（▲,▼）で『する』『しない』を選択します。**

◎デジタル出力
する　：デジタル音声出力端子に信号を出力します。
しない：デジタル音声出力端子に信号を出力しません。

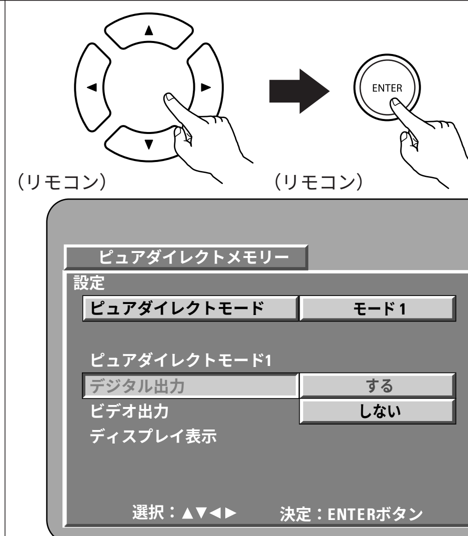
※ **DENON LINKやIEEE1394のデジタル出力には機能しません。これらの出力は、初期設定で『切』にしてください。**

◎ビデオ出力
する　：映像信号を出力します。
しない：映像信号を出力しません。

◎ディスプレイ表示
する　：本体のディスプレイに表示します。
しない：本体のディスプレイに表示しません。

※ **HDMI接続では、ビデオ出力を『しない』に設定したり『ALL OFF』に設定すると映像のみならず音声出力も出なくなります。また、HDMI音声設定がマルチ（NORMAL）となっている場合は、デジタル出力の設定はできません。（36ページ参照。）**

※ **DENON LINKやIEEE1394の設定が有効となっている場合は、デジタル出力の設定はできません。（選択できません。）**



<工場出荷時の設定>

◎ モード1：
デジタル出力『する』
ビデオ出力　『する』
ディスプレイ表示『する』

◎ モード2：
デジタル出力『する』
ビデオ出力　『する』
ディスプレイ表示『する』

（次のページに続きます）

4	**リモコンのPURE DIRECT MEMORYボタンを押します。** ● 設定した内容をすべて記憶します。	PURE DIRECT MEMORY SELECT （リモコン）
5	**PURE DIRECT SELECTボタンを押します。** ◎NORMAL　：通常どおり、すべての信号を出力します。 ◎MODE1　：モード1に設定した内容で動作します。 ◎MODE2　：モード2に設定した内容で動作します。 ◎ALL OFF　：アナログ音声部以外の音声、映像信号とディスプレイ表示を止めます。	PURE DIRECT SELECT （本体） PURE DIRECT MEMORY SELECT （リモコン）

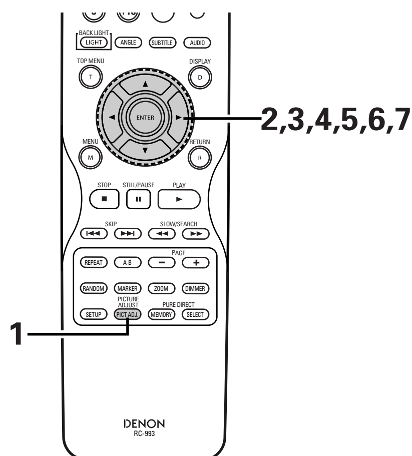
14 スーパーオーディオCD再生エリア/レイヤー設定ボタンの使いかた

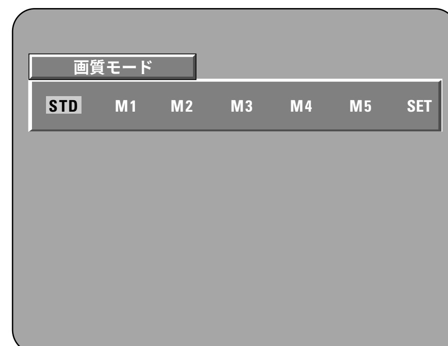
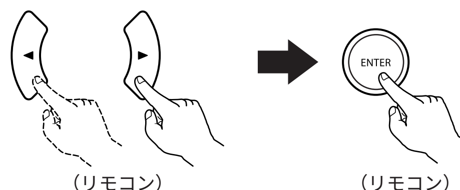
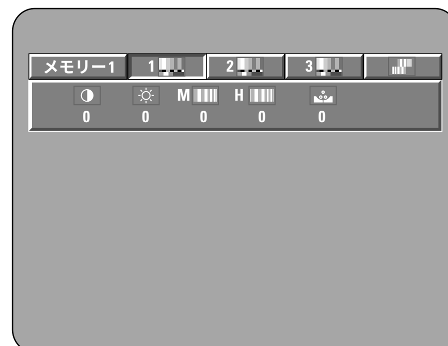
★ スーパーオーディオＣＤはステレオとマルチチャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドディスクでは、スーパーオーディオ層とＣＤ層の２層構造になっています。優先的に再生させるエリア／レイヤーが設定できます。

（設定モードが表示されます。）
1

1	**SUPER AUDIO CD SETUPボタンを押します。** ● ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。 MULTI（マルチ）……スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、マルチチャンネルのエリアを優先的に再生します。 **<工場出荷時>** STEREO（ステレオ）…スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、ステレオエリアを優先的に再生します。 CD ……………………スーパーオーディオCDのディスクを再生する場合、CDレイヤーを優先的に再生します。 設定したいモードを選んで設定します。 ※ 選択したエリア/レイヤーがないディスクを再生する場合、マルチエリアを優先的に再生します。	SUPER AUDIO CD SETUP （本体） SUPER AUDIO CD SETUP （リモコン） MULTI STEREO CD

15 画質調整のしかた



1	**PICTURE ADJUSTボタンを押します。** ● 画質調整画面が表示されます。 ◎ **STD** 画質調整の各項目が、工場出荷の標準設定値に設定されます。 ◎ **M1〜M5** お好みで調整した画質設定をメモリー1〜5までの5種類記憶させることができます。 ◎ **SET** 黒色の浮きを補正したり、画面の表示位置（水平・垂直）を設定することができます。	 （リモコン） 
2	**カーソルボタン（◄,►）でメモリを選択し、ENTERボタンを押します。** ◎ **画質調整1** コントラスト、ブライトネス、シャープネス、色合いが調整できます。→操作***3*** に進んでください。 ◎ **画質調整2** 白レベル、黒レベル、クロマレベル（色の濃さ）が調整できます。→操作***4*** ◎ **画質調整3** エンハンサー、デジタルノイズリダクション、CCS（クロスカラー除去）が調整できます。→操作***5*** ◎ **ガンマ補正**→操作***6***	 （リモコン）　（リモコン） 

（次のページに続きます）

3

【画質調整1を選択し調整する場合】

カーソルボタン（▼）を押して、
カーソルボタン（◄,►）で画質調整項目を選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で調整値を設定して
ENTERボタンを押します。

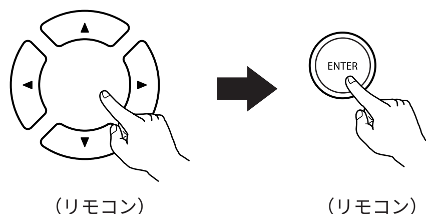
◎**CONTRAST（コントラスト）**（−6〜+6） **<工場出荷時：0>**
映像の明暗の差を調整します。

◎**BRIGHTNESS（ブライトネス）**（0〜+12） **<工場出荷時：0>**
映像の明るさを調整します。

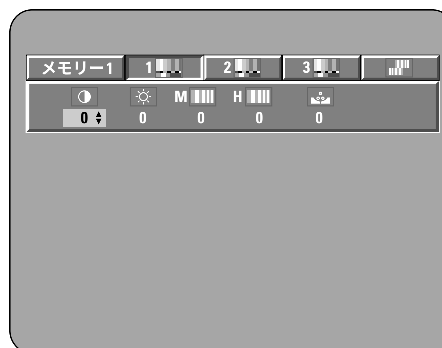
◎**SHARPNESS(MID)（シャープネス（中域））**（−6〜+6）
<工場出荷時：0>
中域の周波数に対して、映像の鮮明度を調整します。
（HDMI/DVI出力には効果がありません。）

◎**SHARPNESS(HI)（シャープネス（高域））**（−6〜+6）
<工場出荷時：0>
高域の周波数に対して、映像の鮮明度を調整します。
（プログレッシブ映像とHDMI/DVI出力に対して効果があります。）

◎**HUE（色合い）**（−6〜+6） **<工場出荷時：0>**
緑色と赤色のバランスを調整します。
（色差映像出力およびD2出力がインターレースのときには効果ががありません。）



（リモコン）　（リモコン）



4

【画質調整2を選択し調整する場合】

カーソルボタン（▼）を押して、
カーソルボタン（◄,►）で画質調整項目を選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で調整値を設定して
ENTERボタンを押します。

◎**WHITE LEVEL（白レベル）**（−5〜+5）**<工場出荷時：0>**
白色のレベルを調整します。

◎**BLACK LEVEL（黒レベル）**（−5〜+5）
<工場出荷時：0>
黒色のレベルを調整します。
（プログレッシブ映像とHDMI/DVI出力に対して効果があります。）

◎**CHROMA LEVEL（クロマレベル=色の濃さ）**（−6〜+6）
<工場出荷時：0>
色の濃さを調整します。



5

【画質調整3を選択し調整する場合】

◎**ENHANCER （エンハンサー）**（0〜+11）
<工場出荷時：0>
映像の輪郭を強調します。

◎**DNR（デジタルノイズリダクション）**（0〜+3）**<工場出荷時：0>**
映像全体のノイズを軽減します。

◎**CCS**（ON/OFF）**<工場出荷時：OFF>**
輝度信号に色信号成分が混入した映像に対し、色信号成分の除去をおこないます。
（プログレッシブ映像とHDMI/DVI出力に対して効果があります。）

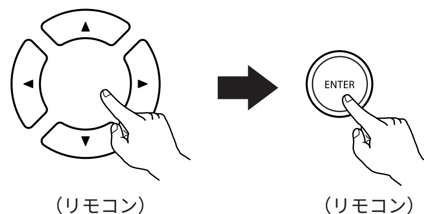


画質調整のしかた（つづき）

【ガンマ補正を選択し調整する場合】

ガンマ補正には数値表で調整する画面とグラフで調整する画面があります。

- **数値表の画面**を見て調整する場合（図1）
  ：**カーソルボタン（▼）**を押します。
- **グラフの画面**を見て調整する場合（図2）
  ：**ENTERボタン**を押します。



（リモコン）　（リモコン）

6

カーソルボタン（◄,►）で設定するポイントを選択し、カーソルボタン（▲,▼）で明るさのレベルを調整してENTERボタンを押します。（ENTERボタンを押す前に、PICTURE ADJUSTボタンを押すと調整したレベルは記憶されません。）

- 明るさのレベルは16～235の範囲で調整できます。
- **カーソルボタン（▲）**を押すとレベルが上がり（明るくなる）、**カーソルボタン（▼）**を押すとレベルが下がり（暗くなる）ます。
- **CLEARボタン**を押すとすべての設定ポイントが基準レベルに戻ります。

※**選択したポイントのレベルはそのポイントの上下のポイントのレベルを超えることはできません。（暗い部分がそれより明るい部分を超えるような設定はできません。）**

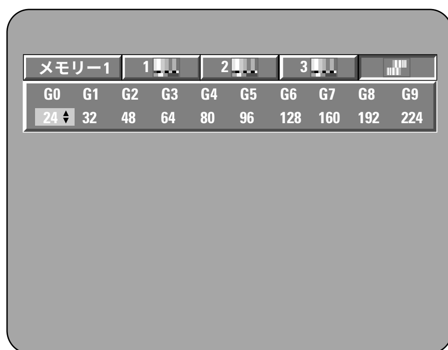


図1

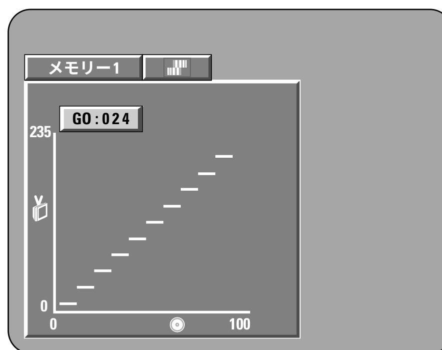
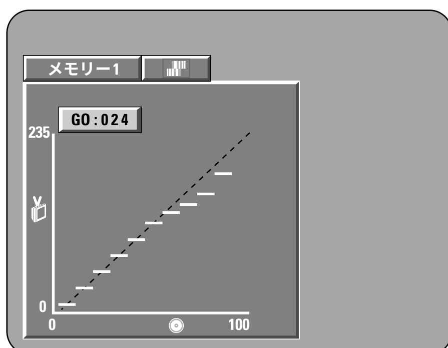


図2

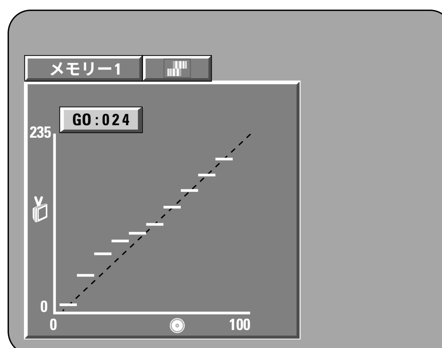
※**画質調整を終了**するときは、**PICTURE ADJUSTボタン**を再度押します。

【参考】

ガンマ補正の表示は横軸がディスクに記録されている映像の輝度レベルを表わし、縦軸は本機から出力するときの映像の輝度レベルを表わします。



◎ディスク側の明るいポイントを出力側の『暗』に調整すると、通常では明るい部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。



◎ディスク側の暗いポイントを出力側の『明』に調整すると、通常では暗い部分の細部が見えにくくなるものが見やすい映像になります。

（次のページに続きます）

7

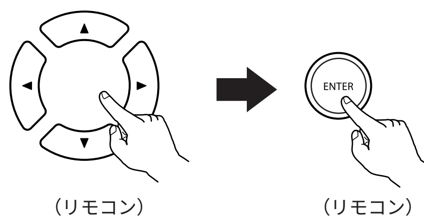
【画質セットアップを選択し調整する場合】

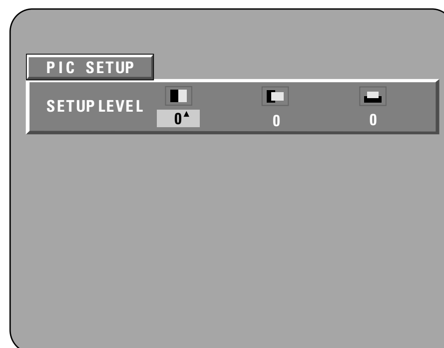
カーソルボタン（▼）を押して、
カーソルボタン（◄,►）で調整項目を選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で調整値を設定してENTERボタンを押します。

◎**SETUP LEVEL（セットアップレベル（0 IRE,7.5 IRE））**
黒い色の浮きを補正します。

◎**H.POSITION（水平方向）（−7〜+7）**
左右の位置調整ができます。

◎**V.POSITION（垂直方向）（−7〜+7）**
上下の位置調整ができます。





※**画質調整を終了するときは**
PICTURE ADJUSTボタンを再度押します。

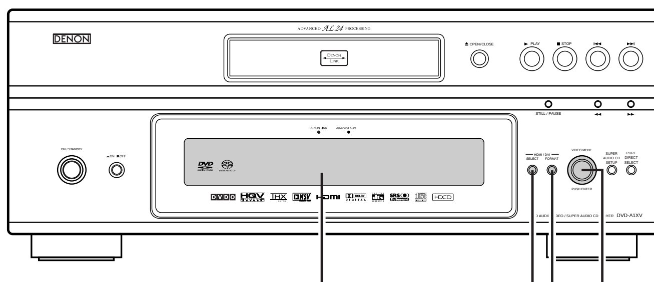
■ 画質調整項目一覧表

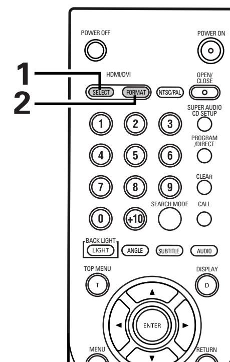
画質モード		項目	工場出荷時
STD(STANDARD)			
M1(メモリー1)	1(画質調整 1)	CONTRAST	0
M2(メモリー2)		BRIGHTNESS	0
M3(メモリー3)		SHARPNESS(MID)※1	0
M4(メモリー4)		SHARPNESS(HI)※2	0
M5(メモリー5)		HUE※3	0
	2(画質調整 2)	WHITE LEVEL	0
		BLACK LEVEL※2	0
		CHROMA LEVEL	0
	3(画質調整 3)	ENHANCER※2	0
		DNR	0
		CCS※2	OFF
	GAMMA	G0	24
		G1	32
		G2	48
		G3	64
		G4	80
		G5	96
		G6	128
		G7	160
		G8	192
		G9	224
SET(画質セットアップ)		SETUP LEVEL	0
		H.POSITION※2	0
		V.POSITION※2	0

※1　HDMI/DVI出力には効果がありません。
※2　PROGRESSIVE映像とHDMI/DVI出力に対し効果があります。
※3　色差映像出力D2出力がインターレースのときに効果がありません。

16 映像設定のしかた

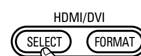
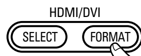
★ HDMI端子および、DVI端子の映像出力設定を変えることができます。
★ 映像出力設定を本体のVIDEO MODEつまみで変えることができます。





（設定モードが表示されます。）

※HDMI、DVIのインジケーターは、接続確認中は点滅し確認が終了すると点灯します。

1	**『HDMI／DVI SELECT』ボタンを押します。** ● ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。 設定したいモードを選んで(表示させ)設定します。 ◎ **HDMI/DVI OFF ＜工場出荷時＞** HDMI端子、DVI端子から映像を出力しません。 これらの端子に接続しないときは『OFF』に設定してください。 ◎ **HDMI Y Cb Cr** HDMI端子から色差形式の映像信号と音声信号を出力します。 DVI-D端子からは、RGB形式の映像信号を出力します。 ◎ **HDMI RGB** HDMI端子からRGB形式の映像信号と音声信号を出力します。 DVI-D端子からは、RGB形式の映像信号を出力します。 ※ **DVI機器にのみ接続する場合は、『HDMI Y Cb Cr』『HDMI R G B』のどちらに設定しても、RGB形式で出力されます。**	SELECT  （本体）  （リモコン） HDMI/DVI OFF HDMI Y Cb Cr HDMI R G B
2	**『HDMI／DVI FORMAT』ボタンを押します。** ● ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。 設定したいモードを選んで(表示させ)設定します。 ◎ **480P/576P ＜工場出荷時＞** HDMI／DVI-D端子からの映像を480P/576Pで出力します。（映像出力がNTSCの場合は480Pで、PALの場合は576Pで出力します。） ◎ **720P** HDMI／DVI-D端子からの映像を720Pで出力します。 ◎ **1080i** HDMI／DVI-D端子からの映像を1080iで出力します。 ◎ **AUTO** HDMI/DVI-D端子に接続したHDMI機器の性能を自動で検出し、そのパネル画素数または入力できる最大解像度に合わせて出力します。出力する解像度の設定は、初期設定の『デジタルインターフェース設定』の『HDMI AUTO FORMAT』で設定できます。 (36、38ページ参照。) DVI機器を接続した場合は『480P/576P』で出力されますので、変更したい場合は手動で設定してください。	FORMAT  （本体）  （リモコン） 480P/576P 720P 1080i AUTO

（次のページに続きます）

3

『VIDEO MODE』つまみを廻し設定したいモードを選んで、さらに『VIDEO MODE』つまみを押します。

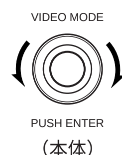
◎**PICTURE MODE**
リモコンの画質調整で記憶させた5つのモード(M1～M5)と工場出荷の標準設定値を切り替えることができます。

◎**TV SYSTEM**
視聴されるTVモニターに接続している映像出力を選択します。本機では、インターレース出力、プログレッシブ出力、HDMI/DVI出力は、それぞれ独立した映像回路で処理されます。
音声信号は選択した映像出力に最適化して出力しますので、視聴される映像出力を選択してください。

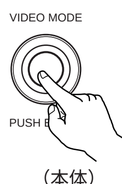
◎**SQUEEZE MODE**
画面サイズをスクイーズで出力するかしないかの設定ができます。

◎**AUDIO ADJUST**
接続先の機器によっては、音声信号と映像時間の処理時間の差から、例えば唇の動きと発音が合わないなどの現象が起こることがあります。このような現象が起こることがあります。このような現象が起こったときには、本機から出力される音声信号をオフセットして出力することで、これらのズレを調整することができます。

※**『VIDEO MODE』で選択した『TV SYSTEM』『AUDIO ADJUST』は設定変更が記憶されます。電源を再投入しても設定は変わりません。**
※**『VIDEO MODE』で選択した『PICTURE MODE』『SQUEEZE MODE』は一時的な変更です。電源を再投入すると初期設定で記憶されている設定に戻ります。**



（本体）



（本体）

```
PICTURE MODE
TV SYSTEM
SQUEEZE MODE
AUDIO ADJUST
```

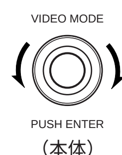
4

■『PICTURE MODE』を選択したとき

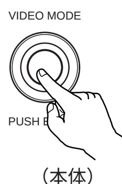
- ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。
設定したいモードを選んでVIDEO MODEつまみを押します。

◎**STD（STANDARD）**
画質調整の各項目が、工場出荷の標準設定値に設定されます。

◎**M1 (MEMORY1)**
◎**M2 (MEMORY2)**
◎**M3 (MEMORY3)**
◎**M4 (MEMORY4)**
◎**M5 (MEMORY5)**
画質調整の各項目が、画質調整モードで記憶させたM1 (MEMORY1)～M5 (MEMORY5)モードになります。



（本体）



（本体）

```
STD(STANDARD)
M1 (MEMORY1)
M2 (MEMORY2)
M3 (MEMORY3)
M4 (MEMORY4)
M5 (MEMORY5)
```

映像設定のしかた（つづき）

4 つづき

■『TV SYSTEM』を選択したとき

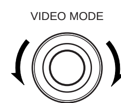
● ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。
設定したいモードを選んでVIDEO MODEつまみを押します。

◎ **PROGRESSIVE <工場出荷時>**
音声信号がプログレッシブ出力と同期します。
（初期設定の『COMPONENT/D2出力』を『PROGRESSIVE』に設定した場合の色差映像出力およびD2出力）

◎ **INTERLACED**
音声信号がインターレース出力と同期します。
（映像出力、S2映像出力、および初期設定の『COMPONENT/D2出力』を『INTERLACED』に設定した場合の色差映像出力およびD2出力）

◎ **HDMI/DVI**
音声信号がHDMI/DVI端子から出力される映像と同期します。

◎ **OTHERS**
インターレース出力とプログレッシブ映像およびHDMI/DVI出力の両方の映像を同時に見たときに選びます。
音声信号をインターレース出力とプログレシップ映像およびHDMI/DVI出力の最良のタイミングに設定します。（ただし、音声信号がインターレース出力およびプログレッシブ映像、HDMI/DVI出力に同期するわけではありません。同期させたい場合は、視聴されるTVモニターに合わせた設定にしてください。



（本体）



（本体）

PROGRESSIVE

INTERLACED

HDMI/DVI

OTHERS

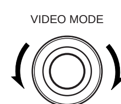
■『SQUEEZE MODE』を選択したとき

● ディスプレイに下記の設定モードが表示されます。
設定したいモードを選んでVIDEO MODEつまみを押します。

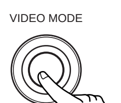
◎ **OFF**
画面サイズを変えずに表示します。

◎ **ON**
映像サイズに係わらず16：9のTVの中央部に4：3の映像比率で表示します。

◎ **AUTO**
4：3の映像を再生したときに、16：9のTVの中央部に4：3の映像比率で表示します。



（本体）



（本体）

OFF

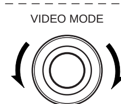
ON

AUTO

■『AUDIO ADJUST』を選択したとき

● ディスプレイに現在の設定時間が表示されます。
設定時間を変更したい場合は、VIDEO MODEつまみをまわしてつまみを押します。

● −30〜＋200msecまでの範囲で、10msec単位で設定できます。（＋方向へ設定すると映像に対して音声を遅らせて出力します。）
（初期設定『TV SYSTEM』設定を切り替えると、初期値（0msec）に戻ります。）



（本体）



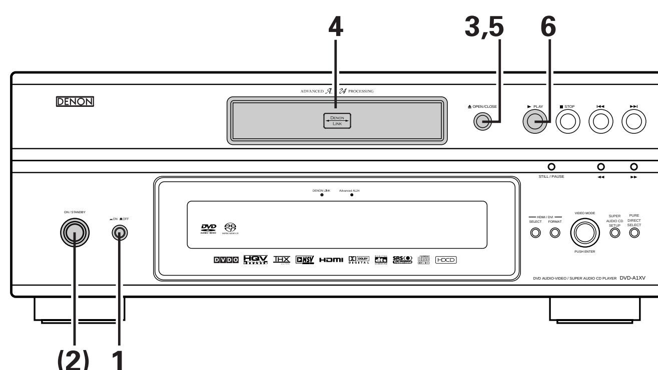
（本体）

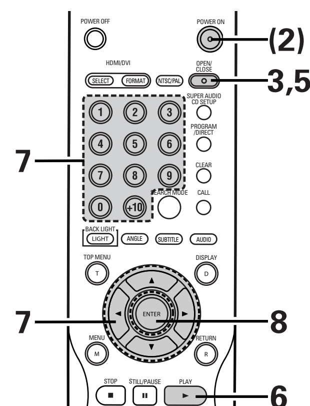
TIME: 0msec

TIME: +10msec

17 再生のしかた

(1) 再生のしかた

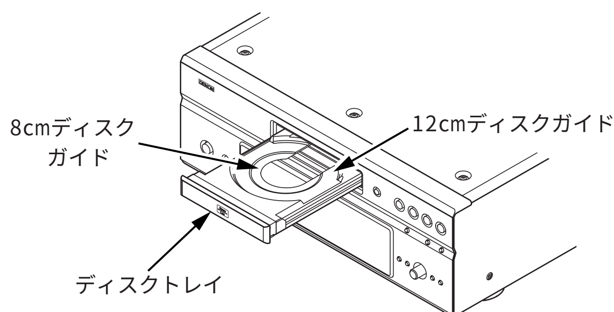




1	**主電源スイッチをONにします。** **▬ON** ：電源表示LEDが緑色に点灯します。 **▄OFF** ：電源表示LEDは消灯します。	ON / STANDBY　点灯　▬ON ▄OFF （本体）
(2)	**スタンバイ状態のときは、電源を入れます。** ● 電源表示LEDが赤色に点灯しているときは、電源ボタンを押すと電源表示LEDが緑色に点灯して電源が入り、ディスプレイが点灯します。	ON / STANDBY　点灯（赤→緑）　POWER ON （本体）　（リモコン）
3	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ● ディスクトレイが開きます。	⏏ OPEN/CLOSE　OPEN/CLOSE （本体）　（リモコン）
4	**ディスクトレイにディスクを載せます。**	
5	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ● ディスクトレイが閉まり、ディスクが本体に装着されます。	⏏ OPEN/CLOSE　OPEN/CLOSE （本体）　（リモコン）

■ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは12cmディスクガイドに合わせ、8cmディスクは8cmディスクガイドに合わせて水平に載せてください。
- ディスクトレイは、**再生ボタン**（PLAY）を押しても自動的に閉まり、ディスクを装着することができます。



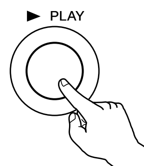
6

PLAYボタンを押します。

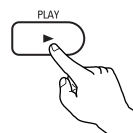
- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、操作7で見たい項目を選択し再生をはじめてください。

インタラクティブなDVDとは

例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。

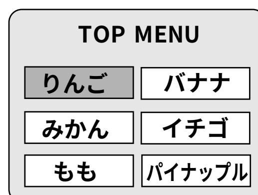


（本体）

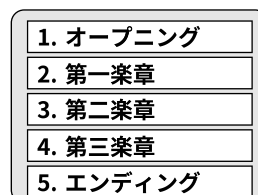


（リモコン）

【例】メニュー記録されたDVDのとき



【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき



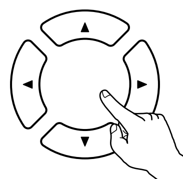
7

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◄,►）を押し、見たい項目を選択します。

- ディスクによって異なりますが、**►►Iボタン**を押すとメニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。（ディスクのジャケットを参照してください。）

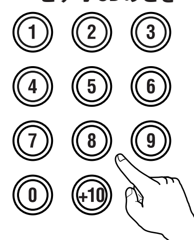
※ **ビデオCDのときは、カーソルボタン（▲,▼,◄,►）が使えません。**番号ボタンで見たい項目を選択してください。

DVDのとき



（リモコン）

ビデオCDのとき

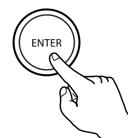


（リモコン）

8

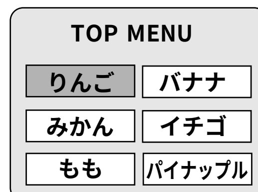
リモコンのENTERボタンを押します。

- 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
- ディスクによっても異なりますが、DVD再生中は**TOP MENUボタン**または**MENUボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。
- ビデオCD再生中は**RETURNボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。



（リモコン）

【例】DVD“りんご”を選択したとき



→ **りんご**

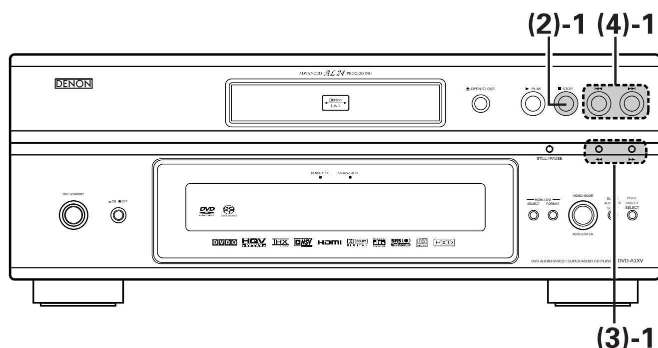
- **プレイバックコントロール**（ビデオCD）

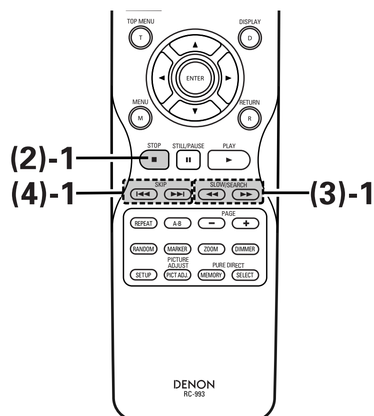
『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

- ボタン操作中、テレビ画面に 🚫 が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。
- 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずに**OPEN/CLOSEボタン**を押してください。
- 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。
- トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。
- テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

（次のページに続きます）





（2）再生の止めかた

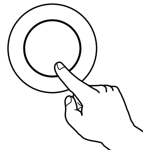
1

再生中にSTOPボタンを押します。

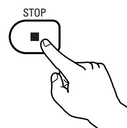
- 再生が止まり、壁紙が表示されます。
- 『初期設定』で『特殊設定』の『オートパワーモード』を『入』に設定している場合、停止状態で30分経過すると自動的に本体の電源が切れ、スタンバイ状態になります。（49、50ページ参照。）

■ 続き再生メモリ機能について(DVDオーディオ/DVDビデオ)

- 再生中に**STOPボタン**を押すと止めた位置を記憶します。（この時、ディスプレイの“ ▶ ”が点滅します。）**PLAYボタン**を押すと、止めたところから再生がはじまります。トレイを開けるか、もう一度**STOPボタン**を押すと続き再生メモリ機能は解除されます。



（本体）



（リモコン）

※続き再生メモリ機能は、再生中に表示窓に経過時間が表示されるディスクで働きます。

ご注意

- メニューを再生中は続き再生メモリ機能はできません。

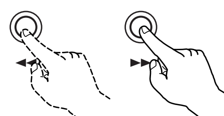
（3）早送り/早戻しのしかた

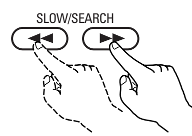
1

再生中にSLOW/SEARCHボタンを押します。

［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］

- 押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。CD・スーパーオーディオCDの場合は4段階、DVDオーディオ・DVDビデオ・ビデオCDは7段階可変できます。
- **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。


（本体）



（リモコン）

ご注意

- ビデオCDのメニュー再生中、**SLOW/SEARCHボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

（4）頭出しのしかた

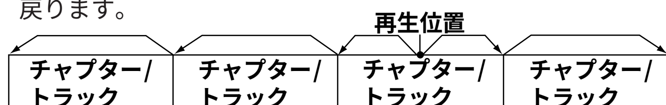
1

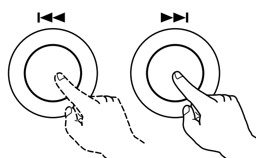
【SKIPボタンで頭出しする場合】

再生中にSKIPボタンを押します。

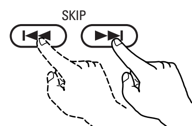
［I◀◀：戻し方向（リバース）、▶▶I：送り方向（フォワード）］

- 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。





（本体）

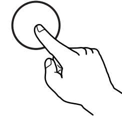
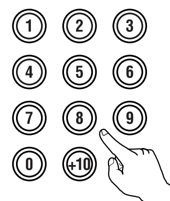


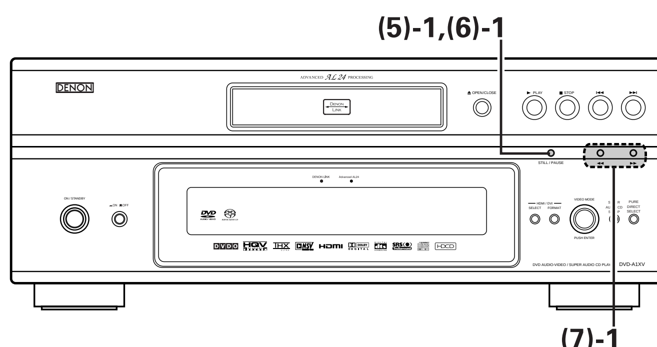
（リモコン）

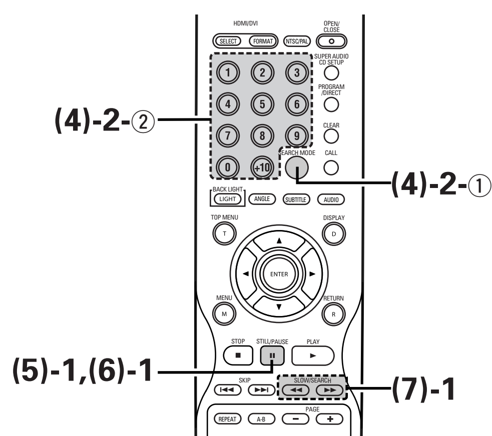
ご注意

- ビデオCDのメニュー再生中、**SKIPボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

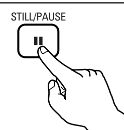
再生のしかた（つづき）

2	**【番号ボタンで頭出しする場合】** **①再生中にリモコンのSEARCH MODEボタンを押します。** ● ボタンを押すたびに下記のようにモードが切り替わります。 DVDオーディオの場合 ：グループ ←→ トラック DVDビデオの場合 ：タイトル ←→ チャプター CD/スーパーオーディオCD/ ビデオCDの場合 ：トラック固定 ※ **SEARCH MODEボタン**を押して決めたサーチモードは、電源をOFFにするまで記憶しています。 **②リモコンの番号ボタンを押して、再生したい番号を入力します。** ※ DVDオーディオ・DVDビデオ・ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、本書の説明どおりに動作しないディスクがあります。	   （リモコン）

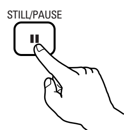




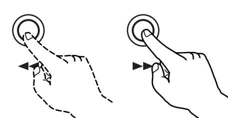
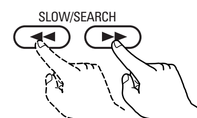
(5) 静止（一時停止）のしかた

1	**再生中にSTILL/PAUSEボタンを押します。** ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。	 （本体）  （リモコン）

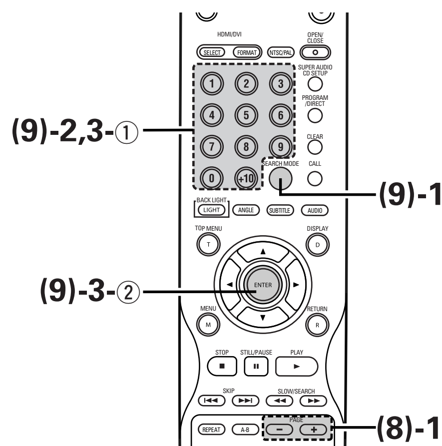
(6) コマ送り再生のしかた　（DVDビデオ/ビデオCD のみ）

1	**静止中にSTILL/PAUSEボタンを押します。** ● 押すたびに、1コマずつ再生します。 ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。 ● DVDオーディオでは、動画部のみコマ送りができます。	 （本体）  （リモコン）

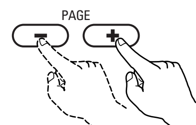
(7) スロー再生のしかた　（DVDビデオ/ビデオCD のみ）

1	**静止中にSLOW/SEARCHボタンを押します。** ［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］ ● 押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。 DVDの場合は4段階、ビデオCDの場合は3段階になります。 ● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。 ● DVDオーディオでは、動画部のみスロー再生ができます。	 （本体）  （リモコン） **ご注意** ● スロー再生の速度が画面の表示と合わないことがあります。 ● ビデオCDは逆スロー再生できません。

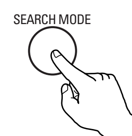
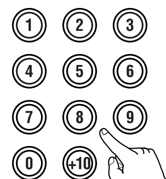
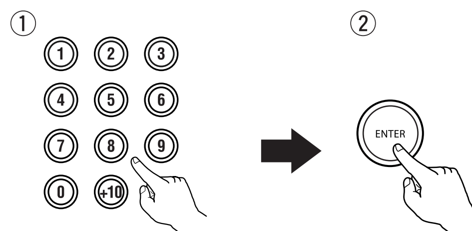
（次のページに続きます）



(8) 静止画の選択のしかた　(DVDオーディオのみ)

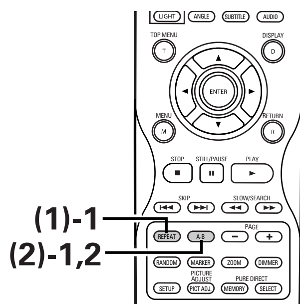
1	**再生中にリモコンのPAGE －/＋ボタンを押します。** ● 静止画付きのDVDオーディオでは、お好みの画像を選択することができます。 ※ ソフト制作者の意図により、画像を選択できないものがあります。	 （リモコン）

(9) ボーナスグループの再生のしかた　(DVDオーディオのみ)

1	**停止中にSEARCH MODEボタンを押して、サーチモードをグループにします。** ●“ GROUP ” 表示が点灯します。	 （リモコン）
2	**番号ボタンでボーナスグループの番号を入力します。**	 （リモコン）
3	**番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。** ● 指定したグループの1曲目から再生をはじめます。 ※ パスワードはメニュー画面で入力する場合もありますので、画面の指示に従ってください。 ※ パスワードを入力中に間違えたときは、リモコンの**CLEARボタン**を押してください。	 ①（リモコン）　②（リモコン）

18 くり返し再生する（リピート再生）

★ お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。



ご注意

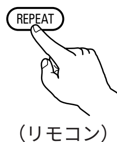
- リピート再生が働かないDVDもあります。
- 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。

（1）くり返し再生する（リピート再生）

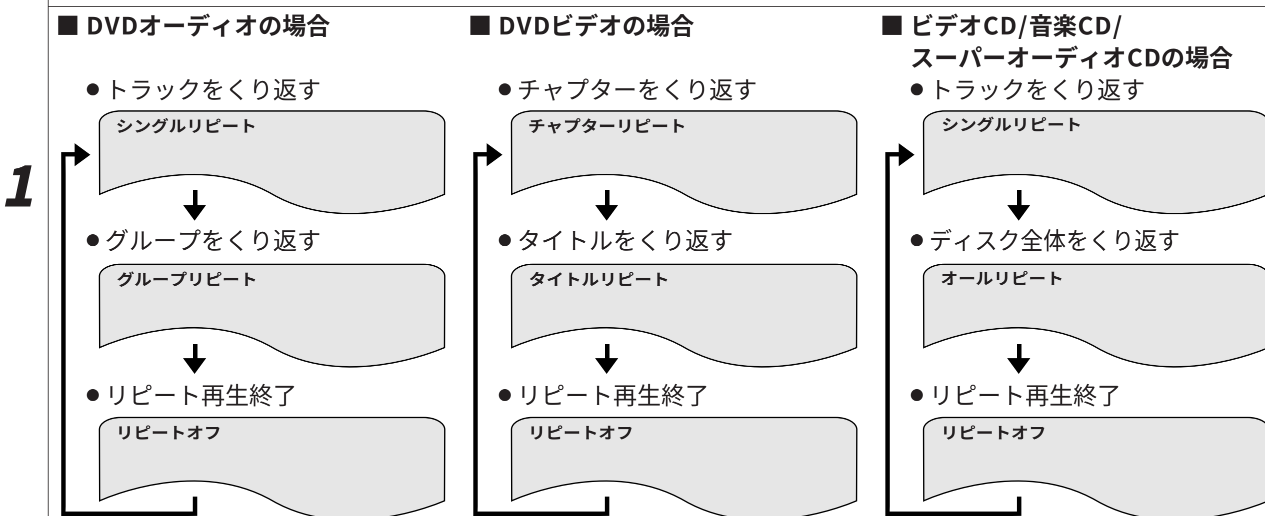
1

再生中にREPEATボタンを押します。

- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。



（リモコン）



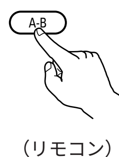
※**通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで**REPEATボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

（2）指定した2点間をくり返し再生する（A-Bリピート再生）

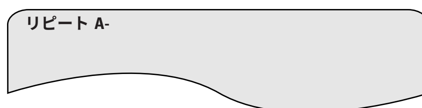
1

再生中にA-Bボタンを押します。

- 開始場所Aが指定されます。



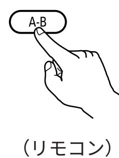
（リモコン）



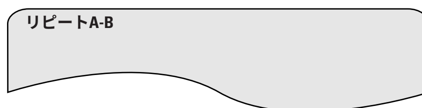
2

もう一度A-Bボタンを押します。

- 終了場所Bが指定され、A-B間のくり返し再生がはじまります。



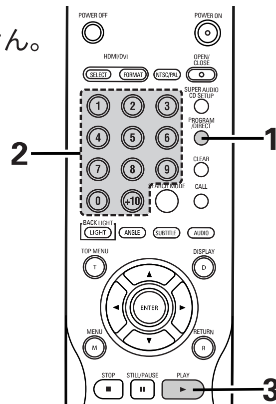
（リモコン）



※**通常の再生に戻すときは**
テレビ画面に “ リピートオフ ” が表示されるまで**A-Bボタン**を押します。

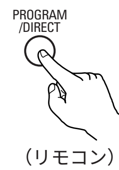
19 好きな順に再生する（プログラム再生）

★ DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDおよびスーパーオーディオCDは、トラック番号を予約して好きな順に再生することができます。
★ DVDビデオではプログラムは再生できません。

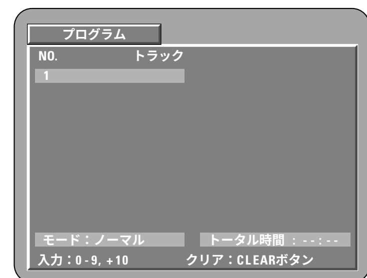


1 **停止中にPROGRAM/DIRECTボタンを1回押します。**

● プログラム選択画面が表示されます。

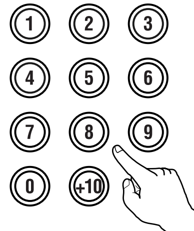


（リモコン）



2 **番号ボタンで予約したい番号を選択します。**

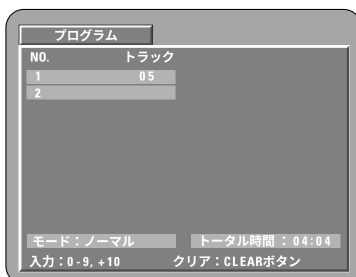
● 20曲までプログラムできます。



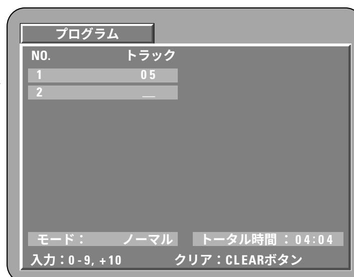
（リモコン）

【例】トラック5と12をプログラムする場合

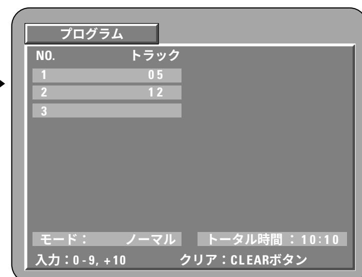
番号ボタンの『5』を押します。



→ 番号ボタンの『+10』を押します。



→ 番号ボタンの『2』を押します。

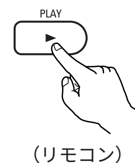


■ **DVDオーディオの場合**

● グループ番号も指定してプログラムします。ただし、ボーナストラックはプログラムすることができません。

3 **PLAYボタンを押します。**

● 予約した順に再生がはじまります。



（リモコン）

※**通常の再生に戻すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止め、**PROGRAM/DIRECTボタン**を押します。
その後、**PLAYボタン**を押すとディスクの先頭から通常の再生がはじまります。

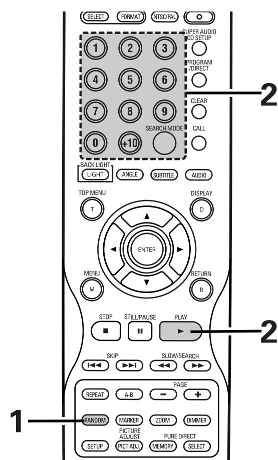
※**予約を1曲ずつ取り消すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止めます。
その後、**CLEARボタン**を押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

※**予約をすべて取り消すときは**
電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。
また、**STOPボタン**を押してプログラム再生を止め、**PROGRAM/DIRECTボタン**を押すとすべて取り消されます。

※**プログラムされた内容を確認するには**
停止中に**CALLボタン**を押すとプログラムされた内容がステップごとに本体ディスプレイに表示されます。

20 順不同に再生する（ランダム再生）

★ DVDオーディオ、ビデオCD、音楽CDおよびスーパーオーディオCDは、トラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。
DVDオーディオの場合、任意のグループ内での順不同（ランダム）再生になります。
★ DVDビデオではランダム再生はできません。

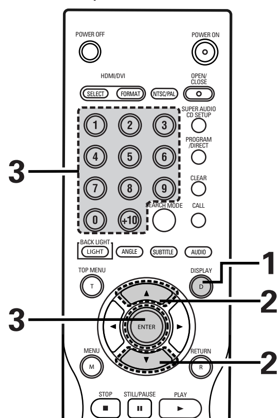


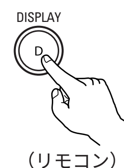
1	**停止中にRANDOMボタンを押します。** ● ランダム再生画面が表示されます。 ※**ディスクによってはランダム再生できない場合があります。**	RANDOM （リモコン） ランダムオン
2	**PLAYボタンを押します。** ● 順不同に再生がはじまります。	PLAY （リモコン）
	■ DVDオーディオの場合 ● リモコンの**サーチモードボタン**、**番号ボタン**を押して、再生したいグループ番号を入力します。 ● 指定されたグループ内で順不同に再生がはじまります。	SEARCH MODE （リモコン） 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン）

※**通常の再生に戻すときは**
STOPボタンを押してランダム再生を止め、**RANDOMボタン**を1回押します。

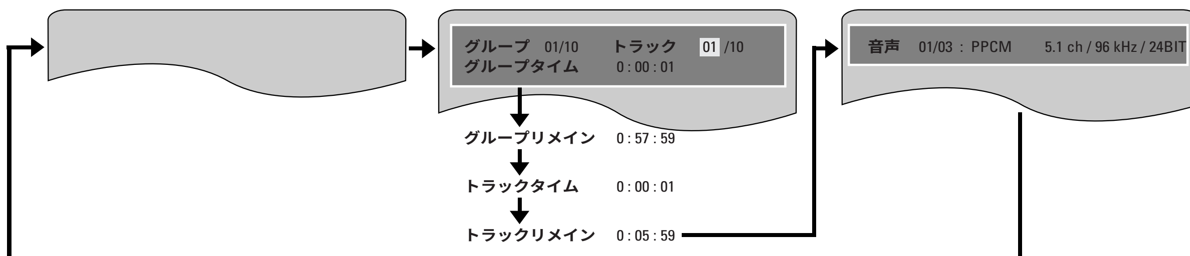
21 ON-SCREEN画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。

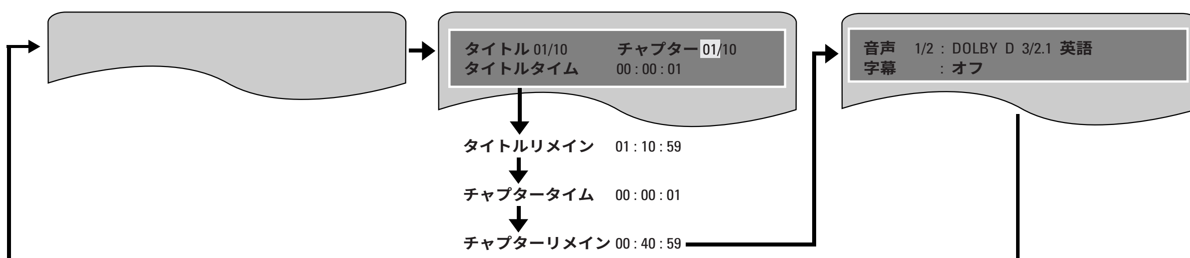


1	**再生中にDISPLAYボタンを押します。** ● ON-SCREEN画面が表示されます。 ● 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。 ● 表示される項目はディスクにより異なります。	 （リモコン）

【例】DVDオーディオの場合

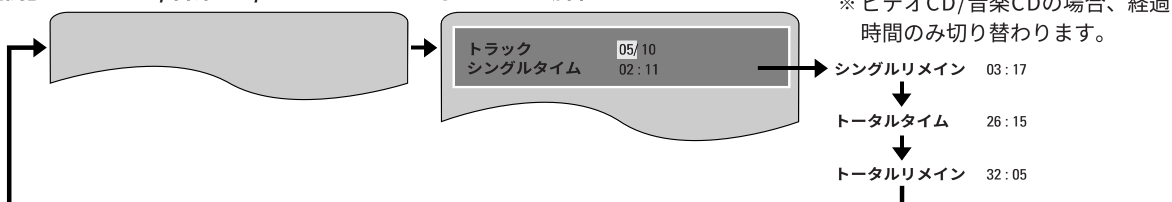


【例】DVDビデオの場合



【例】ビデオCD/音楽CD/スーパーオーディオCDの場合

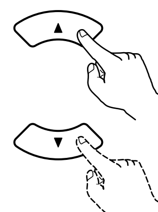
※ ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

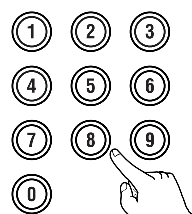
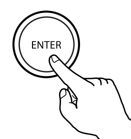


※ スーパーオーディオCDの場合、ディスクによってはText情報が入っています。この場合、停止中はアルバムタイトルとアルバムアーティストも表示し、再生中は再生している曲のトラックタイトルも表示します。

※ スーパーオーディオCDのみ、FL表示切り替えの為にトータルリメインが2回表示されます。

※ 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、ディスク情報が表示されないことがあります。

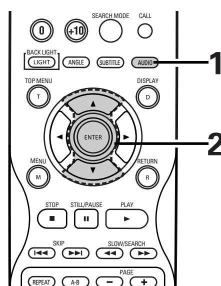
2	**カーソルボタン（▲,▼）で変更する項目を選択します。** ● 選択された項目は黄色の枠で表示されます。 ◎ DVDオーディオの場合 グループ、トラックが選択できます。 ◎ DVDビデオの場合 タイトル、チャプター、タイトルタイムの経過時間が選択できます。 ◎ ビデオCD/音楽CD/スーパーオーディオCDの場合 トラック、シングルタイムの経過時間などが選択できます。	 （リモコン）

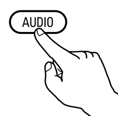
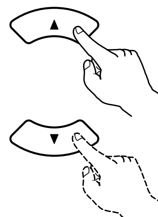
3	**番号ボタンで再生位置を指定し、ENTERボタンを押します。** ①経過時間の指定 ● DVDの場合 【例】1時間32分47秒の場合→『１３２４７』と押して、**ENTERボタン**を押します。 ● スーパーオーディオCDの場合 【例】1時間32分47秒の場合→『０９２４７』と押して、（92分47秒）**ENTERボタン**を押します。 ● ビデオCD/音楽CDの場合 【例】1分26秒の場合→『０１２６』と押して、**ENTERボタン**を押します。 ②グループ、タイトル、トラック、チャプターの指定 ● DVDの場合 **番号ボタン**で入力し、**ENTERボタン**を押します。 （ディスクによっては指定できない場合があります。） ● ビデオCD/音楽CD/スーパーオーディオCDの場合 **番号ボタン**で入力すると、そのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲）	   （リモコン） （リモコン）

22 マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

★ 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。



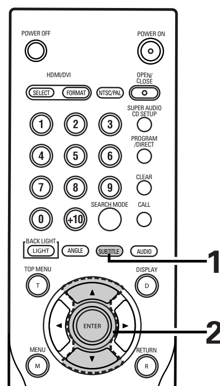
1	**再生中にAUDIOボタンを押します。** ● 現在再生中の音声番号が表示されます。	 （リモコン） 音声　1/3: DOLBY　D 3/2.1　日本語
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの言語にします。** ● **AUDIOボタン**を押すと表示が消えます。	 （リモコン） 音声　2/3: DOLBY　D 3/2.1　英語

ご注意

- ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選択してください。（73ページ参照。）
- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（34ページ参照。）で設定されている音声言語になります。

字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。



1	**再生中にSUBTITLEボタンを押します。**	SUBTITLE（リモコン） 字幕 : 01/03 日本語
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの字幕言語にします。** ● **SUBTITLEボタン**を押すと表示が消えます。	▲ ▼（リモコン） 字幕 : 02/03 英語

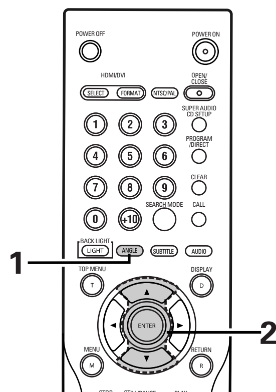
ご注意

- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（34ページ参照。）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

マルチ機能の使いかた（つづき）

アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。



1	**再生中にANGLEボタンを押します。** ● 現在再生中のアングル番号が表示されます。	ANGLE （リモコン）	3/5
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みのアングルにします。** ● **ANGLEボタン**を押すと表示が消えます。	▲ ▼ （リモコン）	4/5

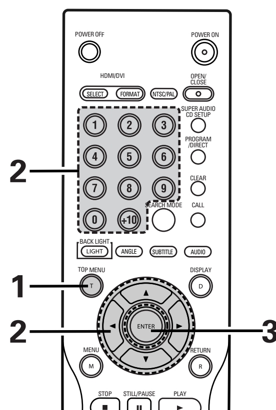
ご注意

- マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
- 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

23 メニューの使いかた

トップメニューを使う

★ 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。

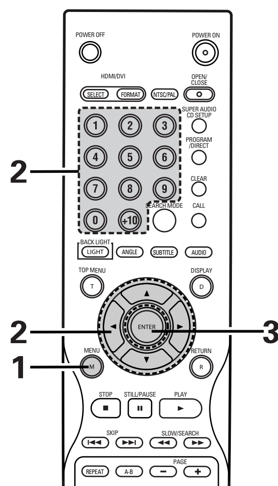


1	**再生中にTOP MENUボタンを押します。** ● トップメニューが表示されます。	TOP MENU （リモコン） 【例】 TOP MENU りんご　バナナ みかん　イチゴ もも　パイナップル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンでお好みのタイトルを選択します。** ● **番号ボタン**で選択したとき操作**3**は不要です。	または （リモコン） 【例】『みかん』を選択した場合 TOP MENU りんご　バナナ みかん　イチゴ もも　パイナップル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 再生がはじまります。 ● **PLAYボタン**を押しても、再生がはじまります。	ENTER （リモコン）

メニューの使いかた（つづき）

DVDメニューを使う

★ DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを『**DVDメニュー**』と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

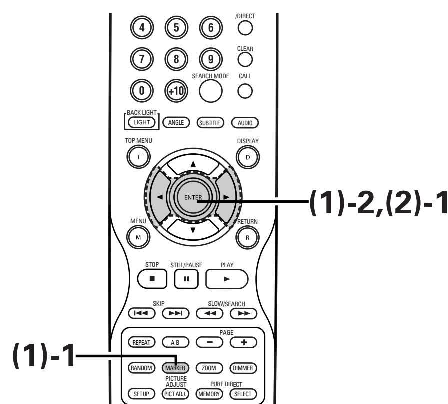


1	**再生中にMENUボタンを押します。** ● DVDメニューが表示されます。	MENU （リモコン） 【例】 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンで項目を選択します。** ● **番号ボタン**で選択したとき操作***3***は不要です。	または （リモコン） 【例】『音声』を選択した場合 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 選択した項目が決定されます。 ● 次々とメニューを表示するときは、操作***2***、***3***をくり返します。	ENTER （リモコン）

24 再び見たい場面を記憶する

★ 再び見たい場面にマークを付けておくと、いつでもそこから再生をはじめられます。

ご注意
- マーカーを付けた場所によっては、字幕が表示されないことがあります。
- 電源を切るか、本機からディスクを取り出すまでマーク番号は保持されています。



(1) マークを付ける

1	**再生中にMARKERボタンを押します。** ● マーカー画面が表示されます。 ● マークされていないときは、『 ※ 』が表示されます。	MARKER （リモコン） マーカー
2	**カーソルボタン（◄,►）でマーカーを選択し、記憶したい場面でENTERボタンを押します。** ● 数字が表示されます。 ● 最大5ヵ所までマークできます。	ENTER （リモコン） （リモコン） マーカー 1

(2) マークを付けた場面を呼び出す/ 取り消す

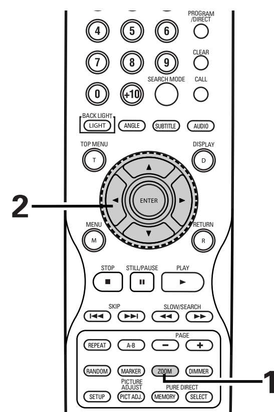
1	**カーソルボタン（◄,►）でマーク番号を選択し、ENTERボタンを押します。** ※ 再生中にマーカー画面が表示されていなければ、**MARKERボタン**を押してマーカー画面を表示させてください。	ENTER （リモコン） （リモコン） マーカー 1 2 3

※ **マーカーの表示を消すときには**
MARKERボタンを押します。

※ **選んだマーク番号を取り消すときには**
カーソルボタン（◄,►）でマーク番号を選択し**CLEARボタン**を押すと、選んだマーク場面が取り消されます。

マーカー
1 ■ 3

25 ズーム再生する



1	**再生中または一時停止中にZOOMボタンを押します。** ● ボタンを押すたびに倍率が上がります。 ◎DVDオーディオの場合：OFF → ×2 → ×4 → OFF ◎DVDビデオ/ビデオCDの場合：OFF → ×1.5 → ×2 → ×4 → OFF	ZOOM （リモコン）
2	**カーソルボタン（▲,▼,◄,►）を押します。** ● ズーム画面が移動します。	（リモコン）

ご注意

- ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
- 場面によってはズームが正しく働かないことがあります。
- トップメニュー、メニュー画面ではズーム再生はできません。
- 拡大すると画質が悪化したり、画像がぶれることがあります。

MP3/WMAのCD-R/CD-RWを聴くには

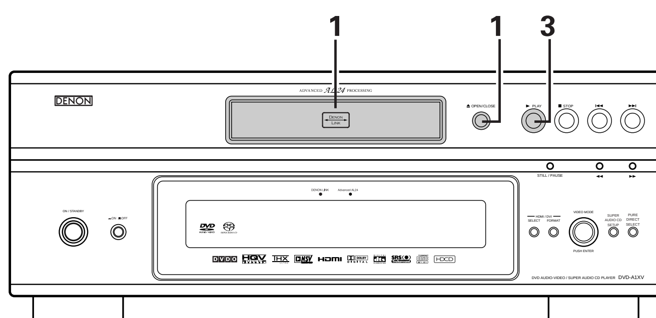
★ 本機はMP3およびWMA（Windows Media™ Audio）※形式の音声圧縮フォーマットで記録されたCD-R/RWの音楽ファイルの再生ができます。

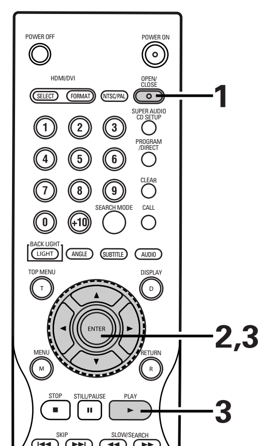


Windows Media、Windowsロゴは米国、その他の国で、米国Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

※WMA（Windows Media Audio）：米国マイクロソフト社のオーディオコーデックです。

＊ あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。





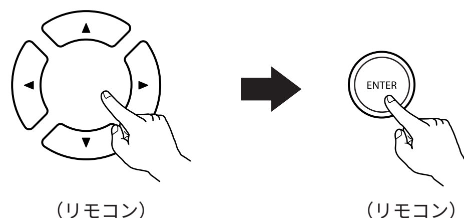
1 **MP3/WMA形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。**（60ページの「ディスクの入れかた」を参照してください。）

- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作***2***に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合は、操作***3***に進みます。



2 **リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◀,▶）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。**

※再生したいフォルダを変えたいときは
リモコンの**カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）**で画面上の “ ROOT ” 表示を選択し、 リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。



（リモコン）　（リモコン）



MP3/WMAを再生する（つづき）

3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◄,►）で再生したいファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

● 再生をはじめます。

※ リモコンの**DISPLAYボタン**を押すと、1曲経過時間（シングルタイム）と1曲残り時間（シングルリメイン）とトラック名を切り替え表示することができます。

※ MP3/WMAのディスクではプログラム再生ができません。

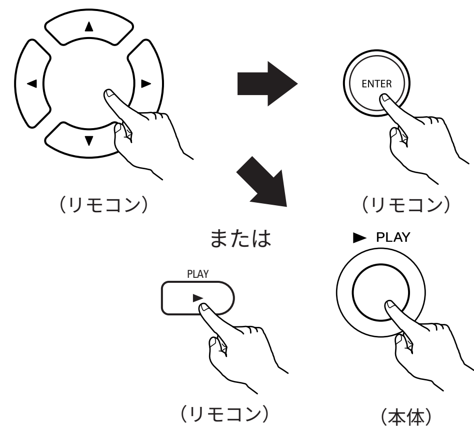
※ **再生したいファイルを変えたいときは**
STOPボタンを押してから、リモコンの**カーソルボタン（▲,▼,◄,►）**でもう一度選択し直してください。

※ **ランダム再生するには**
停止中にリモコンの**RANDOMボタン**を押してから、**PLAYボタン**またはリモコンの**ENTERボタン**を押します。

※ **リピート再生するには**
リモコンの**REPEATボタン**を押します。押すたびにリピートモードが変わります。

→フォルダー → シングルリピート → フォルダリピート ─

※ **初期のディスク情報画面に戻すときは**
STOPボタンを押して再生を止め、リモコンの**カーソルボタン（▲,▼,◄,►）**で画面上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押します。（操作***1***のディスク情報画面に戻ります。）





ご注意

- MP3/WMAファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』または『レベル2』を選択してください。
- 本機はフォルダーネームとファイルネームを画面に表示することができます。半角英数大文字と記号（__アンダースコアなど）で11文字まで表示します。また漢字・ひらがな・カタカナなどは表示できません。
- 1フォルダーあたり99ファイル以内で記録してください。複数のフォルダー構成が可能ですが、構成によりすべてのフォルダー、ファイルが認識、再生できない場合があります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- パケットライトソフトには対応していません。
- MP3/WMAを再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が『ノーマル』『PCM変換』に関わらずPCMに変換して出力します。
また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
- ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
- マルチセッションディスクも再生可能ですが、10セッション以内でセッションクローズしたディスクを再生することをおすすめします。
- 本機で再生できるファイル数は約600です。
- 音楽CD（CD-DA形式)、WMA、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- 停止中、リモコンのDISPLAYボタンでタイトル名、アーティスト名を切り替えて表示することができます。（1フォルダーあたり99ファイルまで）再生中はファイル名（トラック名）が表示されます。
- リモコンテンキー（0〜9、+10）でのダイレクト選曲は1フォルダー当り、179Tr（179ファイル）まで指定可能です。179Trを超える場合は停止中に、ディスク情報画面でカーソルボタンでファイルを選択して、プレイボタンまたはENTERボタンで再生します。

MP3

- 本機で対応している規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは44.1kHz/48kHz）です。
- MP3ファイルには『.mp3』または『.MP3』を付けてください。
- ID3-Tagには対応していません。
- プレイリストには対応していません。
- MP3 PROには対応していません。

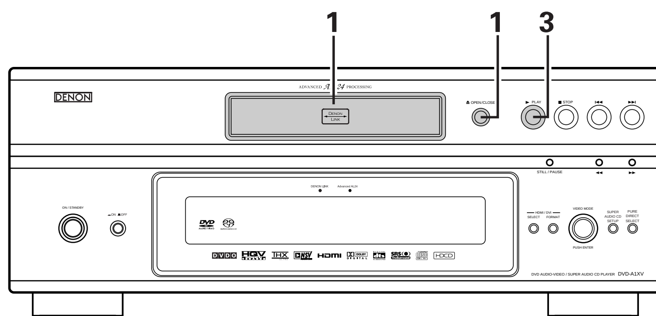
WMA

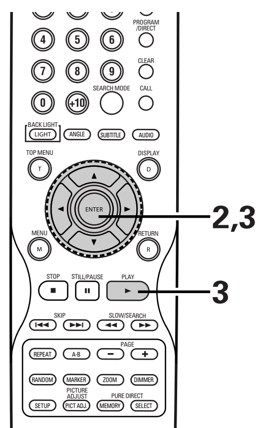
- サンプリング周波数fsは44.1kHz/48kHzビットレートは64K〜160Kbpsで記録されたファイルに対応しています。
- WMA ファイルには『.wma』または『.WMA』を付けてください。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。

27 静止画ファイル（JPEG方式）を再生する

(1）CD-R/CD-RWに記録した静止画の再生のしかた

＊ あなたが記録したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。





1

静止画を記録したCD-R/RWを本体にセットします。

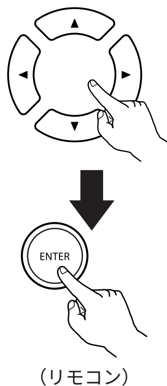
- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作***2***に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合は、操作***3***に進みます。



2

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◄,►）で再生したいフォルダを選択し、リモコンのENTERボタンを押します。

※ **再生したいフォルダを変えたいときは**
リモコンの**カーソルボタン（▲,▼,◄,►）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選択し、リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。



（リモコン）



3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◄,►）で再生したい静止画ファイルを選択し、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。



（リモコン） （本体）



静止画ファイル（JPEG方式）を再生する（つづき）

※再生する静止画を選択したいときは
停止中にリモコンの**MENUボタン**を押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※再生を一時停止したいときは
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※再生する静止画の頭出しをしたいときは
再生中に**SKIPボタン（I◀◀,▶▶I）**を押してください。
I◀◀ボタン：1つ前の静止画を表示します。
▶▶Iボタン：次の静止画を表示します。

※静止画の向きを変えたいときは
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**を押してください。
▲：　再生している静止画を上下反転します。
▼：　再生している静止画を左右反転します。
◀ ：再生している静止画を反時計方向に90°回転します。
▶ ：再生している静止画を時計方向に90°回転します。

※画像をズーム再生したいときは
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に“ズームオン”が表示されます。）、**SLOW/SEARCHボタン（◀◀,▶▶）**を押してください。
◀◀ボタン：画像を縮小します。
▶▶ボタン：画像を拡大します。
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◀,▶,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。

- **ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。**
- **解像度の小さなファイルではズームができません。**

※ スライドショーモードを選択したいときは
リモコンの**SEARCH MODEボタン**を押してください。JPEG画像を連続再生するときの画像の切り替わりかたを『スライドショーモード1～11』/『RAND（RANDOM)』/『NONE（特殊切り替えモード無し)』から選択できます。

WMAとMP3とJPEGの特殊再生について

カーソルボタン（◀,▶）で再生モードを選択し、
カーソルボタン（▲,▼）で特殊再生を選択できます。

◎**フォルダー**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のWMAファイルとMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎**フォルダーリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのWMAファイルとMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎**ディスク**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのWMAファイルとMP3ファイルとJPEGファイルを順次再生します。

◎**オールリピート**
選択したファイルから再生をはじめ、ディスク内のすべてのWMAファイルとMP3ファイルとJPEGファイルをくり返し再生します。

◎**ランダムオン**
選択したファイルから再生をはじめ、そのフォルダー内のすべてのWMAファイルとMP3ファイルとJPEGファイルを順不同に再生します。

◎**シングルリピート**
選択したWMAファイル、MP3ファイルまたはJPEGファイルをくり返し再生します。

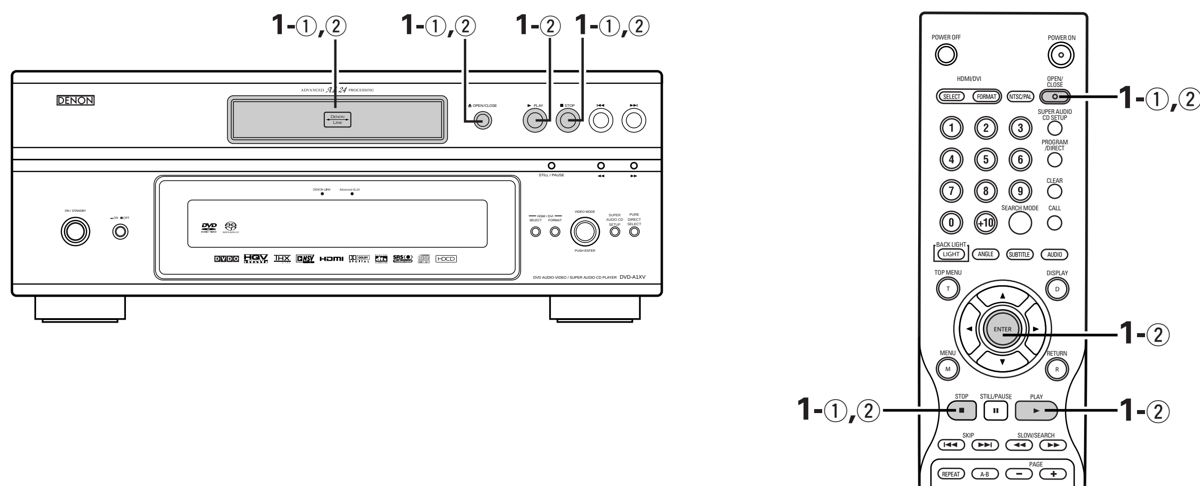
ご注意

- 本機はJPEG形式で記録された画像データに対応していますが、すべてのJPEG形式の画像データの再生を保証するものではありません。
- ファイルサイズが30Mバイトまで表示できます。
- JPEGファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』または『レベル2』でおこなってください。
- 音楽CD（CDDA形式)、WMA、MP3およびJPEG以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- JPEGファイルには必ず拡張子『.jpg』『.JPG』『.jpe』『.JPE』を付けてください。
（マッキントッシュのパソコンで書き込まれたJPEGファイルは再生できません。）
- ディスクのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。

（2）静止画像の再生のしかた

★ 本機はコダック（株）が扱っているピクチャーCDおよび富士写真フィルム（株）が扱っているフジカラーCDを再生することができます。ピクチャーCD、フジカラーCDを再生することで、写真の画像をテレビで楽しむことができます。

※ ピクチャーCD、フジカラーCDは従来の銀塩フィルムカメラで撮った写真をデジタルデータに変換してCDに書き込むサービスです。ピクチャーCDに関する詳細は、コダック（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。
フジカラーCDに関する詳細は、富士写真フィルム（株）の現像サービスを取り扱っている店頭にお問い合わせください。



1 **静止画像の記録されたCDを本体にセットします。**

① ピクチャーCD：
本体にディスクが装着されると、自動的に静止画の再生をはじめます。STOPボタンが押されるまで繰り返し再生をおこないます。

② フジカラーCD：
本体にディスクが装着されると、自動的に最大9つの静止画を一度に表示します。PLAYボタンかENTERボタンを押すと、STOPボタンが押されるまで繰り返し再生をおこないます。

※ **再生する静止画を選択したいときは**
STOPボタンを押し、静止画を一度に表示させてから**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**で選択して、**ENTERボタン**を押してください。

※ **再生を一時停止したいときは**
リモコンの**STILL/PAUSEボタン**を押してください。
再度再生したいときは**PLAYボタン**を押してください。

※ **再生する静止画の頭出しをしたいときは**
再生中に**SKIPボタン（I◄◄,►►I）**を押してください。
I◄◄ボタン：1つ前の静止画を表示します。
►►Iボタン：次の静止画を表示します。

※ **静止画の向きを変えたいときは**
再生中または一時停止中にリモコンの**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**を押してください。
▲： 再生している静止画を上下反転します。
▼： 再生している静止画を左右反転します。
◄ ： 再生している静止画を反時計方向に90 ° 回転します。
► ： 再生している静止画を時計方向に90 ° 回転します。

※ **画像をズーム再生したいときは**
再生中にリモコンの**ZOOMボタン**を押し（このとき画面に “ ズームオン ” が表示されます。）、**SLOW/SEARCHボタン（◄◄,►►）**を押してください。
◄◄ボタン：画像を縮小します。
►►ボタン：画像を拡大します。
また、拡大した場合は**カーソルボタン（◄,►,▲,▼）**でズーム画面を移動させることができます。

- **ズームモードでの連続再生（スライドショー）はできません。**
- **解像度の小さなファイルではズームができません。**

故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ **各接続は正しいですか**
■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
■ **アンプやスピーカーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	●電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	12〜23
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。 または、すぐに停止する。	●結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ●7ページにあるマークがついたディスク以外は再生できません。 ●ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	6 7 11
映像が映らない。	●接続を確認してください。 ●『PURE DIRECT』でビデオ出力を止める『ビデオ出力：しない』または『ALL OFF』に設定されていないか確認してください。 ●テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	12〜23 51、52 —
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	●接続を確認してください。 ●テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。 ●スーパーオーディオCDはデジタル出力されません。アナログ接続またはDENON LINK 3rdまたはIEEE1394接続をおこなってください。 ●スーパーオーディオCDの再生しているエリア/レイヤー（マルチ/ステレオ/CD）がアンプの接続と合っていない。 ●HDMI端子からの音声は、PURE DIRECTで『ALL OFF』またはビデオ出力を『しない』に設定していると出力されません。 ●HDMI規格Ver1.1に対応していない機器とHDMI接続した場合、CPPMで著作権保護されたDVDオーディオの音声信号は出力されません。	12〜23 — 42、45、46 16〜20 16、17、52 51、52 22
ビデオCDのメニュー再生ができない。	●プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	61
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	●多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	—
各ボタン操作ができない。	●ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	61
字幕が出ない。	●字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ●字幕が『切』になっていますので、字幕を設定してください。	— 34
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	●複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ●音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	69、70 73
アングルを変えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	71
タイトルを選択しても再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	47、48
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を工場出荷時設定に戻す。	●以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 停止状態で、本体の**PLAYボタン**と**スキップボタン（▶▶I）**を押しながら、**OPEN/CLOSEボタン**を3秒以上押し続けてください。 （テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認してください。）	—
初期設定で選択した音声言語、字幕言語にならない。	●DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選択している言語になりません。	34、35

（次のページに続きます）

故障かな？と思ったら（つづき）

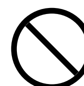
現　　象	チェック項目	関連ページ
4：3（16：9）の画像で映らない。	● お手持ちのテレビに合わせて『TV アスペクト』『スクイーズモード』の項目を正しく設定してください。	40、41
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	● 初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	34、35
HDMI/DVI接続で映像が映らない。	● HDMI/DVIの接続を確認してください。（HDMI/DVI 関連インジケーターの点灯状態を確認してください）	21〜23、27
	● 接続されたモニター機器等がHDCPに対応しているかどうか確認してください。	21〜23
	●『HDMI/DVI SELECT』の設定が接続と合っているか確認してください。	57
	● 接続されたモニター機器の対応入力フォーマットと本機の出力フォーマット（HDMI/DVI FORMAT)が合っているか確認してください。	21〜23
	●『PURE DIRECT』でビデオ出力設定を“しない”や“ALL OFF”に設定していないか確認してください。	51、52
HDMI/DVI接続で映像音声が途切れる。	●『HDMI/DVI FORMAT』の設定が『AUTO』の場合、ケーブルの抜き差しや接続先の状態によって映像・音声が途切れることがあります。	57
リモコンで操作できない。	● 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。	28
	● 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。	28
	● リモコン受光部に向けて操作してください。	28
	● リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。	28
	● リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。	28

29 主な仕様

■信号形式	NTSC/PAL
対応ディスク	(1) DVD-AUDIO / DVD-VIDEOディスク: 12cm片面1層、12cm片面2層、12cm両面2層（片面1層）、 8cm片面1層、 8cm片面2層、 8cm両面2層（片面1層） (2) スーパーオーディオCDディスク：12cm 1層、12cm 2層、12cmハイブリッド (3) コンパクトディスク（CD-DA、VIDEO CD）：12cmディスク、8cmディスク
S映像出力	Y出力レベル：1Vp-p（75Ω） C出力レベル：0.286Vp-p（75Ω） 出力端子　：S端子　2系統
映像出力	出力レベル　：1Vp-p（75Ω） 出力端子　：ピンジャック　2系統
コンポーネント出力	Y出力レベル　：1Vp-p（75Ω） PB/CB出力レベル：0.7Vp-p（75Ω） PR/CR出力レベル：0.7Vp-p（75Ω） 出力端子　：BNC端子　1系統 / ピンジャック　1系統 / D2端子　1系統
DVI出力	出力端子　：24ピン DVI-D端子　1系統
HDMI出力	出力端子　：19ピン HDMI端子　1系統
アナログ音声出力	出力レベル　：2Vrms 2チャンネル（L/R）出力端子　：ピンジャック　1系統 マルチチャンネル（FL/FR/C/SL/SR/SW）：ピンジャック　1系統
音声出力特性	(1) 周波数特性 ① DVD（リニアPCM）　：2Hz～22kHz（ 48kHzサンプリング） ：2Hz～44kHz（ 96kHzサンプリング） ：2Hz～88kHz（192kHzサンプリング） ② スーパーオーディオCD：2Hz～100kHz ③ CD　：2Hz～20kHz（EIAJ） (2) S/N比　：125dB (3) 全高調波歪率　：0.0008% (4) ダイナミックレンジ　：112dB
デジタル音声出力	出力端子：光出力端子 1系統 / コアキシャル出力端子 1系統 / DENON LINK出力端子 1系統 / IEEE1394入出力端子 2系統
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	77W　（スタンバイ時：約1W）（電気用品安全法による）
最大外形寸法	434（幅）×170（高さ）×432（奥行き）mm（突起物を含む）
質量	19.0kg
■リモコンユニット	RC-993
リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC4.5V　単3乾電池3本使用

※（EIAJ）：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名：	電　話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：	年　　月　　日

Printed in China　00D 511 4258 109A